

平成 24 年 度
市 民 幸 せ 調 査
報 告 書



松 阪 市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査内容	1
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	3
6. 地勢と人口分布	4
II. 回答者の特性	5
III. 調査結果の分析	9
III-1 個人の幸せについて	
1. 現在の状況(健康、生活)(問1)	9
2. 社会貢献・生きがいなど(問2)	14
3. 日常生活における取組(問3)	19
4. 幸福な生活に対する意識(問4～問8)	24
III-2 市政全般等について	
1. 松阪市全体に対する意識(問9)	36
2. 市政に対する満足度・重要度(問10～問11)	46
3. 総合計画の認知度(問12)	64
4. 地区住民協議会(問13)	65
5. 市民活動に対する参加(問13)④	69
6. 情報の取得方法など(問14)	70
7. 自由意見	73
8. 分析とりまとめ	75
□ 資料	
・ 市民幸せ調査票	
・ 満足度・重要度評価得点推移表	
・ 地区別満足度・重要度評価得点表等	
・ 自由意見のまとめ	

I. 調査の概要

I. 調査の概要

1. 調査目的

松阪市では、総合計画『市民みんな道標^{みちしるべ}～未来につなげるまちづくり計画～』に基づき、“市民みんなで幸せを実感できるまち”の実現に向けて市政運営を展開しています。今回、この計画を見直して平成26年度を初年度とする計画を策定するにあたり、市民の皆様ご自身の幸せに対する意識や市政に対する意識、要望等を把握し、市民一人ひとりの“幸せ”を高めるためのまちづくりを進めていくための基礎資料とするため本調査を実施しました。

2. 調査設計

①調査地域	松阪市全域
②調査対象	松阪市に在住する15歳以上の人
③標本数	3,000人
④抽出方法	住民基本台帳からの層化二段無作為抽出 (旧市町の地域別で按分し、年齢別・男女別で抽出)
⑤配布方法	郵送配布、郵送回収 (調査票配布後、督促はがきを一回送付)
⑥調査時期	平成24年9月12日～同年10月5日

3. 調査内容

- (1) 回答者の特性
- (2) 個人の幸せについて
 - ① 現在の状況(健康、生活)
 - ② 社会貢献・生きがいなど
 - ③ 日常生活における取組
 - ④ 幸福な生活に対する意識
- (3) 市政全般等について
 - ① 松阪市全体に対する意識
 - ② 市政に対する満足度・重要度
 - ③ 総合計画の認知度
 - ④ 地区住民協議会
 - ⑤ 市民活動に対する参加
 - ⑥ 情報の取得方法など
 - ⑦ 自由意見

I. 調査の概要

4. 回収結果

調査年度	標本数	回収数	回収率 (%)	有効回収数	有効回収率 (%)
平成24年	3,000	1,305	43.5	1,301	43.4
平成21年(前回)	3,000	1,506	50.2	1,505	50.2
平成17年(前々回)	4,000	1,961	49.0	1,841	46.0

(※)有効回収数:回収した調査票より全て記入の無い白票等を無効票とし除いた数。

なお、前々回調査の回収数に調査期間内に回収できなかったものや宛名不明等で返却された調査票の数も含まれます。

今回の調査では有効回収率は43.4%となっています。各地区ともに4割を超える回収率となっています。

－ 地区別回収状況 －

地区	標本数 【発送数a】	構成比 (%)	有効回収数 【b】	構成比 (%)	有効回収率 【b/a】(%)
本庁管内	2,218	73.9	944	72.6	42.6
嬉野管内	351	11.7	163	12.5	46.4
三雲管内	246	8.2	99	7.6	40.2
飯南管内	99	3.3	43	3.3	43.4
飯高管内	86	2.9	41	3.2	47.7
(地区不明)	—	—	11	0.8	—
合 計	3,000	100.0	1,301	100.0	43.4

(注)地区不明:地区の回答が無い件数

5. 報告書の見方

- グラフに表示されているn値とは、標本数のことを示しています。
- 集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、構成比算出の母数は回答者数(票数)とし、その項目を選び○印をつけた人が全体から見て何%なのかという見方をしています。そのため、各項目の比率の合計が100%以上になります。
- 設問内容および回答の選択肢は文意に留意しながら簡略化しています。
- 本報告書の中で、平成21年および平成17年の調査結果は、下記に実施した調査(以下「過年度調査」という。)です。
 - 平成21年度(前回) : 松阪市民意識調査(平成21年9月実施)
 - 平成17年度(前々回) : 松阪市民意識調査(平成17年6月実施)
- 標本誤差については、次の算出式より算出します。

$$\sigma = \kappa \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

σ : 標本誤差
 N : 母集団 (146,963人^(※))
 n : 標本数 (1,301票)
 p : 回答比率
 κ : 信頼率による変数
^(※) 住民基本台帳 (H24.8.1現在)

信頼率による変数 κ は、信頼率95%では1.96と定義されています。

今回のアンケート調査における信頼率を95%とすると、各回答比率別の標本誤差は次のとおりとなります。

標本数	回答比率(%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
1,301票	±1.6	±2.2	±2.5	±2.7	±2.7

これは、ある設問において「はい」という回答の割合が50%であれば、15歳以上の松阪市民に同じ質問をしても、統計学的には「はい」という回答の割合は、95%の確率で47.3%(=50%-2.7%)～52.7%(=50%+2.7%)の範囲内にあることを示しています。

I. 調査の概要

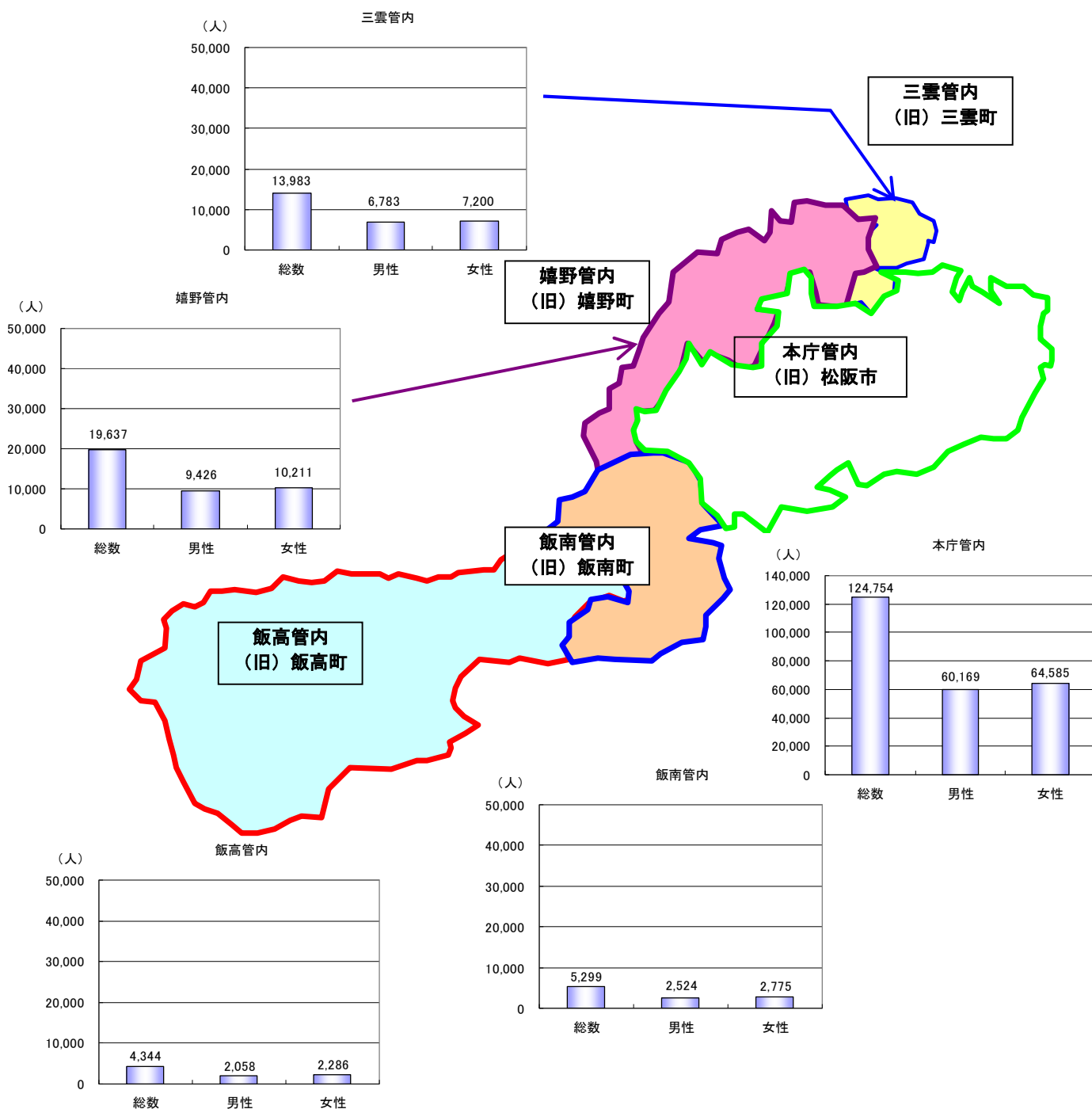
6. 地勢と人口分布

本市は平成 17 年 1 月に旧松阪市、旧嬉野町、旧三雲町、旧飯南町、旧飯高町が合併し、現在の松阪市になっています。

本調査では、地域別に集計するにあたっては、次の 5 つの地域に分けて行っています。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ○ 本庁管内 | ： 旧松阪市 | ○ 飯南管内 | ： 旧飯南町 |
| ○ 嬉野管内 | ： 旧嬉野町 | ○ 飯高管内 | ： 旧飯高町 |
| ○ 三雲管内 | ： 旧三雲町 | | |

平成 22 年度の国勢調査における各管内人口は次のようになっています。



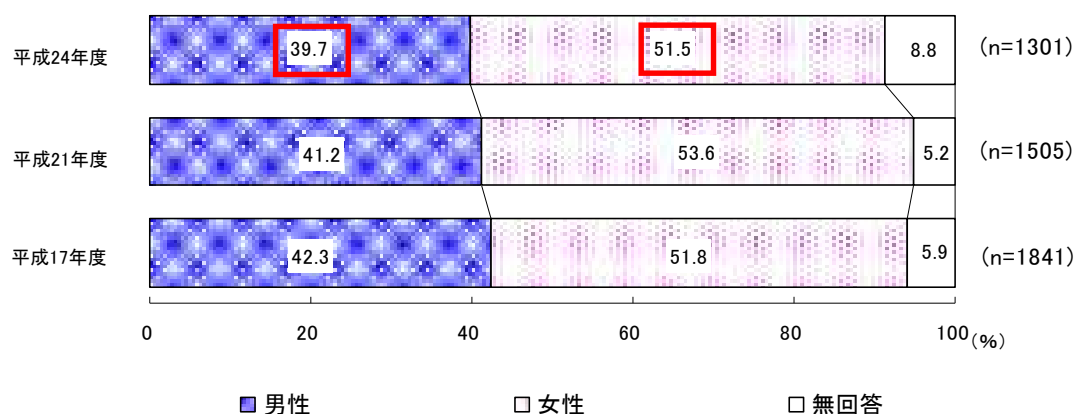
Ⅱ. 回答者の特性

Ⅱ. 回答者の特性

1. 性別

「男性」の割合が39.7%、「女性」の割合が51.5%となっています。

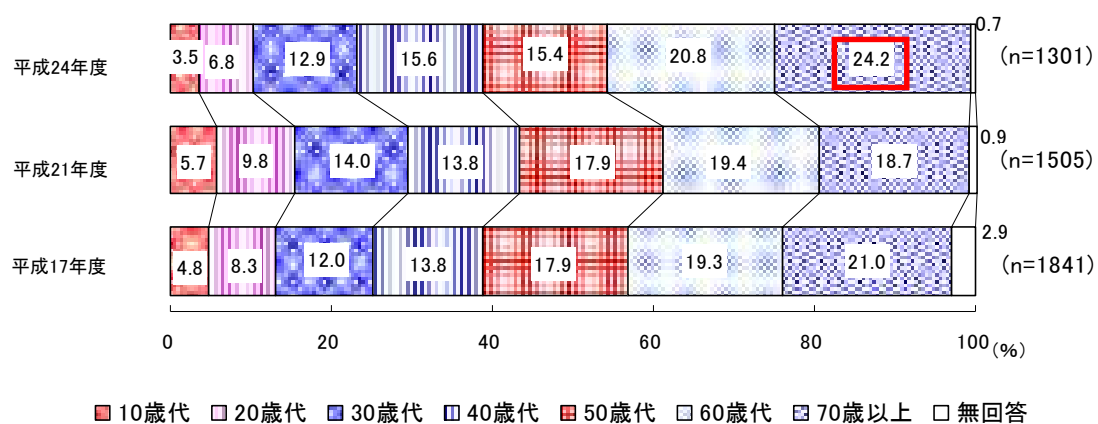
経年的にみると、男性が4割、女性が5割強で女性の割合が高くなっています。ただ、本調査では無回答の割合が若干高くなっています。



2. 年齢

「70歳以上」の割合が24.2%で最も高く、次いで「60歳代」の割合が20.8%で2割を超えています。

経年的にみると、70歳以上の割合が高くなっています。

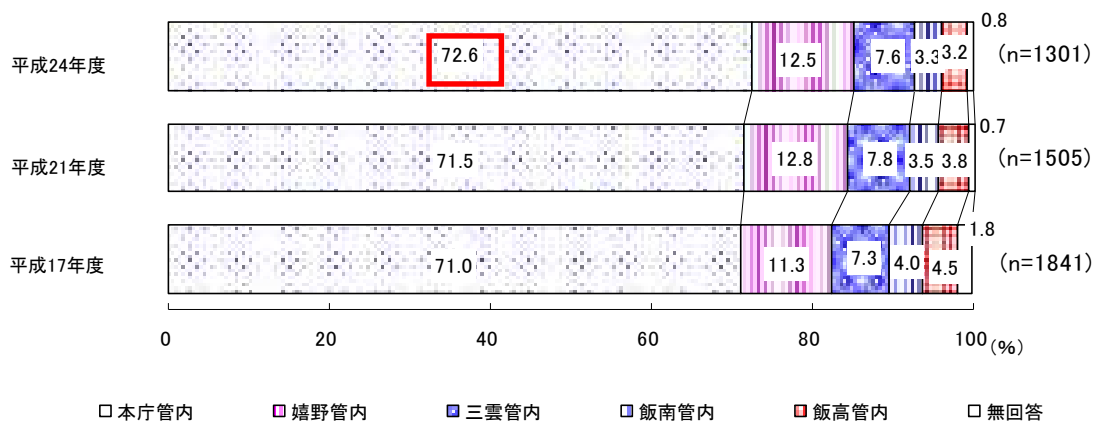


Ⅱ. 回答者の特性

3. 居住地

「本庁管内」の割合が72.6%で7割を超えています。次いで「嬉野管内」12.5%、「三雲管内」7.6%、「飯南管内」3.3%、「飯高管内」3.2%の順となっています。

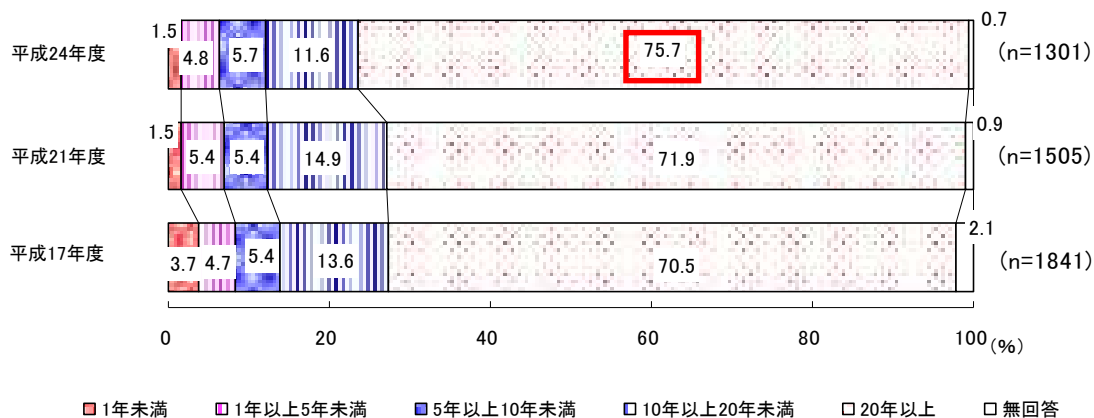
経年的にみると、居住地別の割合は大きく変化は見られませんが、若干「本庁管内」で微増ぎみとなっています。



4. 居住年数

「20年以上」の割合が75.7%で最も高く、次いで「10年以上20年未満」11.6%、「5年以上10年未満」5.7%、「1年以上10年未満」5.4%、「1年未満」1.5%の順となっています。

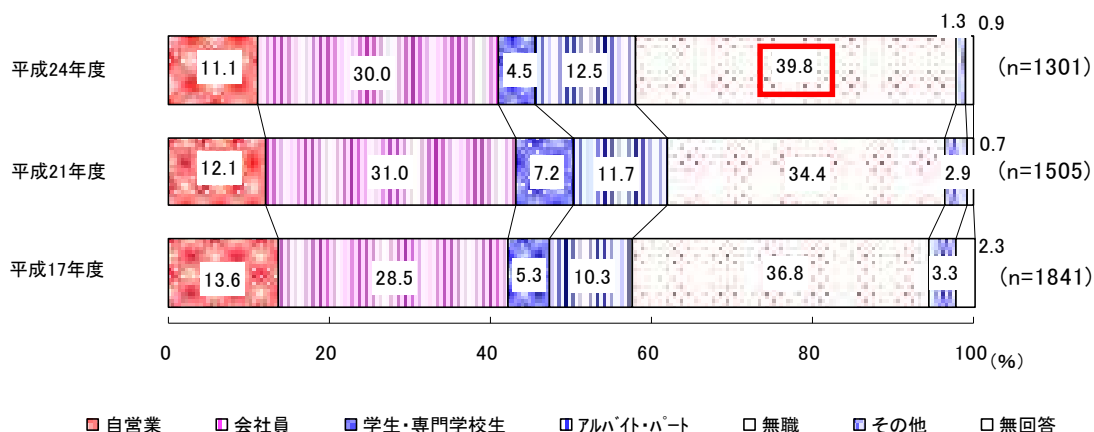
経年的にみると、「20年以上」の割合が増加しています。



5. 職業

「無職（家事従事者等を含む）」の割合が39.8%で最も高く4割となっています。次いで、「会社員（公務員等を含む）」30.0%、「アルバイト・パート」12.5%、「自営業（農林業従事者等を含む）」11.1%、「学生・専門学校生」4.5%の順となっています。

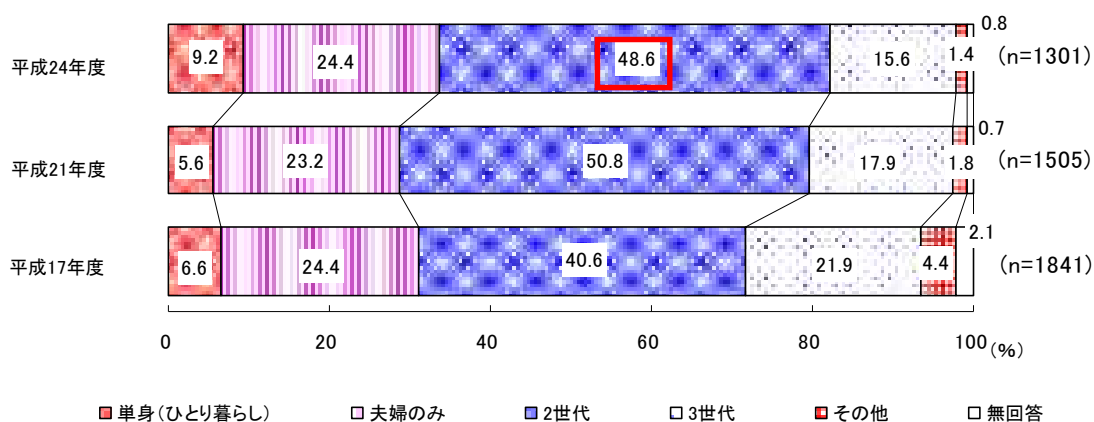
経年的にみると、「無職」の人の割合が増加しています。



6. 家族構成

「2世代（親・子など）」の割合が48.6%で最も高く、次いで「夫婦のみ」24.4%、「3世代（親・子・孫など）」15.6%、「単身（ひとり暮らし）」9.2%の順となっています。

経年的にみると、「単身（ひとり暮らし）」の割合が増加しています。



Ⅱ. 回答者の特性



Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ-1 個人の幸せについて

1. 現在の状況（健康、生活）

(1) 健康【問1①】

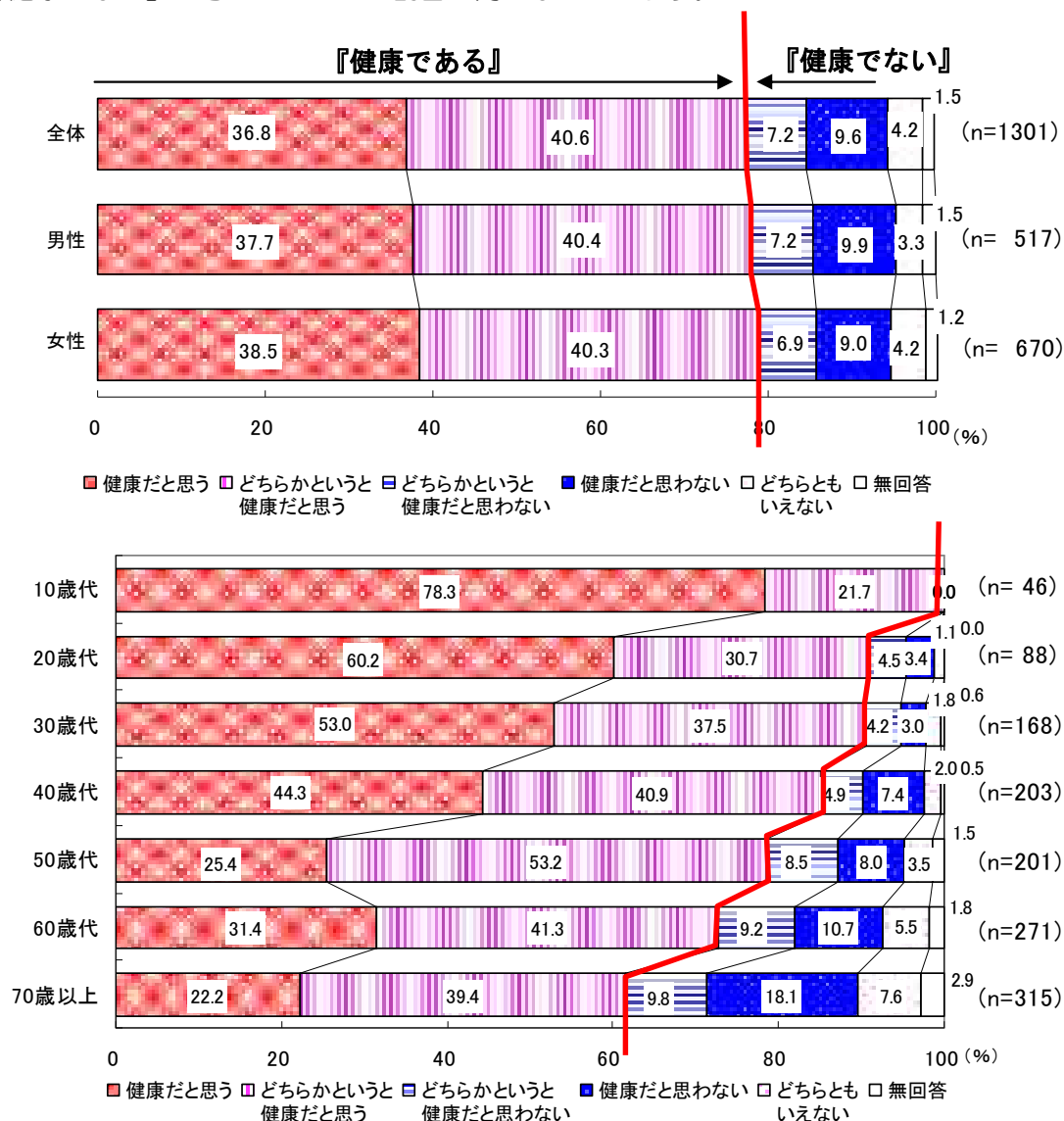
問1. あなたの現在の状況についておうかがいします。

① 健康だと思いますか。(〇は1つだけ)

『健康である』(※) が8割弱、『健康でない』(※) は2割弱

「どちらかという健康だと思う」の割合が40.6%で最も高く、次いで「健康だと思う」36.8%で、合わせて8割弱の人が『健康である』と答えています。反対に、「健康だと思わない」の割合は9.6%、「どちらかという健康だと思わない」7.2%で合わせて『健康でない』と思っている人は2割弱となっています。(※)『健康である』は「健康だと思う」+「どちらかという健康だと思う」。『健康でない』は「健康だと思わない」+「どちらかという健康だと思わない」。

年齢別にみると、若い人の方が『健康である』と考えています。おおむね年齢が高くなるにつれて『健康でない』と考えている人の割合が高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(2) 現在の生活の満足度【問1②】

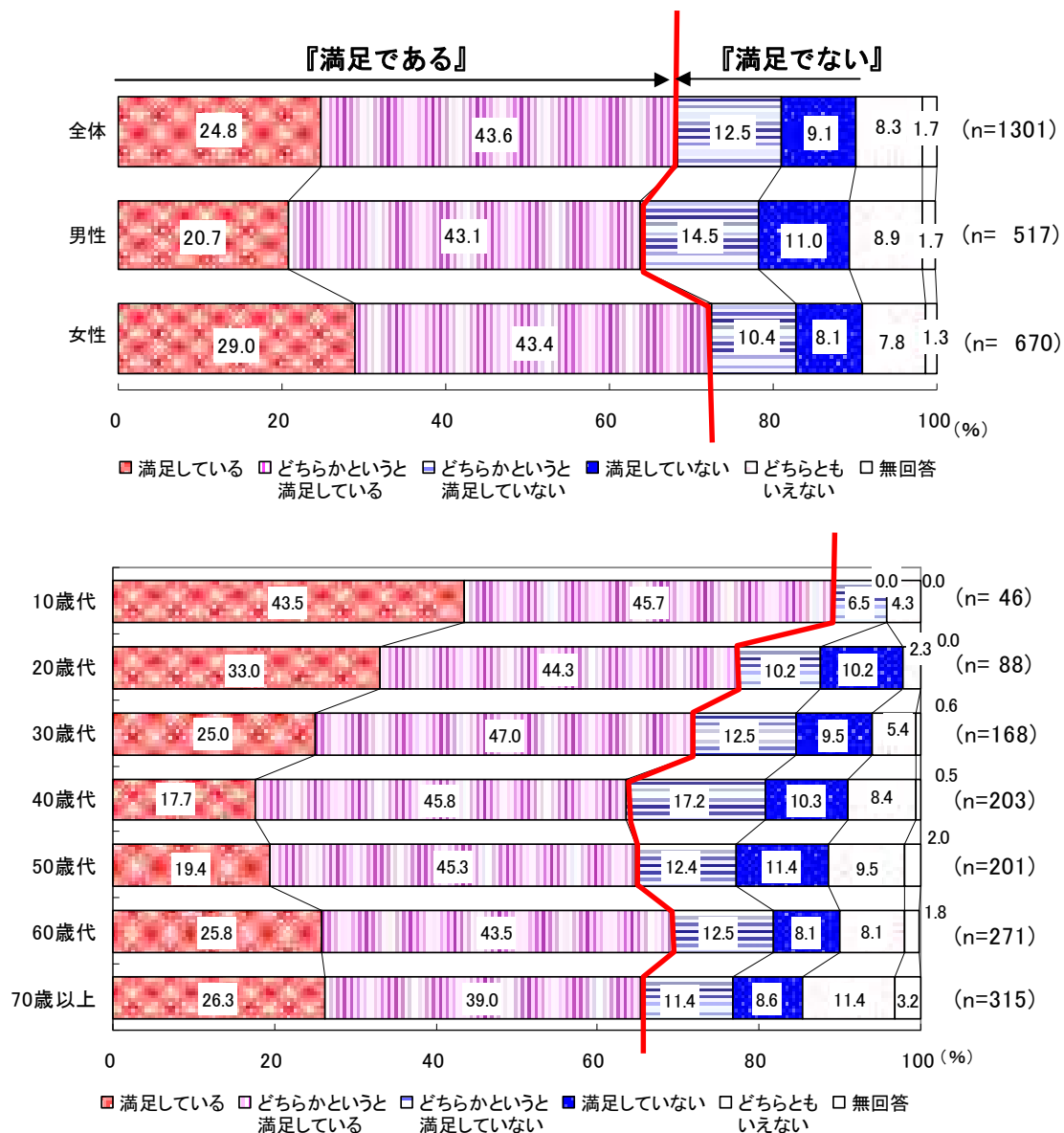
② 現在の生活に満足していますか。(○は1つだけ)

『満足である』(※) が7割弱、『満足でない』(※) は2割強

「どちらかという満足している」の割合が43.6%で最も高く、次いで「満足している」24.8%で合わせて7割弱の人が『満足である』と答えています。反対に、「どちらかという満足していない」の割合は12.5%、「満足していない」9.1%で合わせて『満足でない』と思っている人は2割強となっています。(※)『満足である』は「満足している」+「どちらかという満足している」。「満足でない」は「満足していない」+「どちらかという満足していない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『満足である』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、40歳代では他の年齢層よりも『満足である』の割合が低くなっています。



(3) 経済的な余裕【問1③】

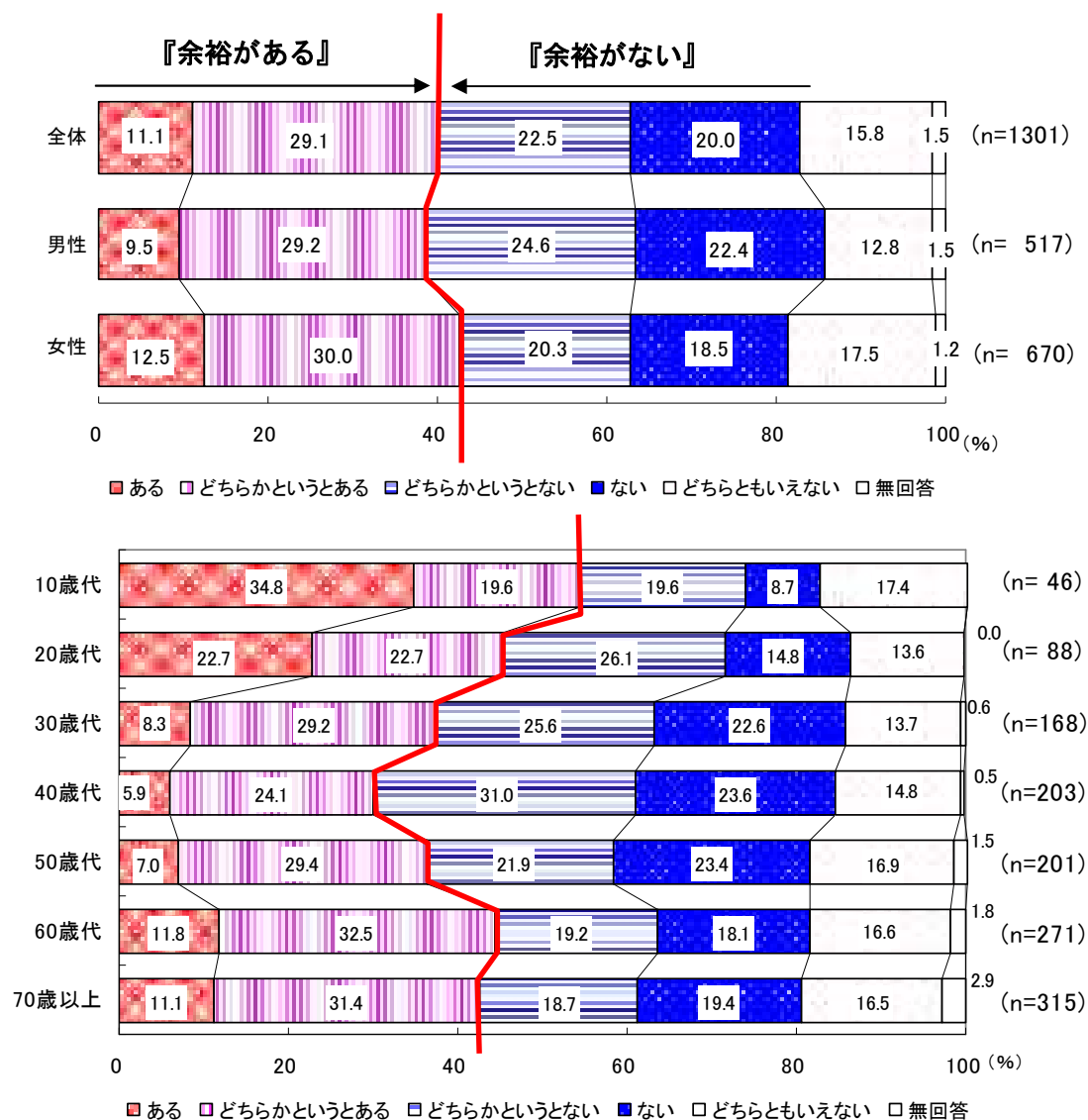
③ 生活に経済的な余裕はありますか。(〇は1つだけ)

『余裕がある』(※) が4割、『余裕がない』(※) は4割強

「どちらかというところ」の割合が29.1%で最も高く、次いで「どちらかというところない」22.5%、「ない」20.0%の順となっています。「ある」と「どちらかというところ」を合わせると4割の人が『余裕がある』と答えています。反対に、「どちらかというところない」と「ない」を合わせると『余裕がない』と思っている人は4割を超えています。(※)『余裕がある』は「ある」+「どちらかというところある」。「余裕がない」は「ない」+「どちらかというところない」。

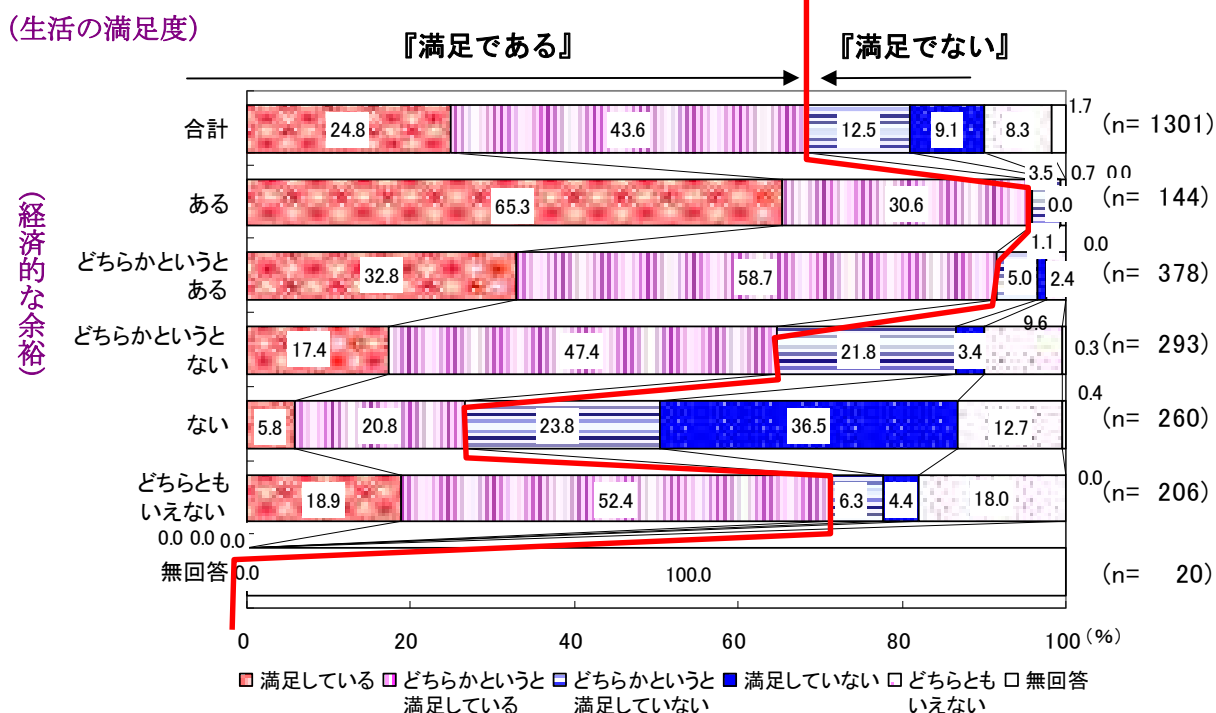
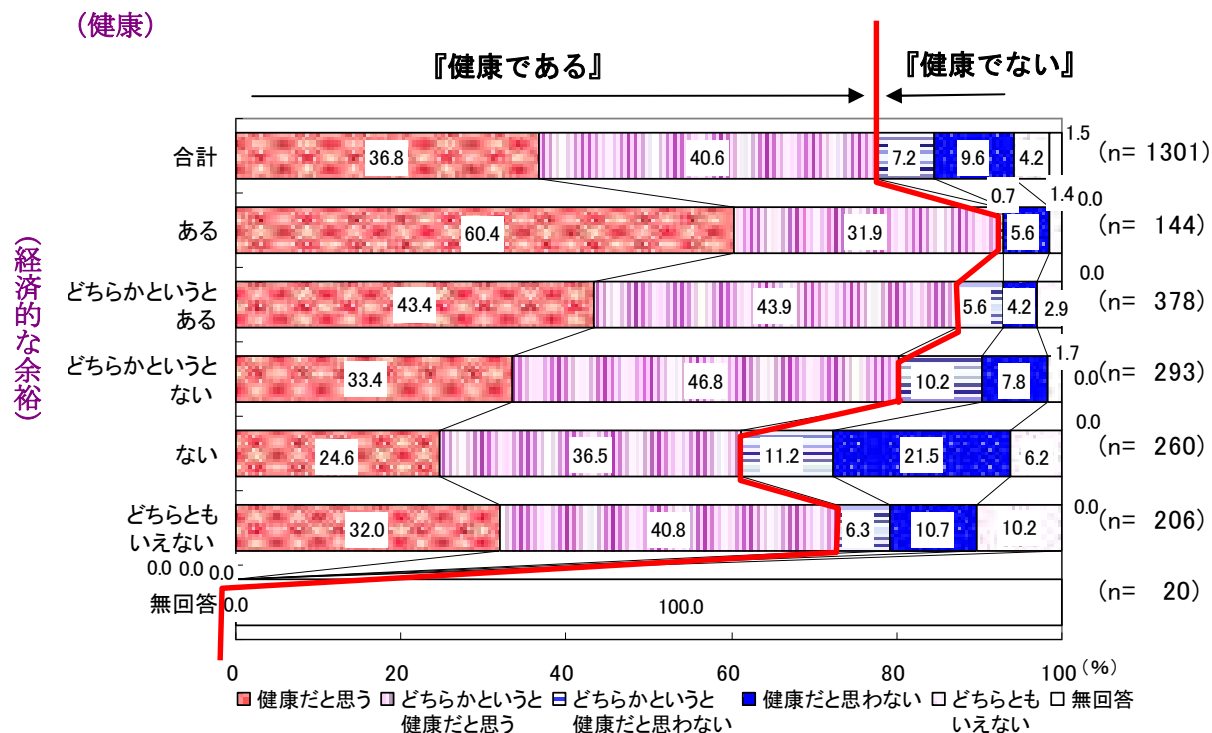
男女別にみると、男性の方が女性よりも『余裕がない』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、40歳代では『余裕がない』の割合が最も高くなっており、30歳から50歳代で高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

ここで、“経済的な余裕”と“健康”および“現在の生活の満足度”との関係についてみると、経済的な余裕がある人は「健康だと思う」人の割合が高く、「現在の生活に満足している」人の割合も高くなっています。反対に、経済的に余裕がない人は「健康だと思わない」人の割合が高く、「現在の生活に満足していない」人の割合が高くなっています。



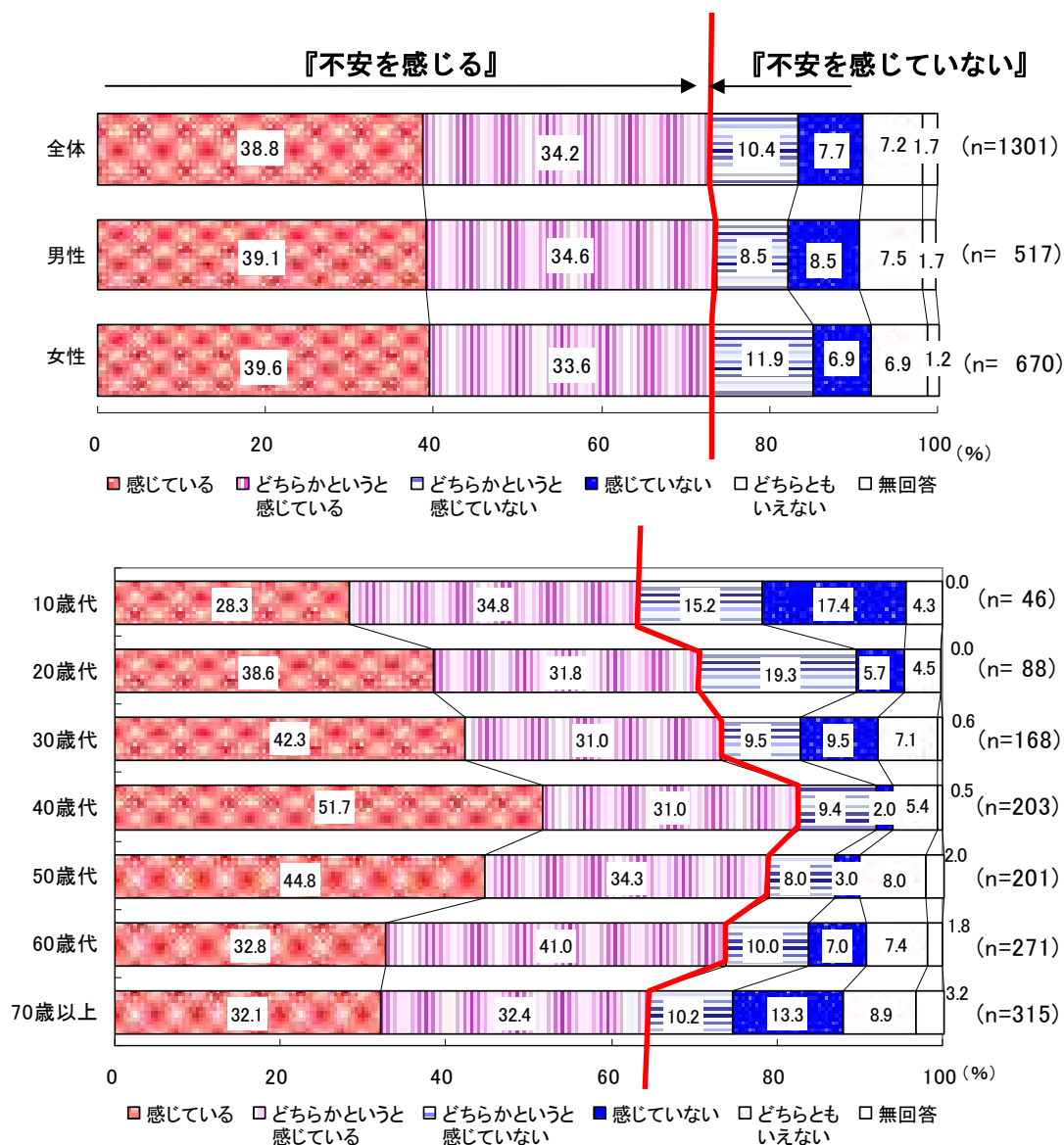
(4) 将来の生活に対する不安【問1④】

④ 将来の生活に不安を感じていますか。(〇は1っだけ)

『不安を感じる』(※) が7割強、『不安を感じていない』(※) は2割弱

「感じている」の割合が38.8%で最も高く、次いで「どちらかというと感じている」34.2%で合わせて7割強の人が『不安を感じる』と答えています。反対に、「どちらかというと感じていない」の割合は10.4%、「感じていない」7.7%で合わせて『不安を感じていない』と思っている人は2割弱となっています。(※)『不安を感じる』は「感じている」+「どちらかというと感じている」。「不安を感じていない」は「感じていない」+「どちらかというと感じていない」。

年齢別にみると、40歳代で「感じている」の割合は5割を超えており、最も高くなっています。「どちらかというと感じている」を合わせると『不安を感じる』が8割を超えています。



Ⅲ. 調査結果の分析

2. 社会貢献・生きがいなど

(1) 人からの信頼感【問2①】

問2. あなたの生きがいについておうかがいします。

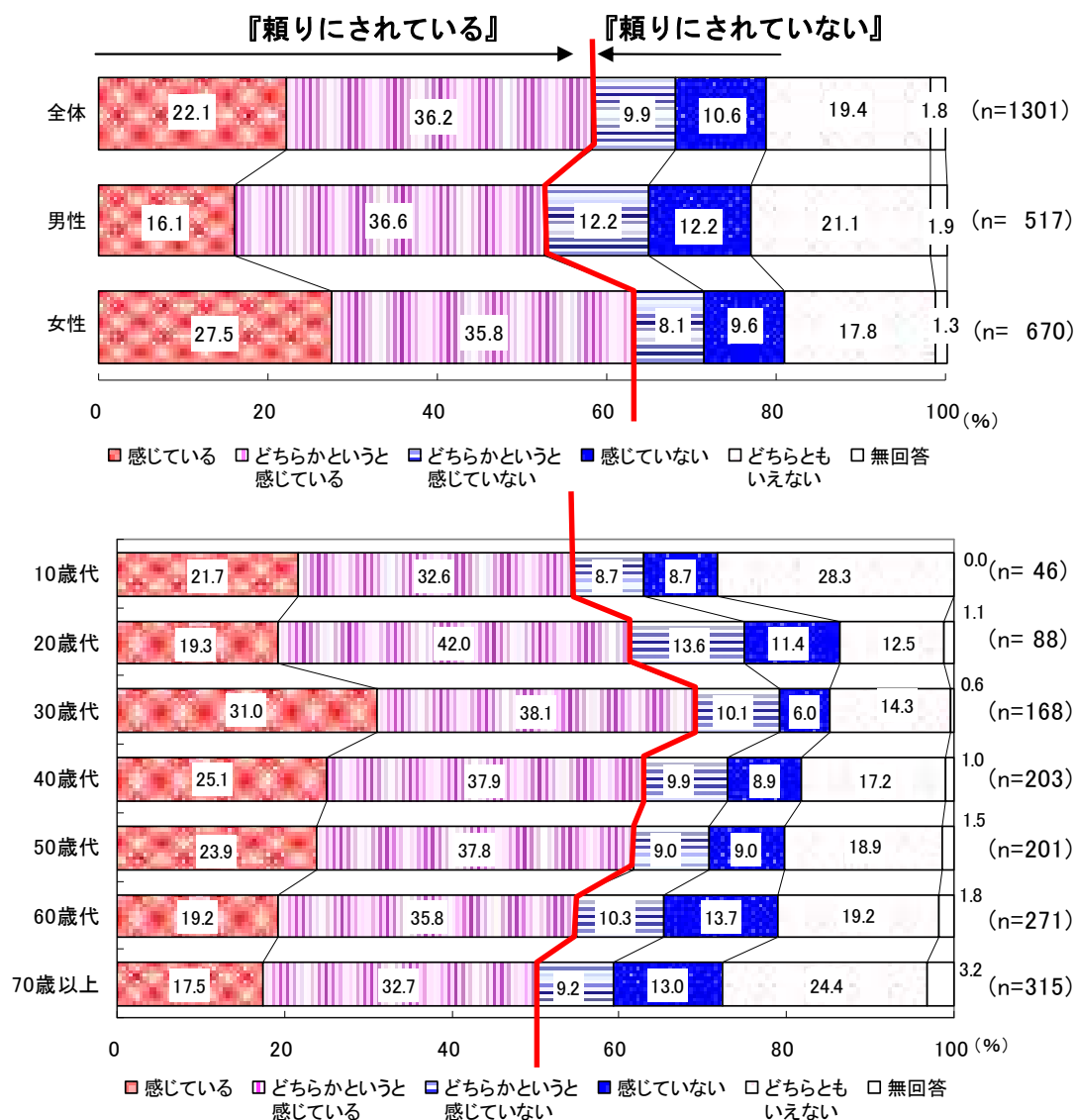
① 人から頼りにされていると感じていますか。(〇は1つだけ)

『頼りにされている』^(※) が6割弱、『頼りにされていない』^(※) は2割

「どちらかというと感じている」の割合が36.2%で最も高く、次いで「感じている」は22.1%で、合わせて6割弱の人が『頼りにされている』と答えています。反対に、「どちらかというと感じていない」の割合は9.9%、「感じていない」10.6%を合わせると、『頼りにされていない』と思っている人は2割となっています。(※)『頼りにされている』は「感じている」+「どちらかというと感じている」。『頼りにされていない』は「感じていない」+「どちらかというと感じていない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも「感じている」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、30歳代で「感じている」の割合は3割を超えており、最も高くなっています。「どちらかというと感じている」を合わせると『頼りにされている』が7割弱となっています。



(2) 社会貢献に対する意識【問2②】

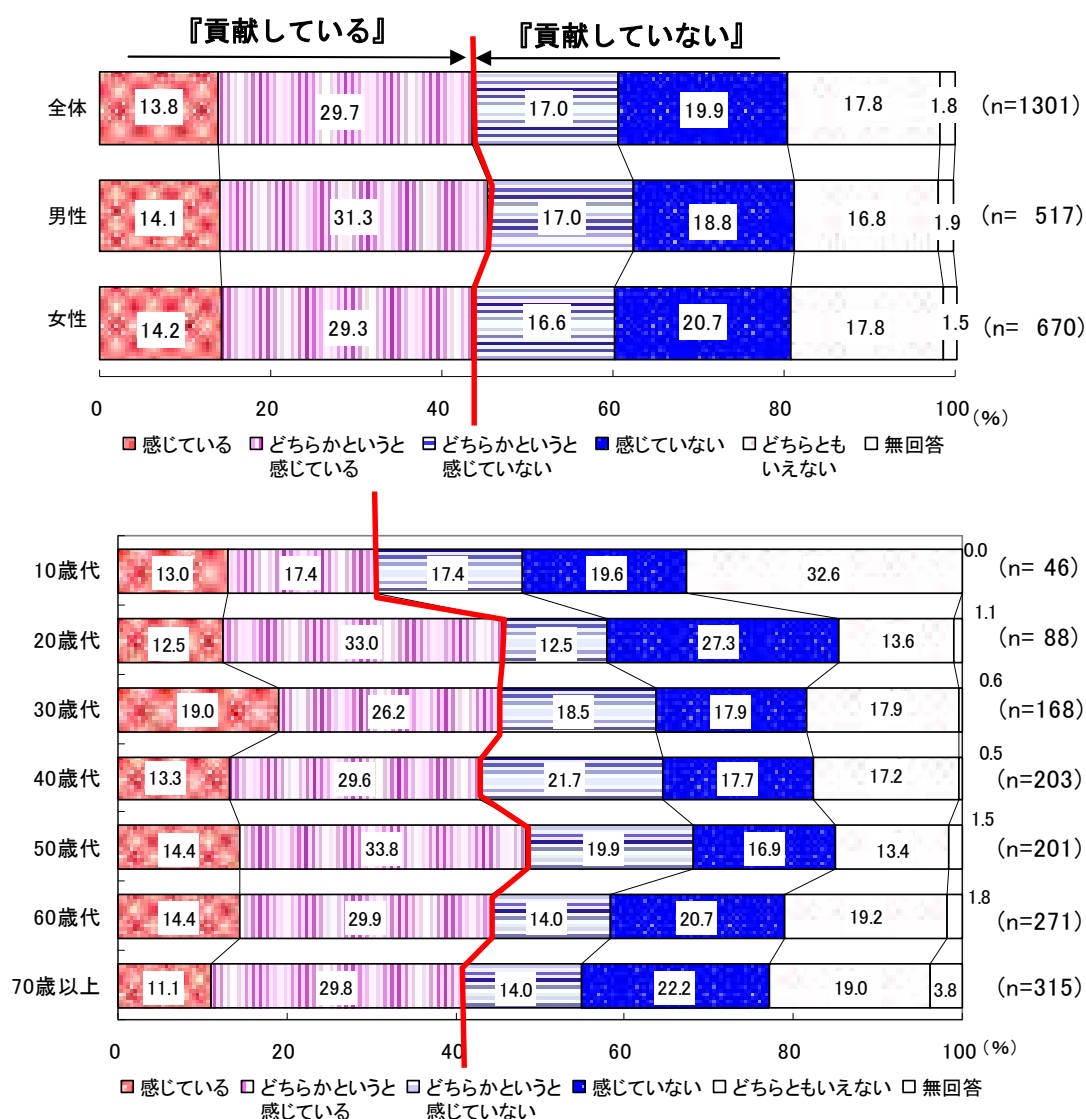
② 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか。(〇は1つだけ)

『貢献している』(※) が4割強、『貢献していない』(※) は4割弱

「どちらかというと感じている」の割合が29.7%で最も高く、次いで「感じていない」19.9%、「どちらともいえない」17.8%、「どちらかというと感じていない」17.0%の順となっています。「どちらかというと感じている」と「感じていない」13.8%を合わせると4割強で、「感じていない」と「どちらかというと感じていない」を合わせた『貢献していない』とされている人（4割弱）より若干高くなっています。(※)『貢献している』は「感じていない」+「どちらかというと感じている」。『貢献していない』は「感じていない」+「どちらかというと感じていない」。

男女別にみると、女性の方が男性より『貢献している』とされている人の割合が若干低くなっています。

年齢別にみると、50歳代で『貢献している』とされている人の割合が、他の年齢層と比較して若干高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(3) 活躍の場の有無【問2③】

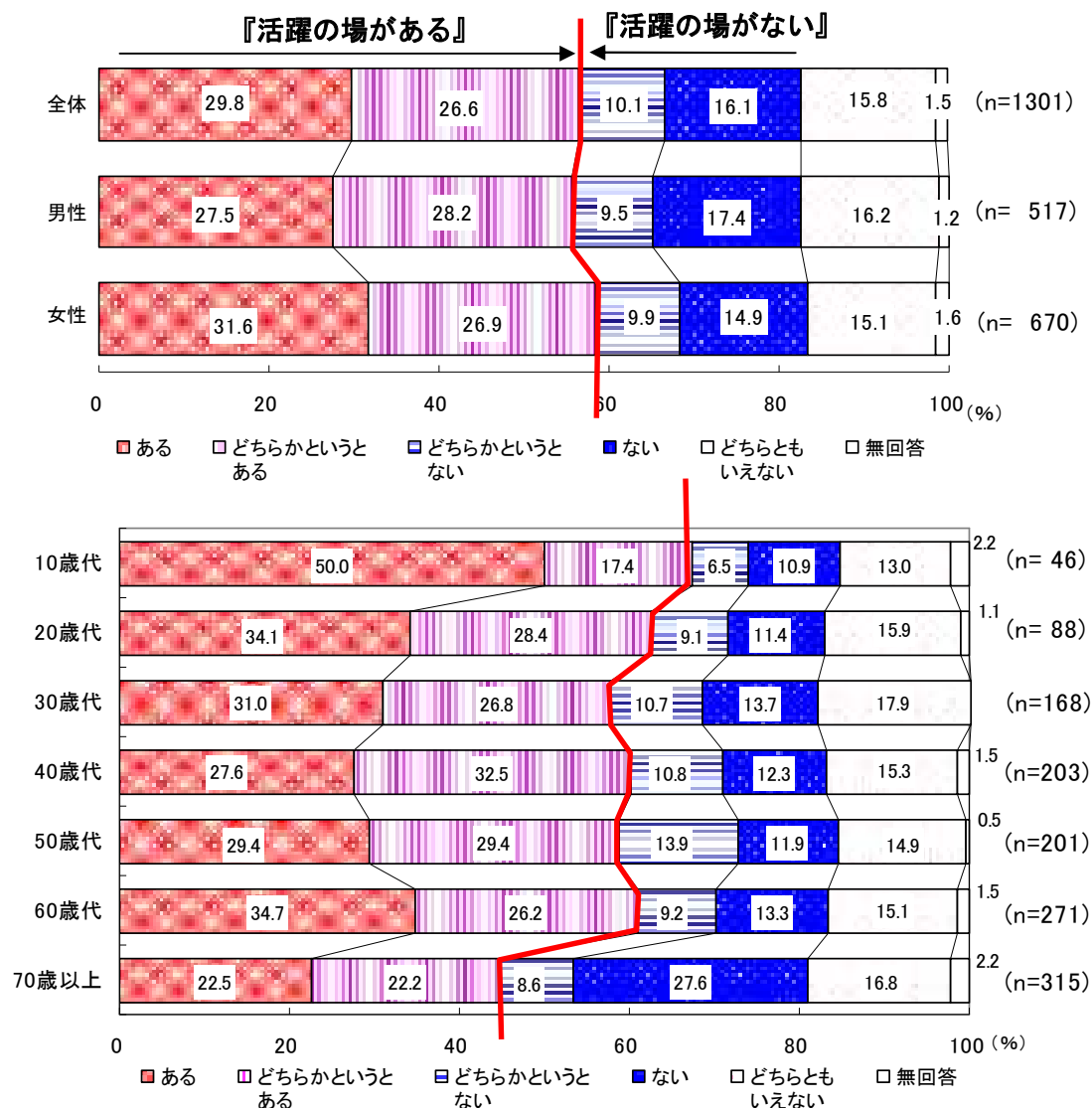
③ 自分が活躍する場はありますか。(〇は1つだけ)

『活躍の場がある』(※) が6割弱、『活躍の場がない』(※) は3割弱

「ある」の割合が29.8%で最も高く、次いで「どちらかというところある」26.6%で、合わせて6割弱の人が『活躍の場がある』と答えています。反対に、「ない」の割合は16.1%で、「どちらかというところない」10.1%を合わせると、『活躍の場がない』と答えている人は3割弱となっています。

(※)『活躍の場がある』は「ある」+「どちらかというところある」、『活躍の場がない』は「ない」+「どちらかというところない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『活躍の場がある』の割合が若干高くなっています。年齢別にみると、70歳以上で『活躍の場がある』の割合が最も低くなっています。



(4) 余暇の充実【問2④】

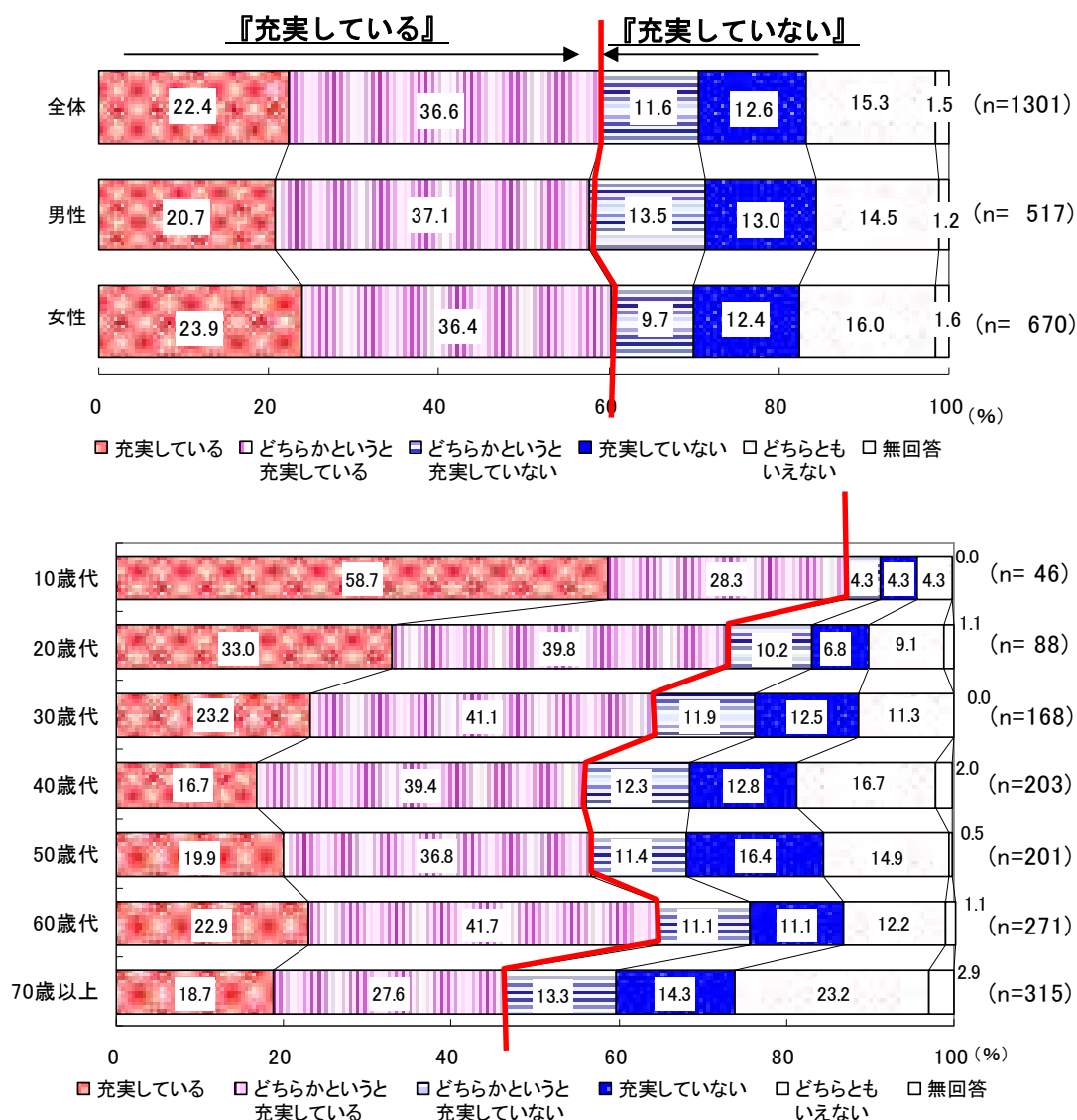
④ 余暇は充実していますか。(〇は1つだけ)

『充実している』(※) が6割弱、『充実していない』(※) は2割強

「どちらかという充実している」の割合が36.6%で最も高く、次いで「充実している」22.4%で、合わせて6割弱の人が『充実している』と答えています。反対に、「充実していない」の割合は12.6%で、「どちらかという充実していない」11.6%を合わせると、『充実していない』と思っている人は2割強となっています。(※)『充実している』は「充実している」+「どちらかという充実している」。
『充実していない』は「充実していない」+「どちらかという充実していない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『充実している』の割合が若干高くなっています。

年齢別にみると、40歳代で「充実している」の割合は2割を大きく下回り、最も低くなっています。ただ、「どちらかという充実している」を合わせた『充実している』でみると、70歳以上でもっとも低く、反対に「どちらともいえない」の割合は最も高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(5) 生きがいの有無【問2⑤】

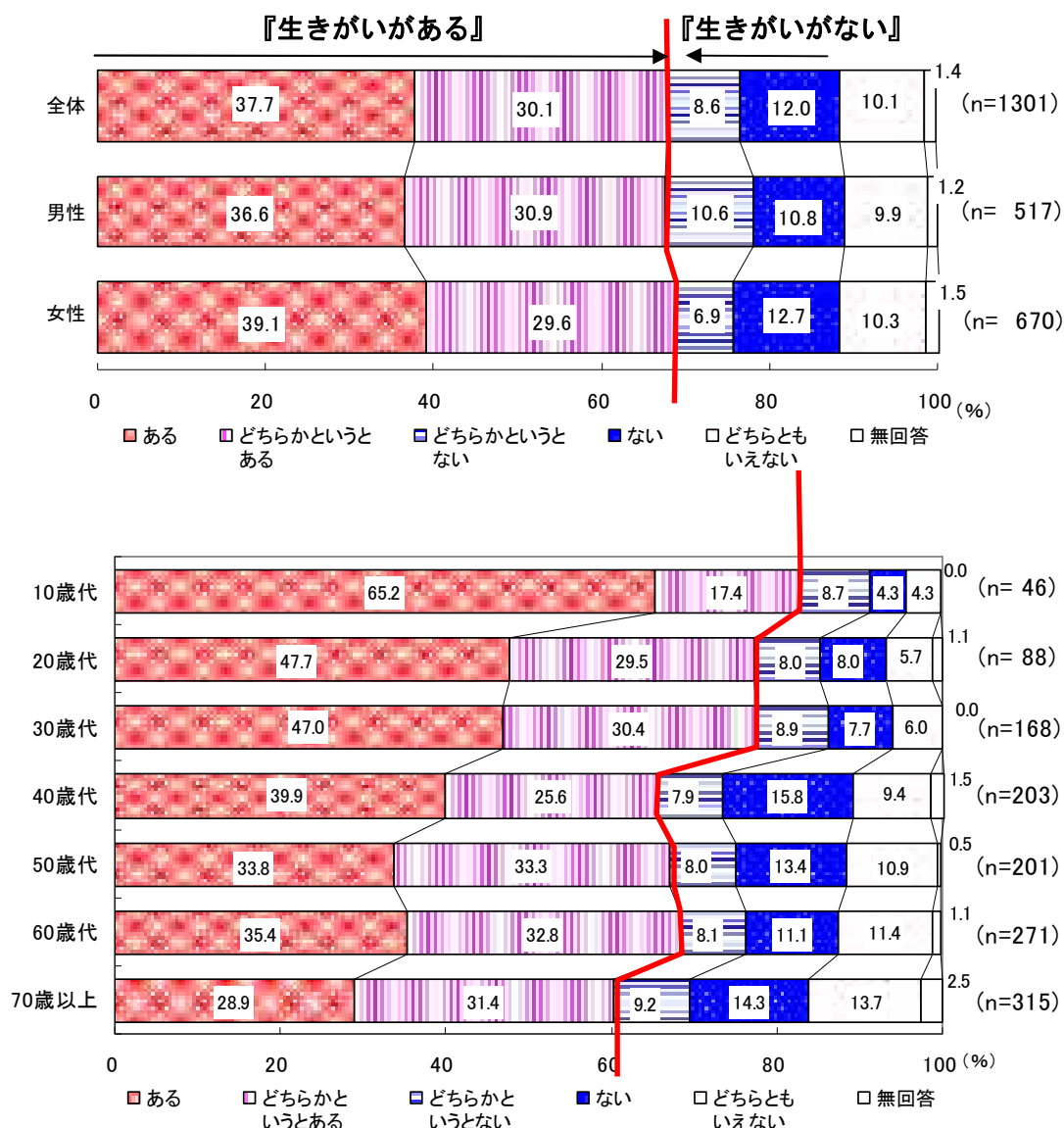
⑤ 生きがいになっているものはありますか。(〇は1つだけ)

『生きがいがある』(※) が7割弱、『生きがいがない』(※) は2割

「ある」の割合が37.7%で最も高く、次いで「どちらかというところある」30.1%で、合わせて7割弱の人が『生きがいがある』と答えています。反対に、「ない」の割合は12.0%、「どちらかというところない」8.6%を合わせると、『生きがいがない』と思っている人は2割となっています。(※)『生きがいがある』は「ある」＋「どちらかというところある」。『生きがいがない』は「ない」＋「どちらかというところない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『生きがいがある』の割合が若干高くなっています。

年齢別にみると、70歳以上では「ある」の割合が最も低く、『生きがいがある』と思っている人の割合は低くなっています。



3. 日常生活における取組

(1) 環境に配慮した生活への取り組み（節電や緑のカーテンなど）【問3①】

問3. あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

① 節電や緑のカーテンに取り組むなど、環境に配慮した生活をしていますか。

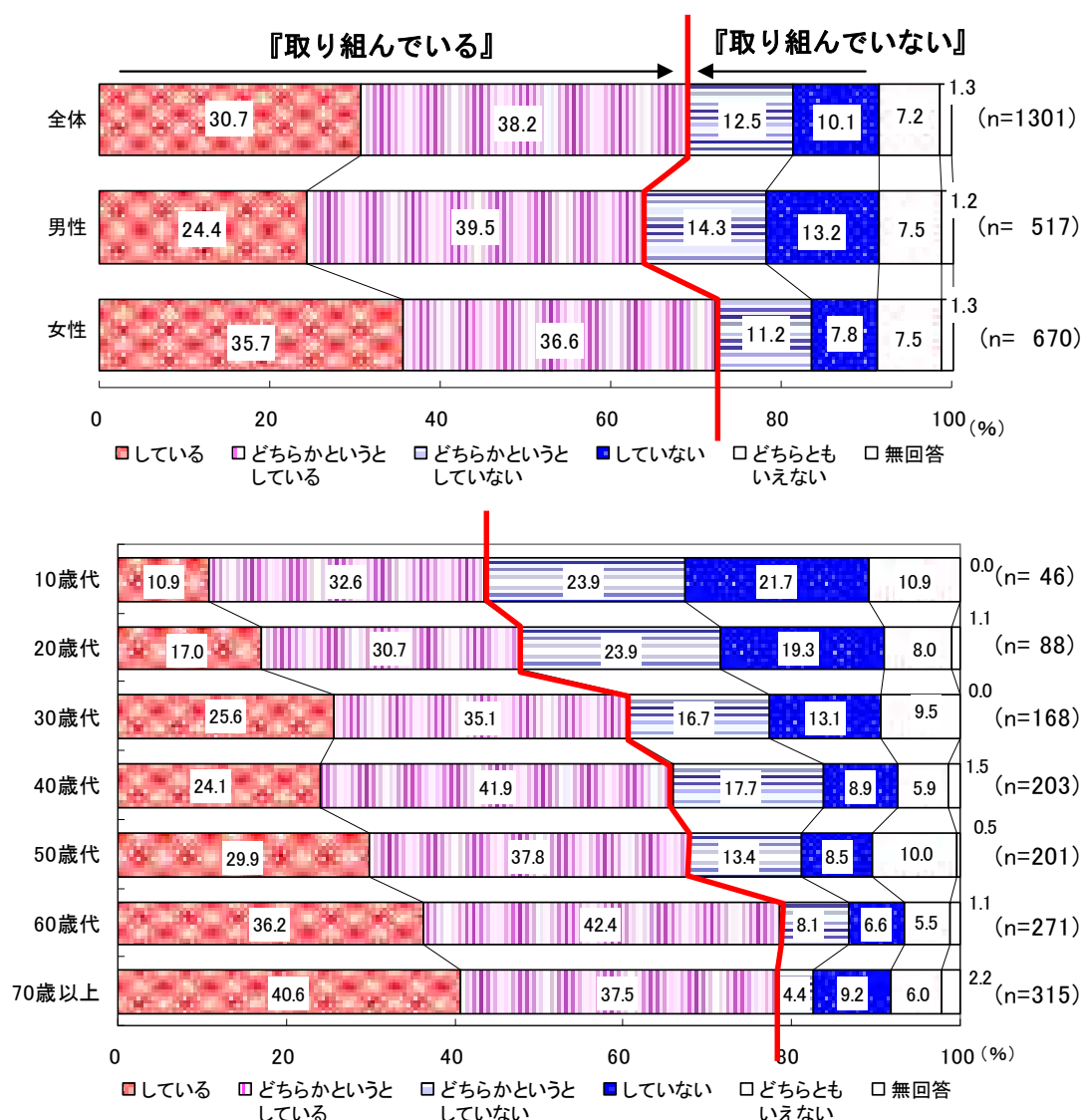
(○は1つだけ)

『取り組んでいる』^(※) が7割弱、『取り組んでいない』^(※) は2割強

「どちらかというとしている」の割合が38.2%で最も高く、次いで「している」30.7%で、合わせて7割弱の人が『取り組んでいる』と答えています。反対に、「どちらかというとしていない」の割合は12.5%で、「していない」10.1%を合わせると、『取り組んでいない』と答えた人は2割強となっています。(※)『取り組んでいる』は「している」+「どちらかというとしている」。『取り組んでいない』は「していない」+「どちらかというとしていない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『取り組んでいる』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、70歳以上では「している」の割合は4割で、最も高くなっており、おおむね年齢が高くなるにつれて、『取り組んでいる』の割合が高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(2) ごみ減量の実施【問3②】

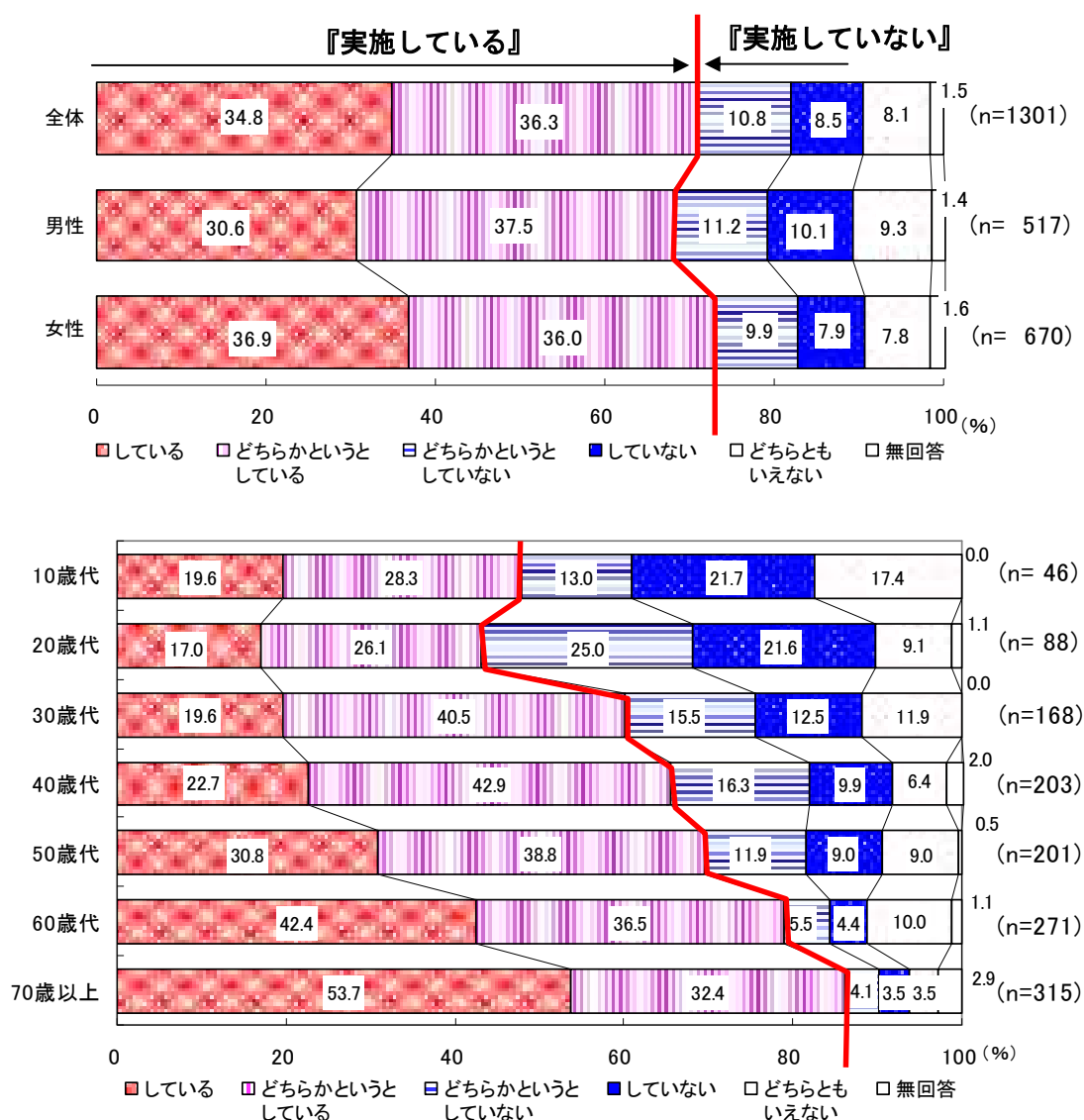
② ゴミを出さない暮らしやリサイクルなど、ごみの減量に心がけた生活をしていますか。
(〇は1つだけ)

『実施している』^(※) が7割強、『実施していない』^(※) は2割弱

「どちらかというとしている」の割合が36.3%で最も高く、次いで「している」34.8%で、合わせて7割強の人が『実施している』と答えています。反対に、「どちらかというとしていない」の割合は10.8%で、「していない」8.5%を合わせると、『実施していない』と答えた人は2割弱となっています。(※)『実施している』は「している」+「どちらかというとしている」。「実施していない」は「していない」+「どちらかというとしていない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『実施している』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、70歳以上では「している」の割合は5割を超えて最も高く、おおむね年齢が高くなるにつれて、『実施している』の割合が高くなっています。



(3) 災害に対する備え【問3③】

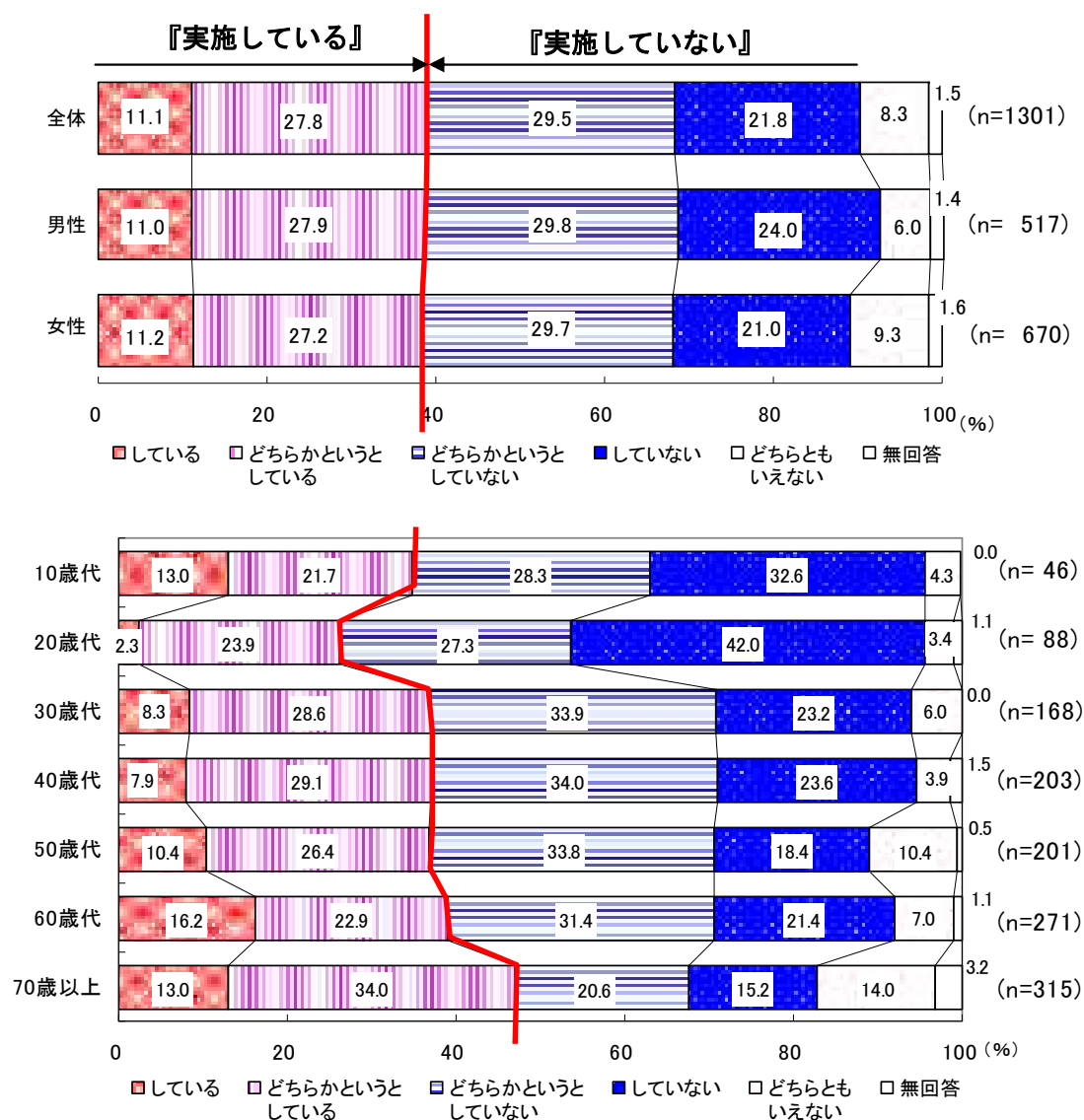
③ 日頃から災害に対する備えをしていますか。(○は1つだけ)

『実施している』^(※) が4割弱、『実施していない』^(※) は5割強

「どちらかというとしていない」の割合が29.5%で最も高く、次いで「どちらかというとしてい」27.8%、「していない」21.8%、「している」11.1%の順となっています。「どちらかというとしていない」と「していない」を合わせると、『実施していない』と答えた人は5割を超えています。反対に、『実施している』は4割を下回っており、『実施していない』人の方が高くなっています。(※)『実施している』は「している」+「どちらかというとしてい」。「実施していない」は「していない」+「どちらかというとしていない」。

男女別にみると、男性の方が女性よりも『実施していない』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、60歳以上の高齢者では『実施している』の割合も高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(4) 健康づくりのための体調管理の実施【問3④】

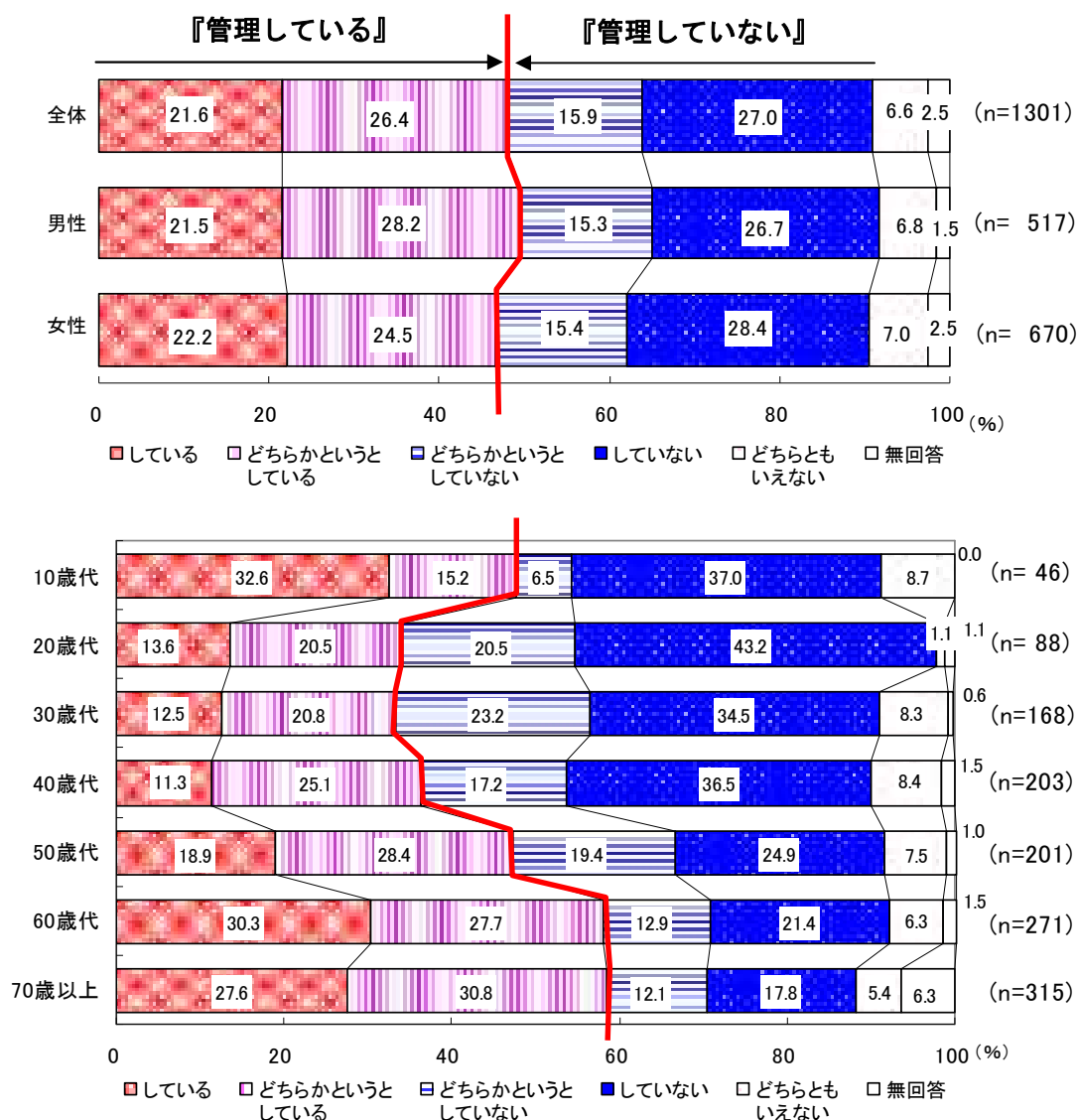
④ 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。.....(○は1つだけ)

『管理している』^(※) が5割弱、『管理していない』^(※) は4割強

「していない」の割合が27.0%で最も高く、次いで「どちらかというとしている」26.4%、「している」21.6%、「どちらかというしていない」15.9%の順となっています。「どちらかというとしている」と「している」を合わせると、『管理している』と答えた人は5割弱となっています。反対に、『管理していない』は4割強で、『管理している』人の方が若干高くなっています。(※)『管理している』は「している」+「どちらかというとしている」。『管理していない』は「していない」+「どちらかというしていない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『管理している』の割合が低くなっています。

年齢別にみると、60歳以上の高齢者では『管理している』の割合が高くなっています。



(5) かかりつけ医の有無【問3⑤】

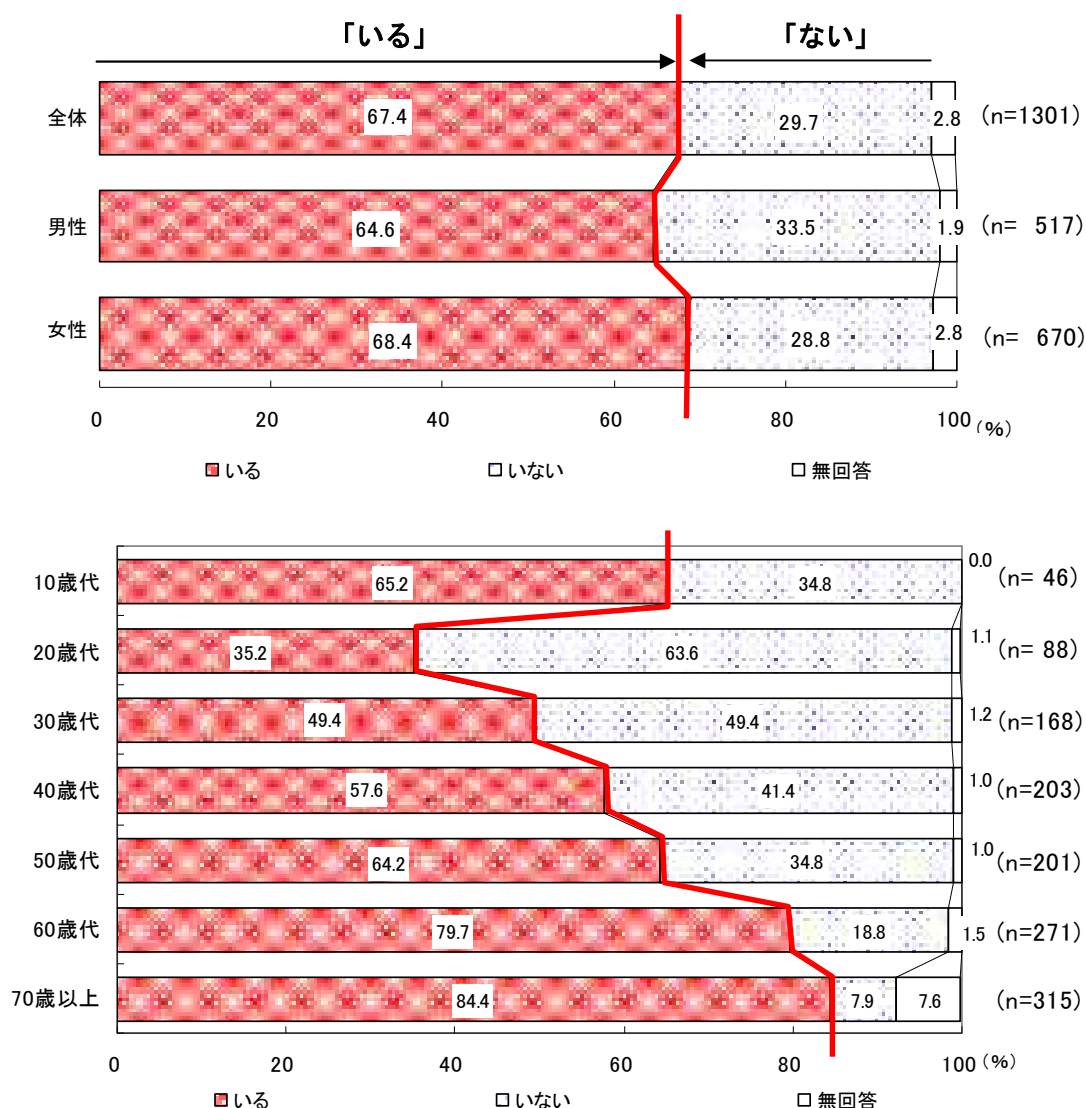
⑤ かかりつけ医がいますか。(○は1つだけ)

「いる」が7割弱、「ない」は3割

「いる」の割合が67.4%で7割弱となっており、「ない」29.7%を大きく上回っています。

男女別にみると、女性の方が男性よりも“かかりつけ医がいる”の割合が高くなっています。

年齢別にみると、70歳以上で「いる」と答えた人の割合は最も高くなっています。おおむね年齢が上がるにつれて、かかりつけ医がいる割合も高くなっています。また、10歳代では、学生等で両親と家族で住んでいることが多いと考えられることから「いる」の割合が高くなっていると考えられます。



Ⅲ. 調査結果の分析

4. 幸福な生活に対する意識

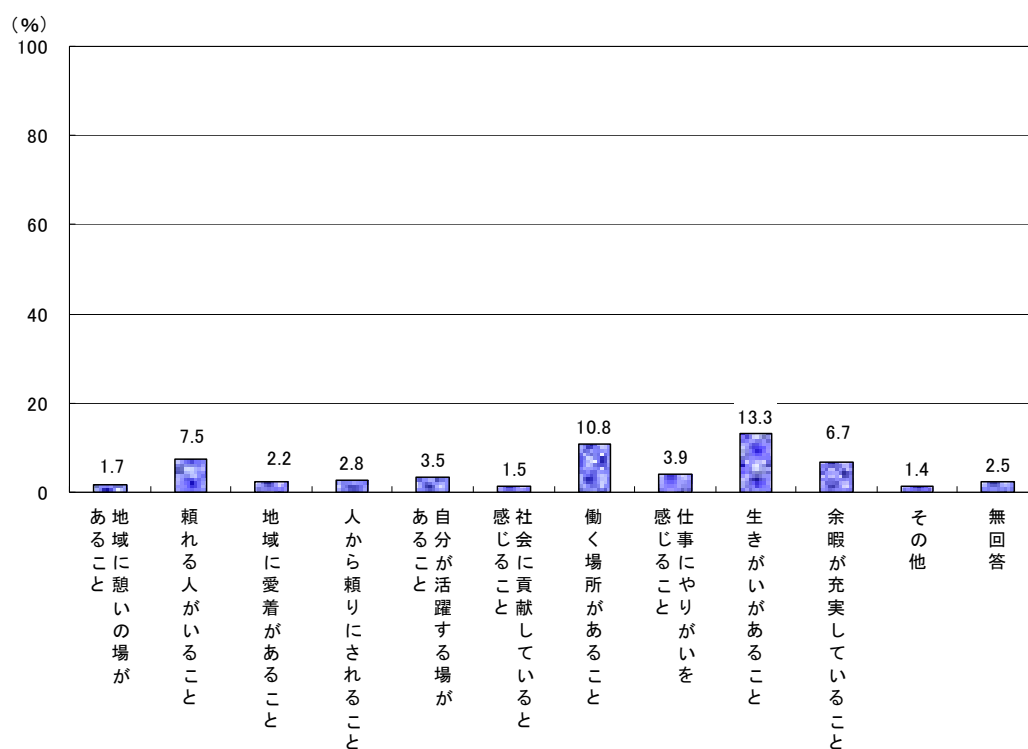
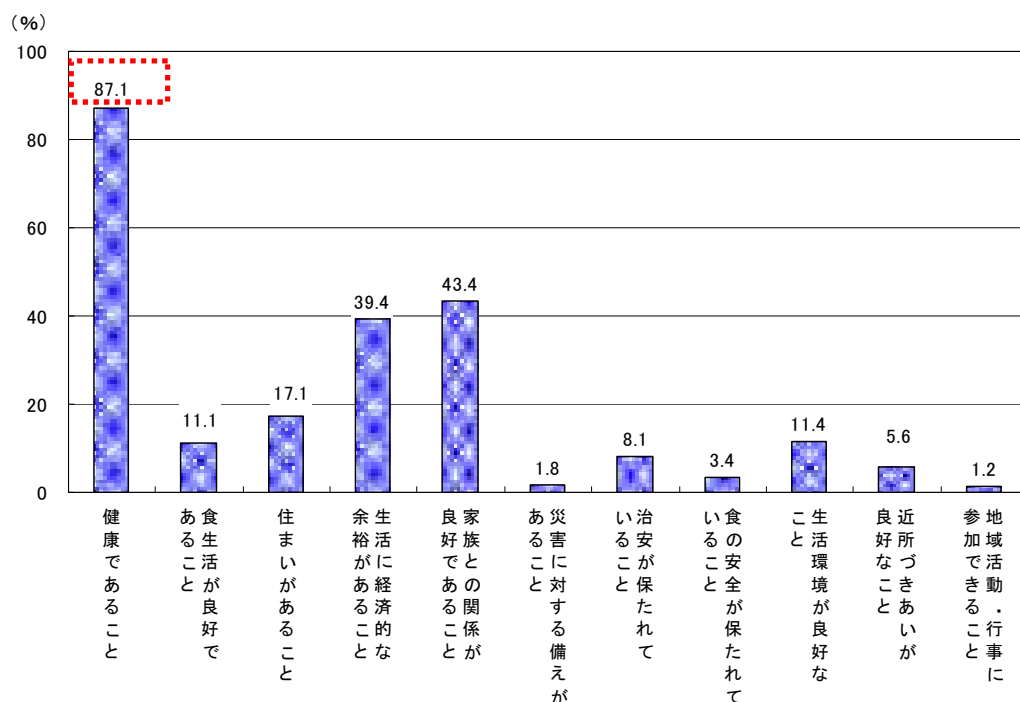
(1) 幸福な生活のために必要なこと【問4①】

問4. あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。

① 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

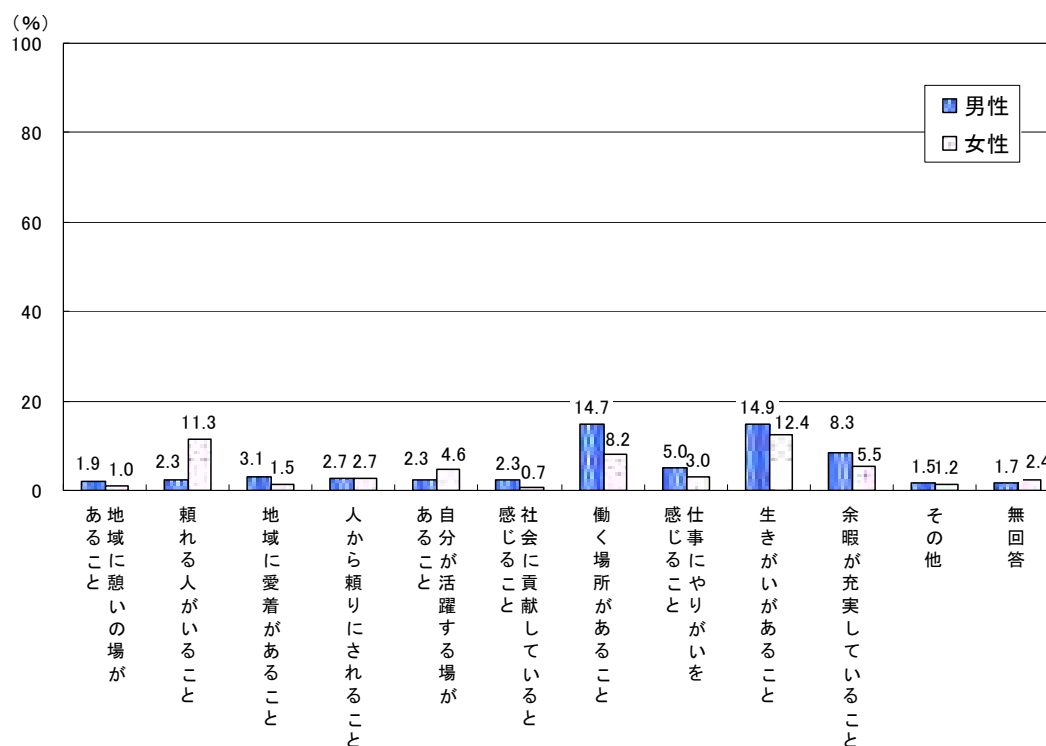
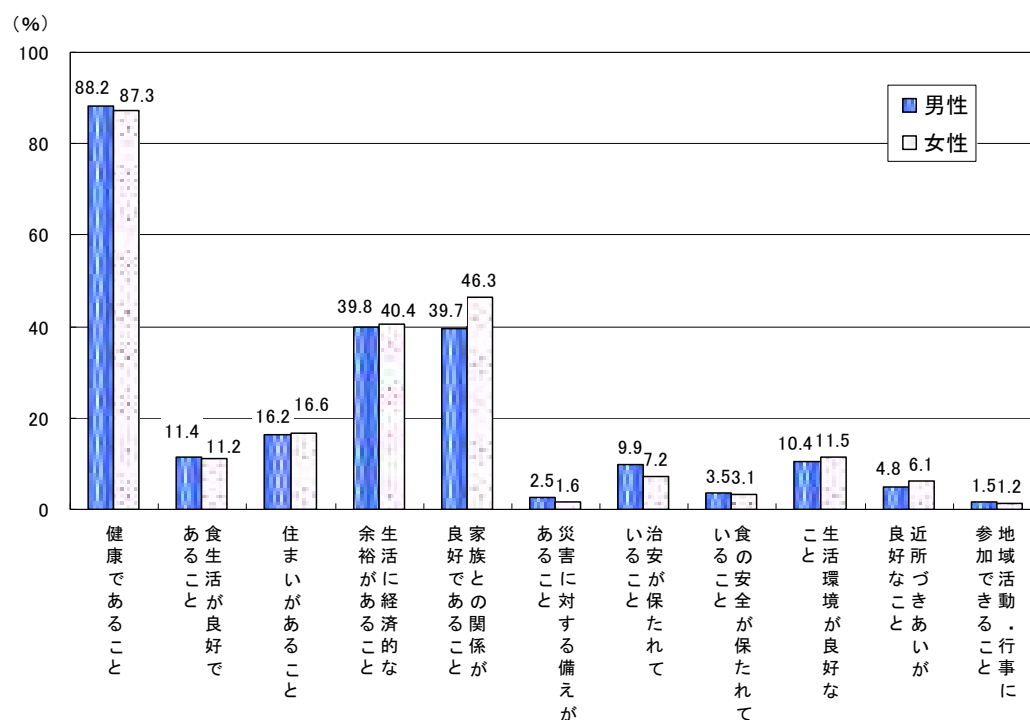
「健康であること」が9割弱

「健康であること」の割合が87.1%で最も高くなっています。次いで「家族との関係が良好であること」43.4%、「生活に経済的な余裕があること」39.4%の順となっています。おおむね9割の人が“健康”を幸福な生活を送るためのキーワードとして考えています。



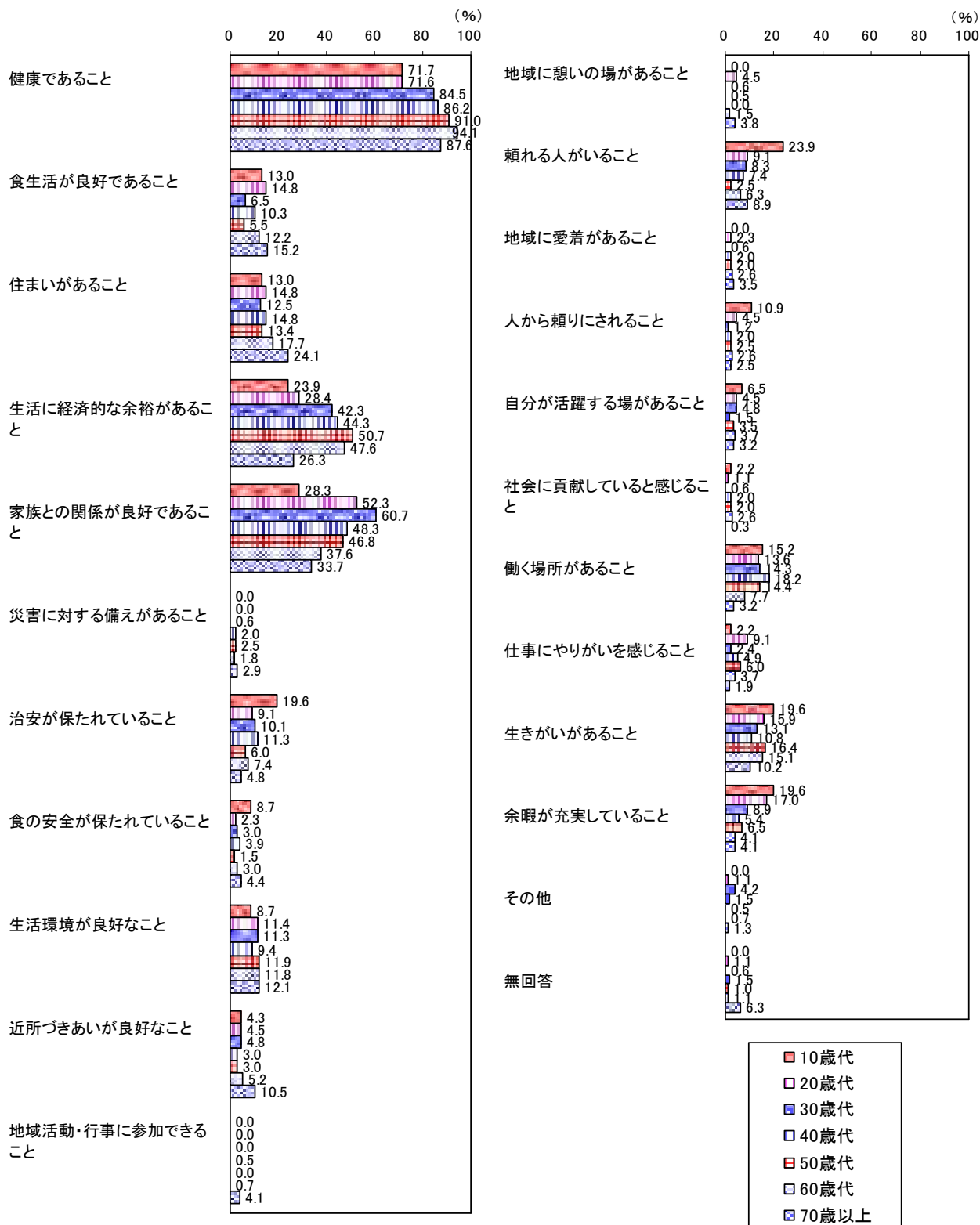
Ⅲ. 調査結果の分析

男女別でみると、最も高い「健康であること」については、おおむね男女の格差は小さいです。女性の方が男性よりも高いのは「家族との関係が良好であること」「頼れる人がいること」などがあげられます。反対に男性の方が女性よりも高いのは「働く場所があること」「生きがいがあること」などがあげられます。これらを踏まえると、「健康」については男女の差はあまり見られませんが、それ以外では若干異なっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

年齢別でみると、おおむね年齢が進むにつれて、「健康」を幸福な生活に必要と考える人が高くなっており、50 歳以上の中高年齢者では 9 割前後の割合を占めています。30 歳代、20 歳代では「家族との関係が良好であること」と考える人の割合が高く 5 割を超えています。また、50 歳代、60 歳代では「生活に経済的な余裕があること」が 5 割前後で高くなっています。年代により“幸せ”に対する必要な条件が若干異なっています。



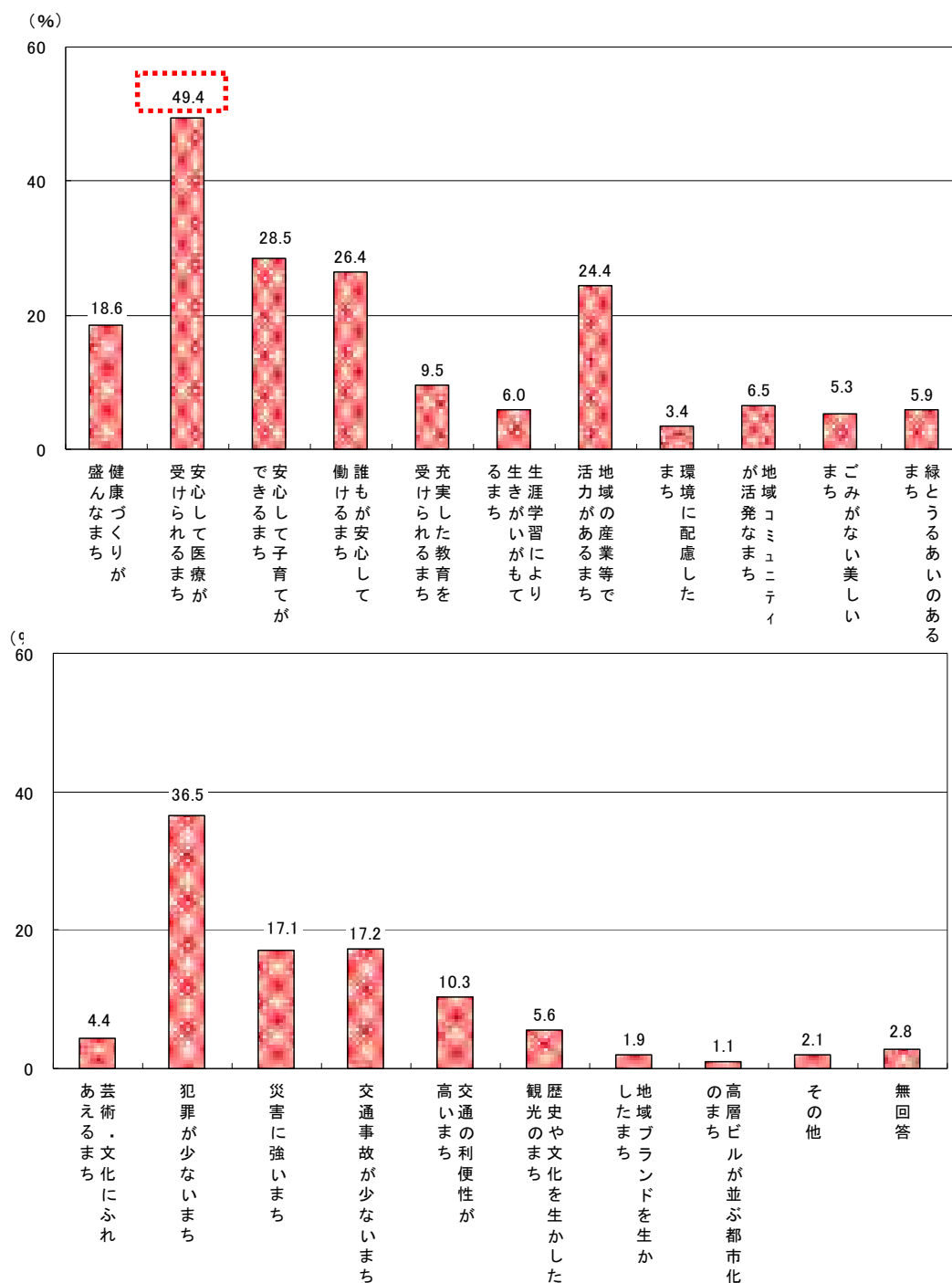
(2) 松阪市がめざす(理想とする)まち(幸福な生活を送るために)【問4②】

② 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのいいと思いますか。

(○は3つまで)

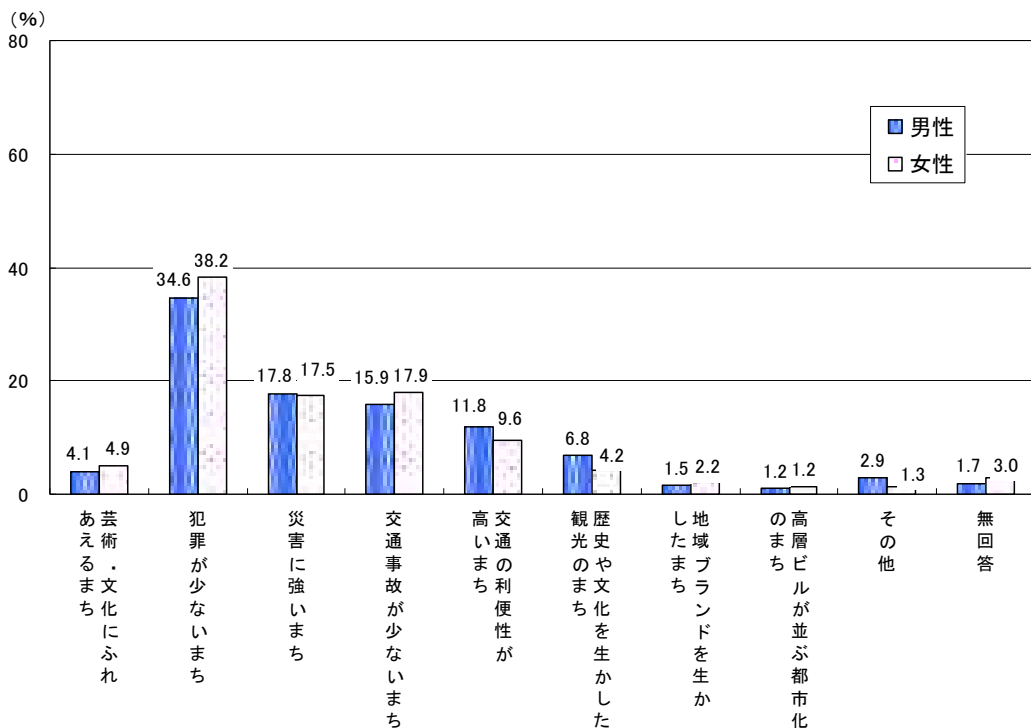
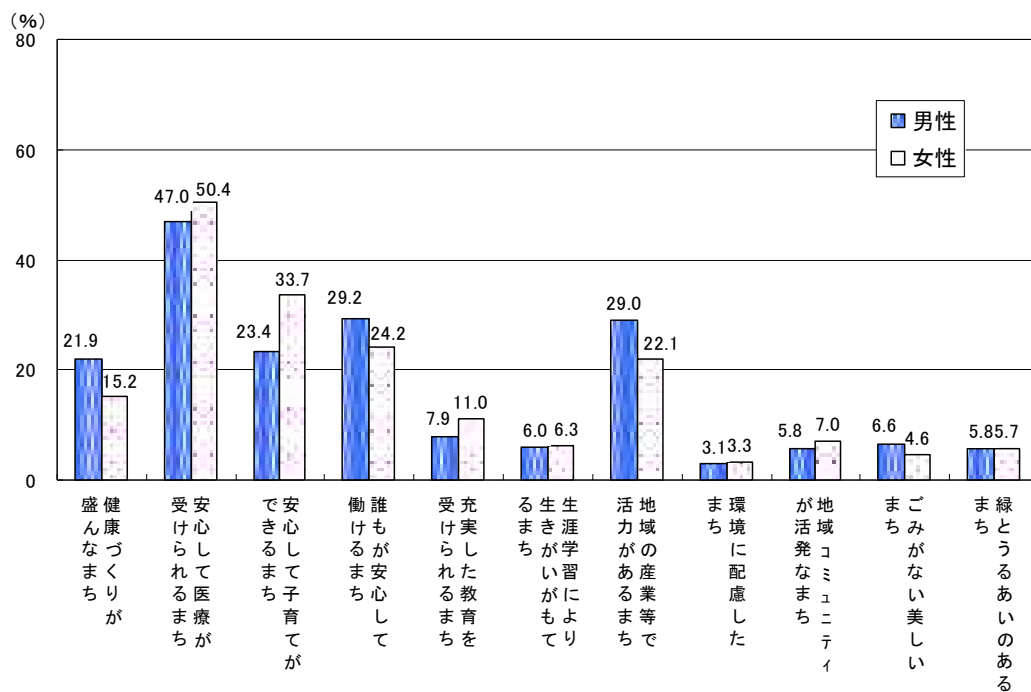
「安心して医療が受けられるまち」が5割、「犯罪が少ないまち」が4割弱

「安心して医療が受けられるまち」の割合が49.4%で最も高くなっています。次いで「犯罪が少ないまち」36.5%、「安心して子育てができるまち」28.5%、「誰もが安心して働けるまち」26.4%、「地域の産業等で活力があるまち」24.4%の順となっています。



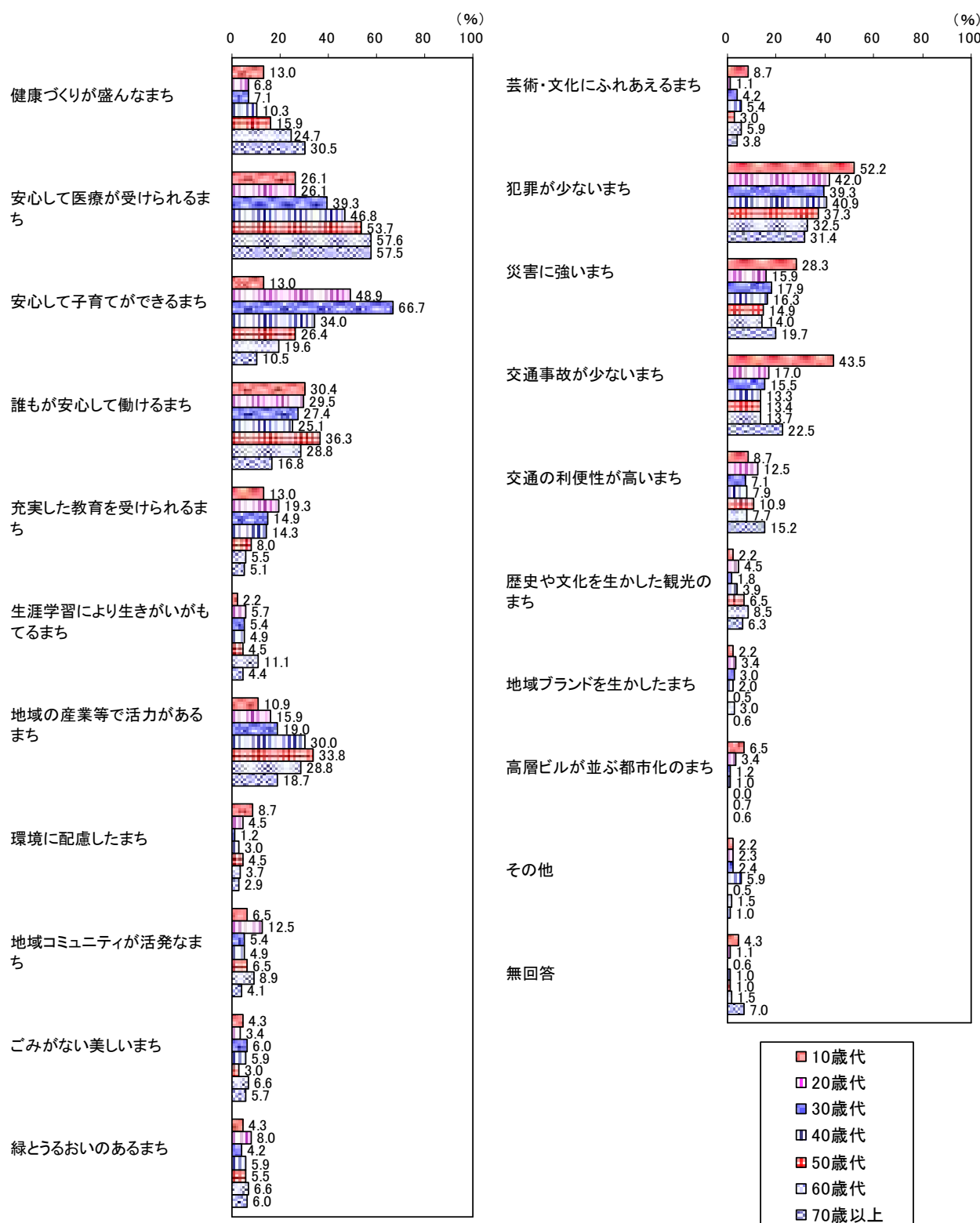
Ⅲ. 調査結果の分析

男女別でみると、女性の方が男性よりも高いのは「安心して医療が受けられるまち」「安心して子育てができるまち」「充実した教育を受けられるまち」「犯罪が少ないまち」などがあげられます。反対に男性の方が女性よりも高いのは「誰もが安心して働けるまち」「地域の産業等で活力があるまち」などがあげられます。これらを踏まえると、男女間で若干異なっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

年齢別でみると、おおむね年齢が進むにつれて、「安心して医療が受けられるまち」と考える人が高くなっており、50 歳以上の中高年齢者では 5 割を超えています。30 歳代、20 歳代では「安心して子育てができるまち」と考える人の割合が高くなっています。50 歳代では「誰もが安心して働けるまち」「地域の産業等で活力があるまち」の割合が他の年齢層よりも高くなっています。また、10 歳代と 70 歳以上で「交通事故が少ないまち」と考えている人の割合が高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(3) 現在の幸せ度【問5】

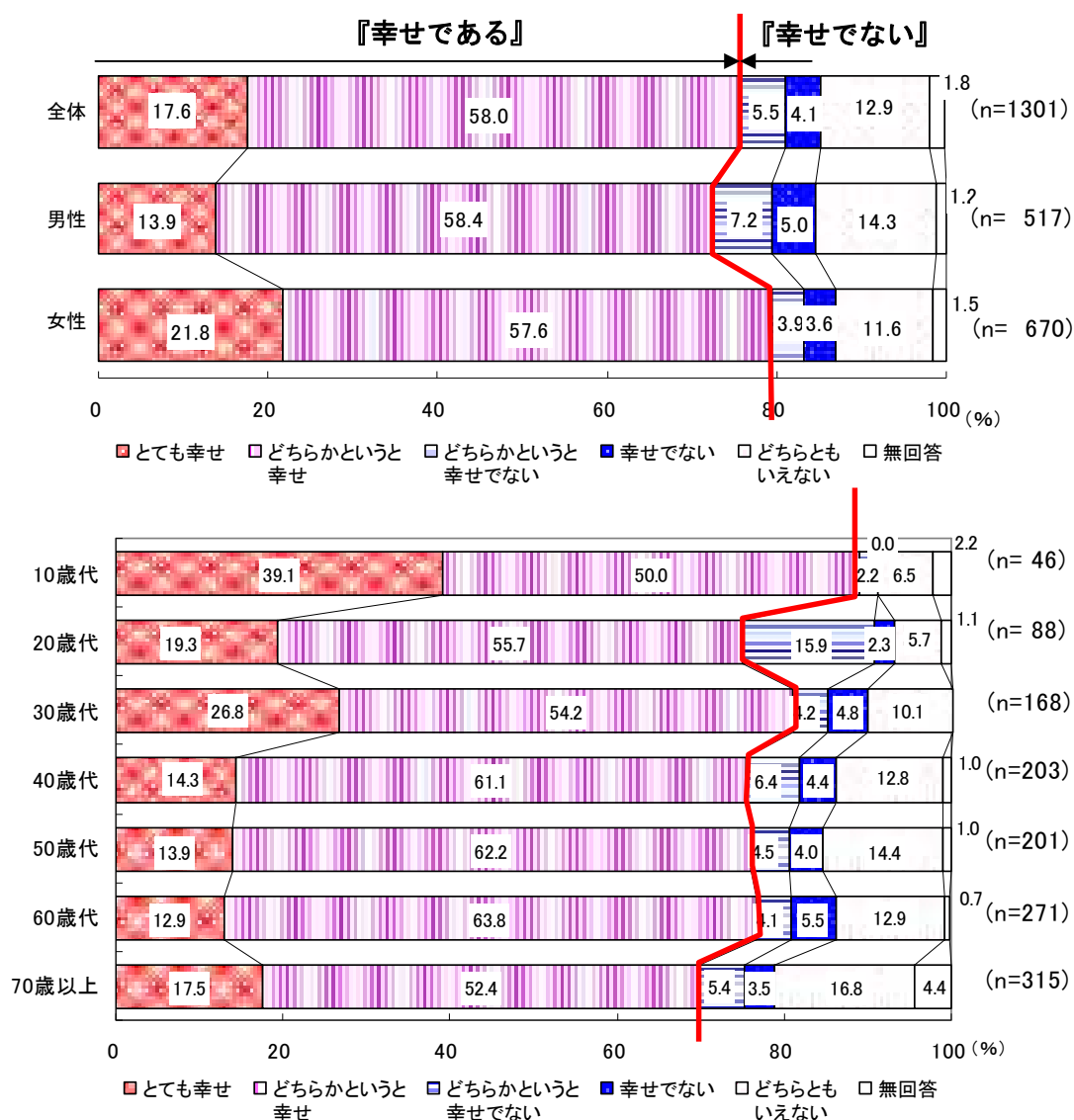
問5. あなたは今、幸せだと感じますか。(○は1つだけ)

『幸せである』(※) が7割5分、『幸せでない』(※) は1割

「どちらかという幸せだと感じる」の割合が58.0%で最も高く、次いで「とても幸せだと感じる」17.6%で、合わせて『幸せである』が7割5分となっています。反対に「どちらかという幸せでないと感じる」5.5%、「幸せでないと感じる」4.1%を合わせると1割の人が、今は『幸せでない』と思っています。(※)『幸せである』は「とても幸せだと感じる」+「どちらかという幸せだと感じる」。『幸せでない』は「幸せでないと感じる」+「どちらかという幸せでないと感じる」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『幸せである』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、20歳代では『幸せでない』の割合が高くなっています。また、70歳以上では「どちらともいえない」と答えた人の割合が他の年齢層よりも高くなっています。



(4) これまでの幸せ度【問6】

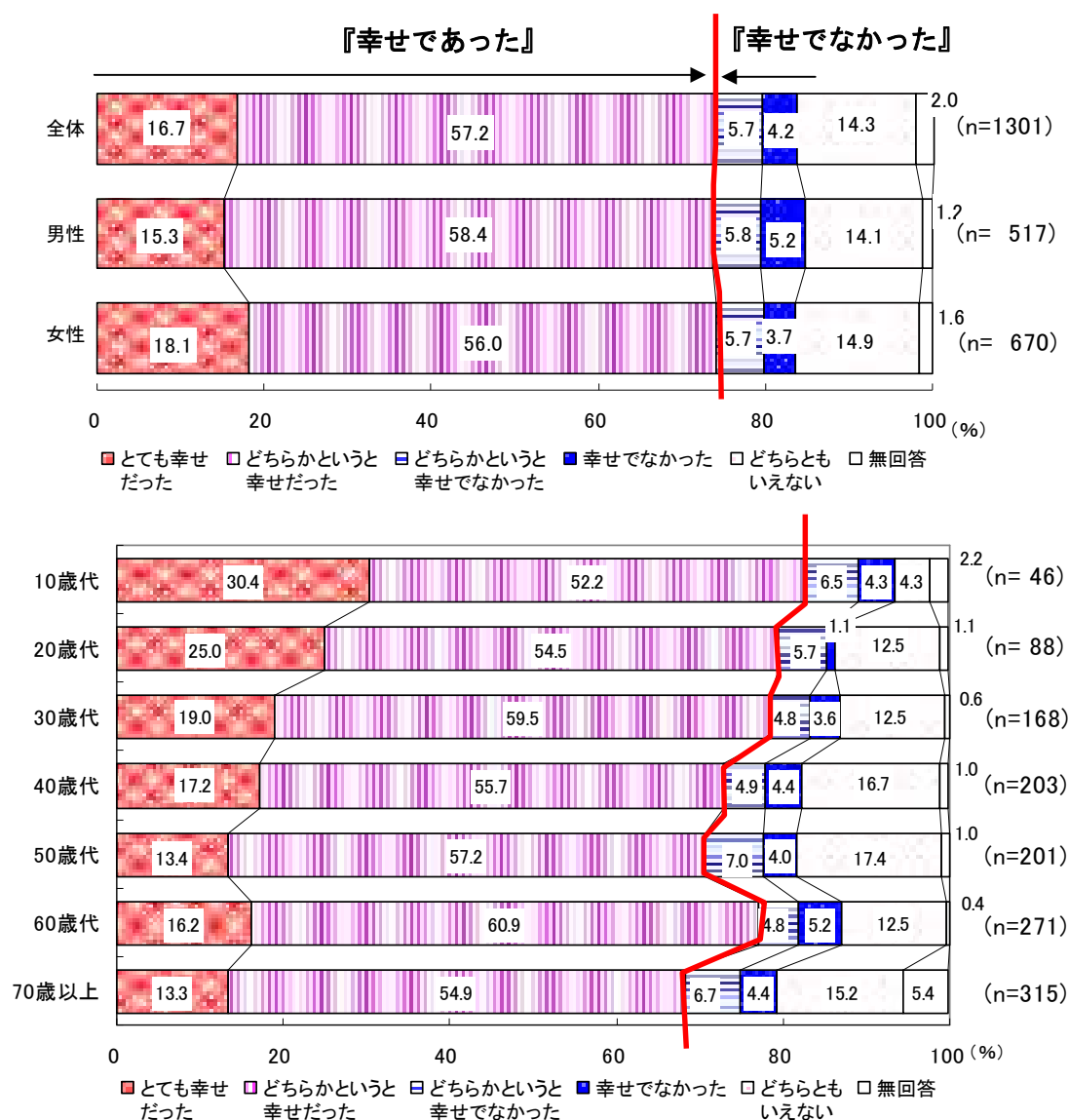
問6. あなたはこれまでの人生を振り返ってみて、幸せだったと感じますか。

(○は1つだけ)

『幸せであった』^(※) が7割強、『幸せでなかった』^(※) は1割

「どちらかという幸せだったと感じる」の割合が57.2%で最も高く、次いで「とても幸せだったと感じる」16.7%で、合わせて『幸せであった』が7割強となっています。反対に「どちらかという幸せでなかったと感じる」5.7%、「幸せでなかったと感じる」4.2%を合わせると1割の人が、これまでは『幸せでなかった』と思っています。(※)『幸せであった』は「とても幸せだったと感じる」+「どちらかという幸せだったと感じる」。『幸せでなかった』は「幸せでなかったと感じる」+「どちらかという幸せでなかったと感じる」。

年齢別にみると、10歳代から30歳代と60歳代では『幸せであった』の割合が高くなっています。反対に、40歳代、50歳代と70歳以上では『幸せであった』の割合が若干低くなっており、「どちらともいえない」の割合が前者と比較して高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(5) 将来に向けての幸せ度【問7】

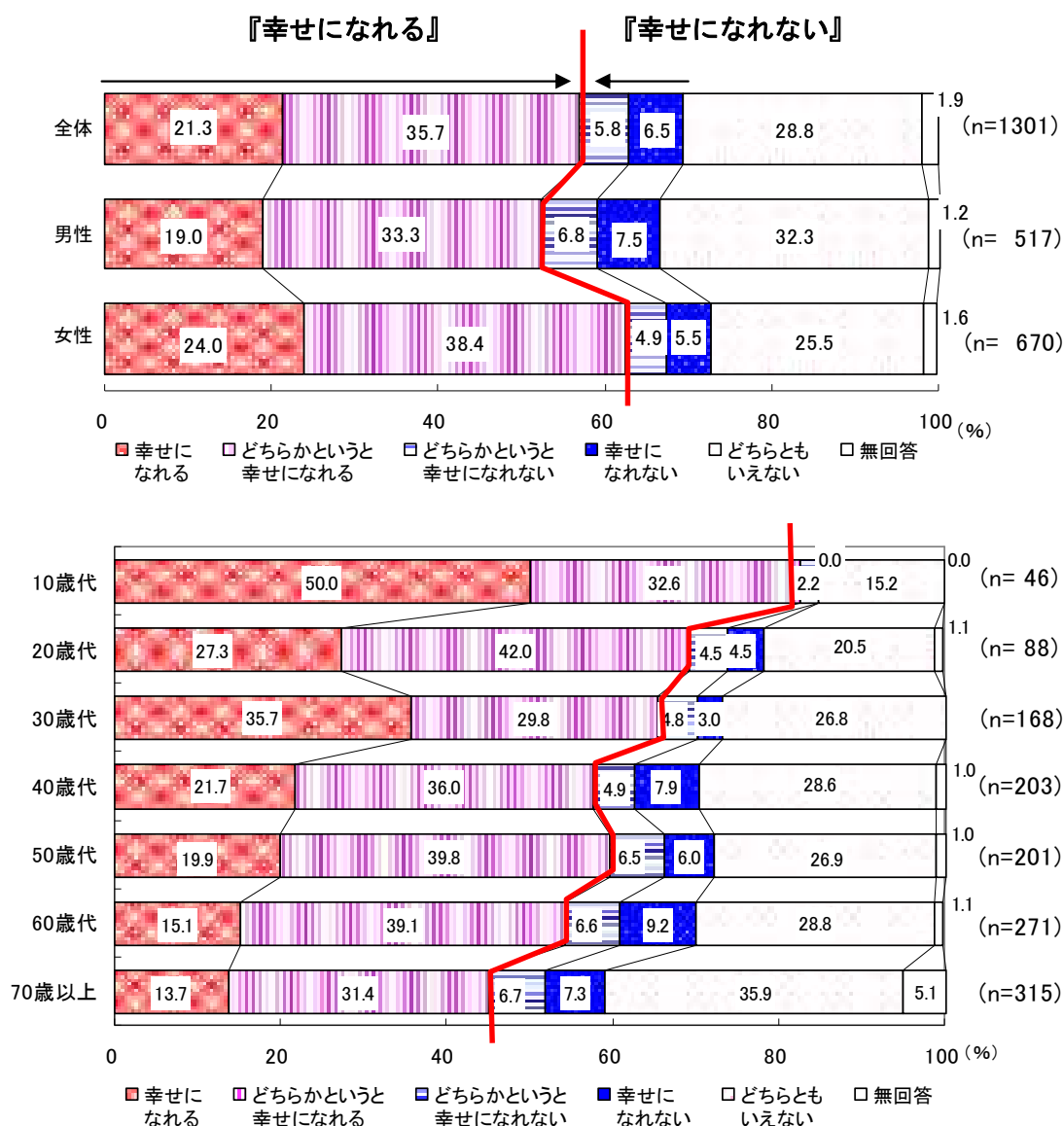
問7. あなたはこれから先、幸せになれると思いますか。(〇は1つだけ)

『幸せになれる』(※) が6割弱、『幸せになれない』(※) は1割

「どちらかという幸せになれると思う」の割合が35.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」28.8%、「幸せになれると思う」21.3%の順となっています。「どちらかという幸せになれると思う」と「幸せになれると思う」を合わせると、『幸せになれる』が6割弱となっています。反対に「幸せになれると思わない」6.5%、「どちらかという幸せになれると思わない」5.8%を合わせると1割を超える人が、これから先、『幸せになれない』と考えています。ただ、「どちらともいえない」と答えた人が3割弱を占めています。(※)『幸せになれる』は「幸せになれると思う」+「どちらかという幸せになれると思う」。『幸せになれない』は「幸せになれると思わない」+「どちらかという幸せになれると思わない」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『幸せになれる』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、70歳以上では『幸せになれる』の割合が最も低く、「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



(6) 幸せを判断するときに、重視する点【問8】

問8. 問5から問7までの質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。
 (次のうちから重視した順に3つまでお書きください。)

<回答欄 重視した順 ① _____、② _____、③ _____>

「健康」が8割強、「家族との関係」は6割強

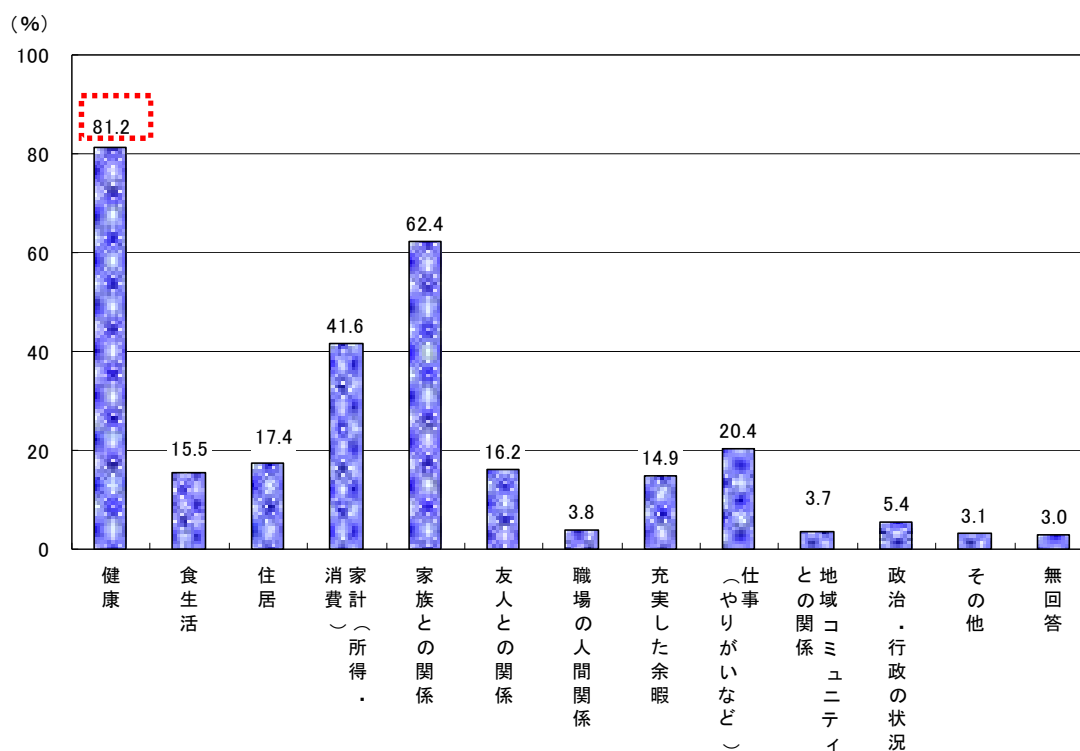
幸せを判断するときに重視した点（3つまでの項目）では、「健康」が81.2%で最も高くなっています。次いで「家族との関係」62.4%、「家計（所得・消費）」41.6%、「仕事（やりがいなど）」20.4%の順となっています。

重視した点で最も優先的に選んだ項目（第1位）をみると、「健康」が63.3%で最も高く、次いで「家族との関係」17.3%、「家計（所得・消費）」7.6%の順となっています。

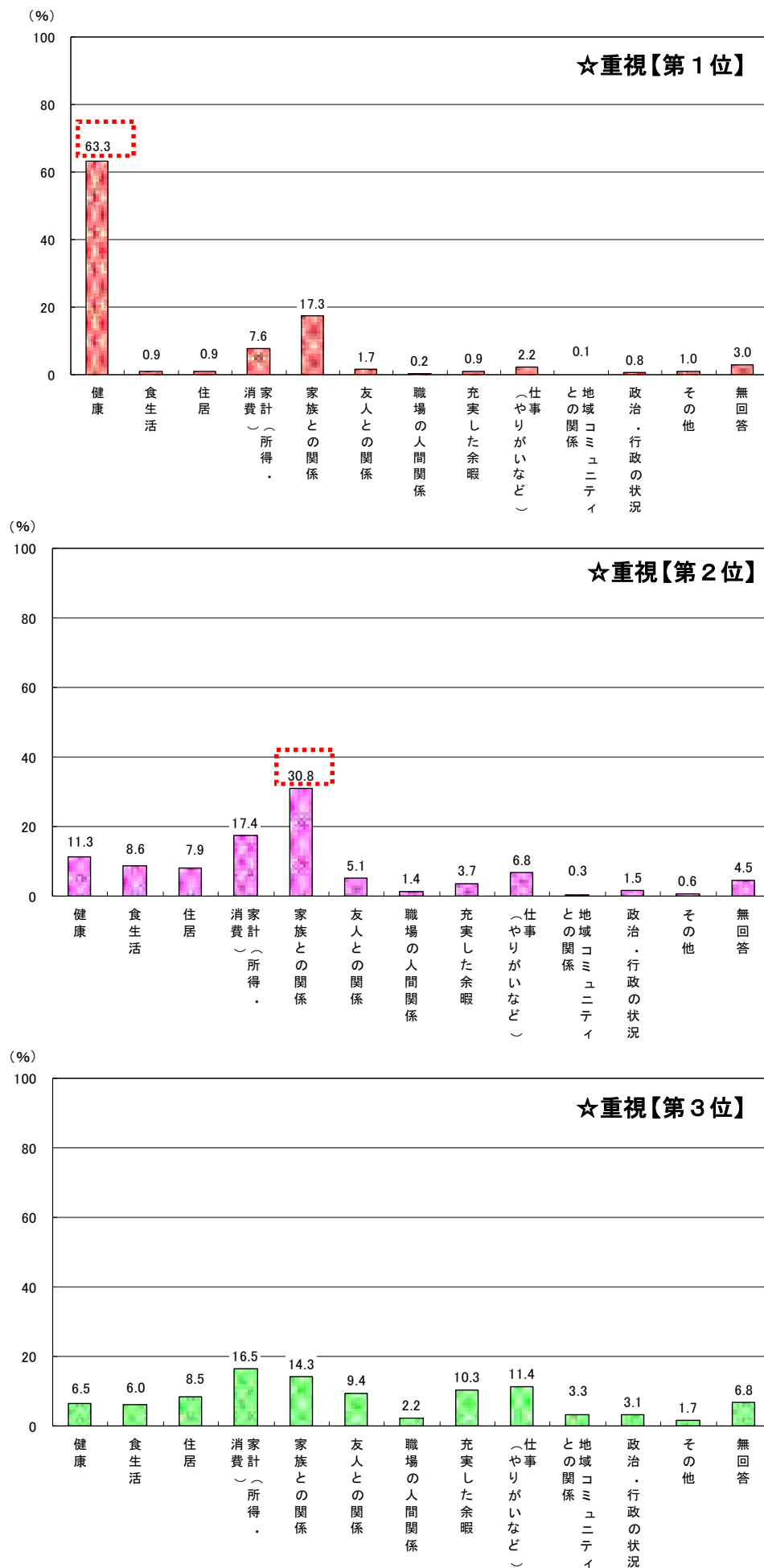
2番目に優先順位が高い項目（第2位）をみると、「家族との関係」30.8%で最も高く、次いで「家計（所得・消費）」17.4%、「健康」が11.3%の順となっています。

3番目に優先順位が高い項目（第3位）をみると、「家計（所得・消費）」16.5%で最も高く、次いで「家族との関係」14.3%、次いで「仕事（やりがいなど）」11.4%の順となっています。

以上により、幸せを判断するときに「健康」に対する比重がたいへん高いことがいえます。

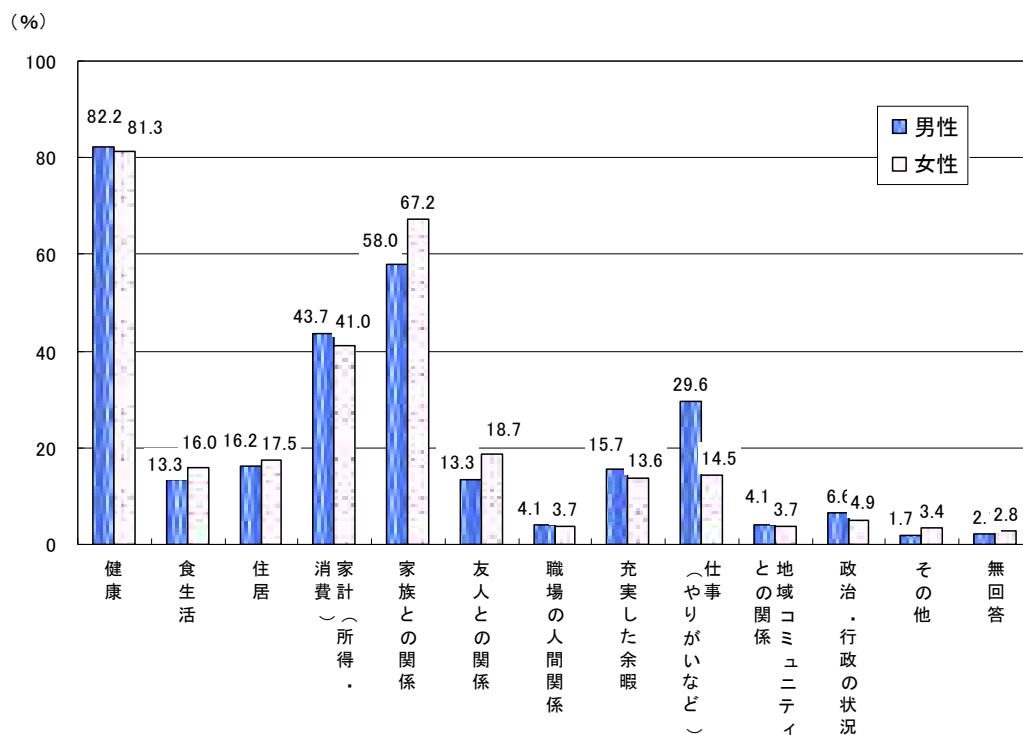


Ⅲ. 調査結果の分析



Ⅲ. 調査結果の分析

男女別でみると、「健康」については男女ともに差はほとんど見られません。女性の方が男性よりも高いのは「家族との関係」「友人との関係」などがあげられます。反対に男性の方が女性よりも高いのは「家計（所得・消費）」「充実した余暇」「仕事（やりがいなど）」などがあげられます。最も男女の格差がみられるのは「仕事（やりがいなど）」で、男性が女性の割合の 2 倍となっています。これらを踏まえると、男女間で若干異なっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

Ⅲ-2 市政全般等について

1. 松阪市全体に対する意識

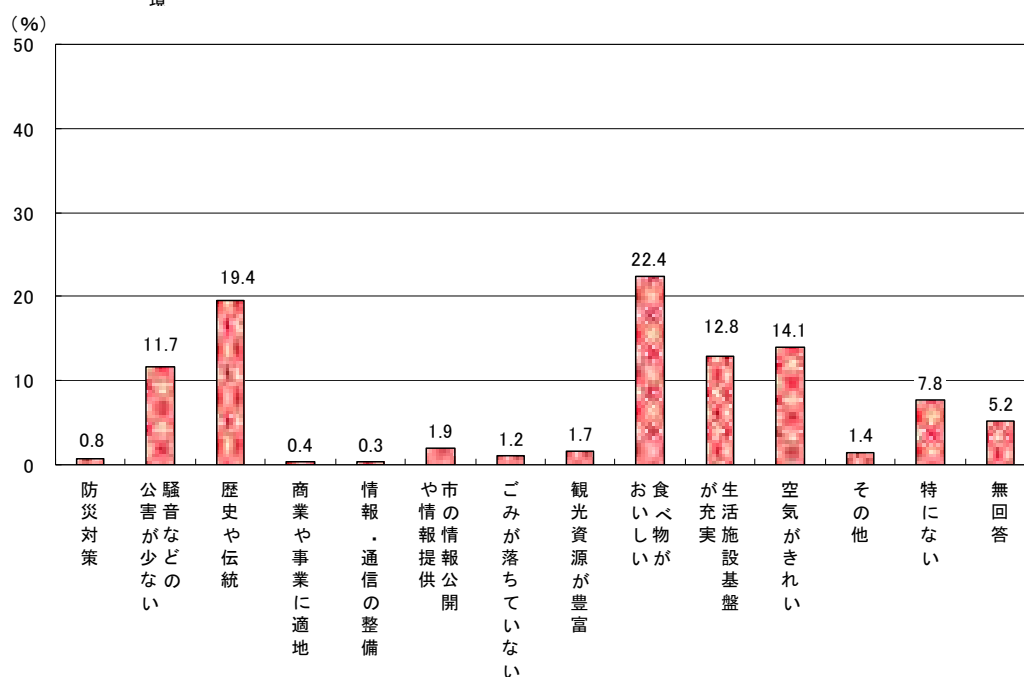
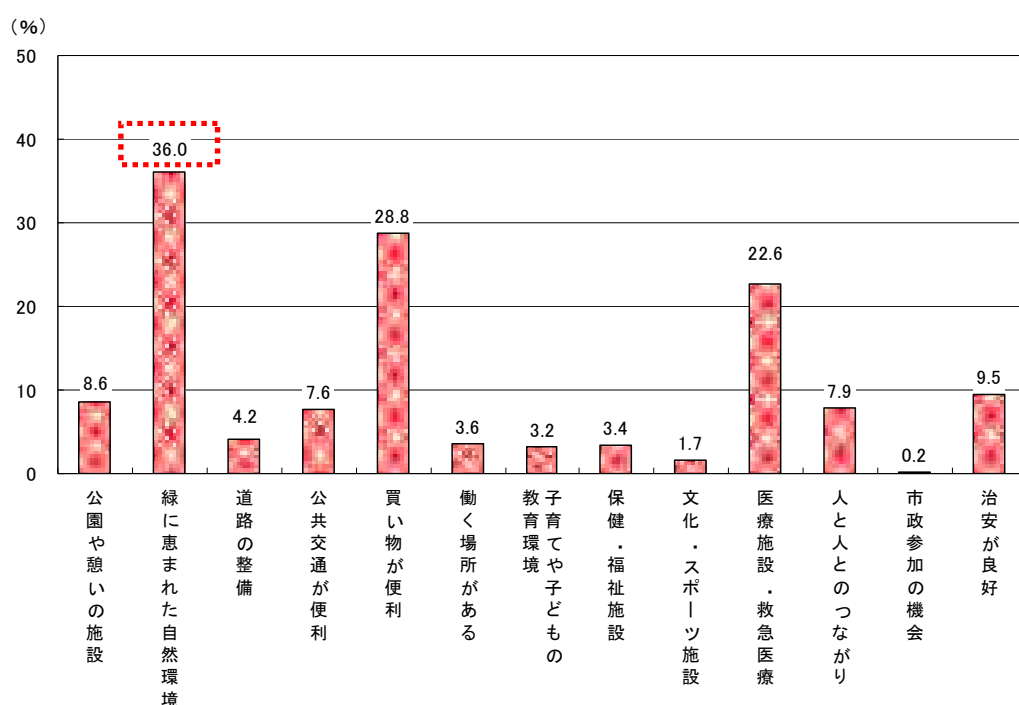
(1) 松阪市の良いと思う点【問9①】

問9. 市全般に関することについておうかがいします。

① あなたが松阪市の良いと思うところはどんなことですか。(〇は3つまで)

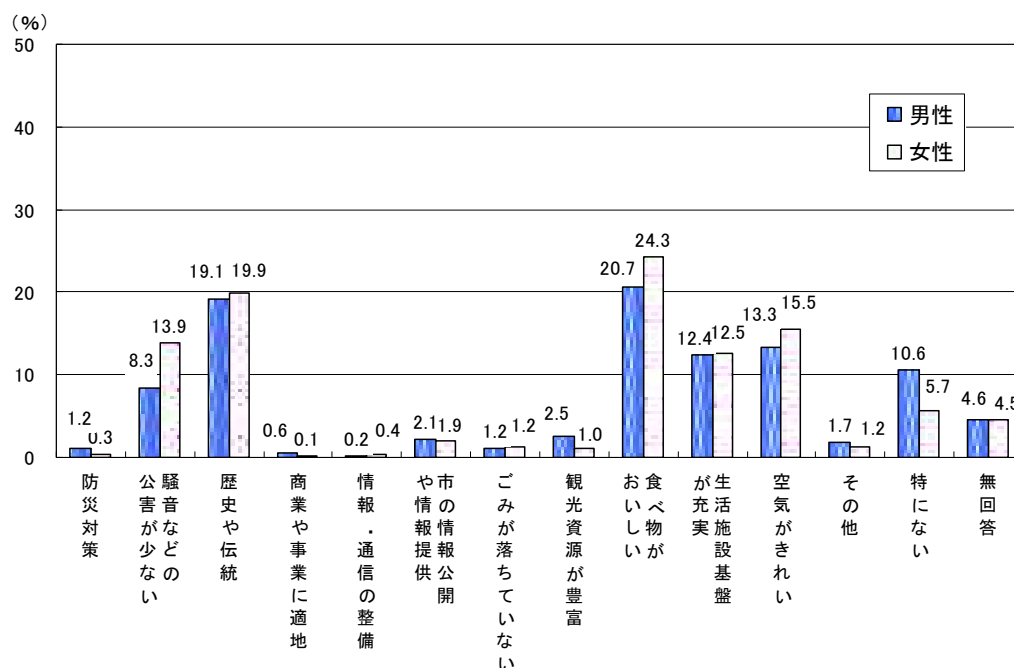
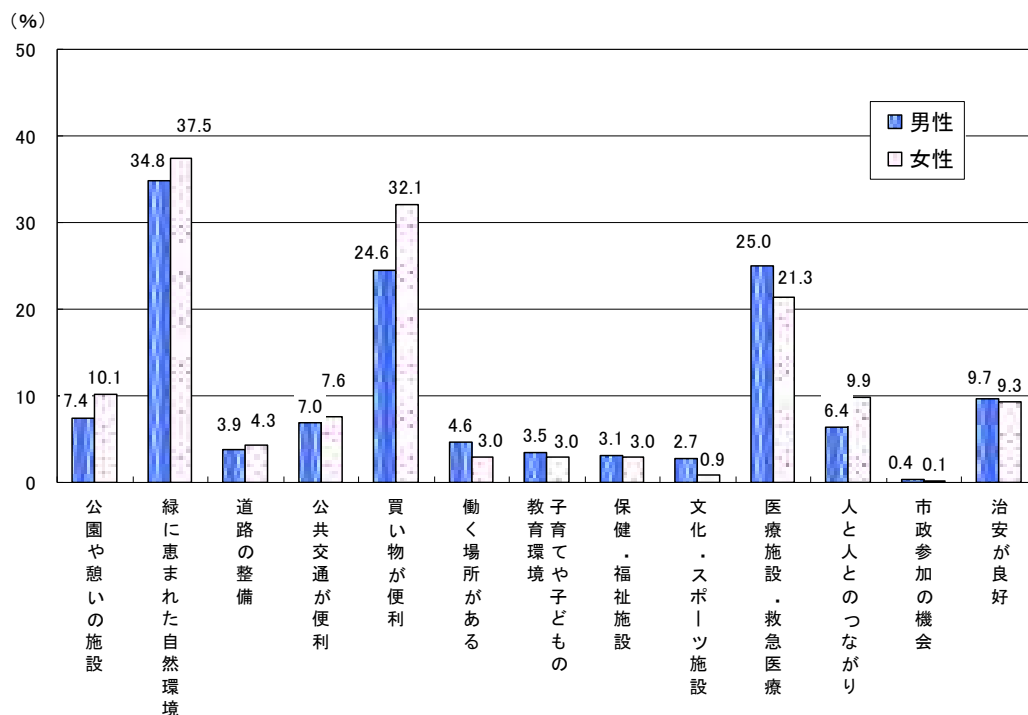
「緑に恵まれた自然環境」が4割弱、「買い物便利」が3割弱

松阪市の良いと思うところは、「緑に恵まれた自然環境（緑が比較的多く自然環境に恵まれている）」の割合が36.0%で最も高くなっています。次いで「買い物便利」28.8%、「医療施設・救急医療（が整っている）」22.6%、「食べ物おいしい」22.4%の順となっており、2割を超えています。



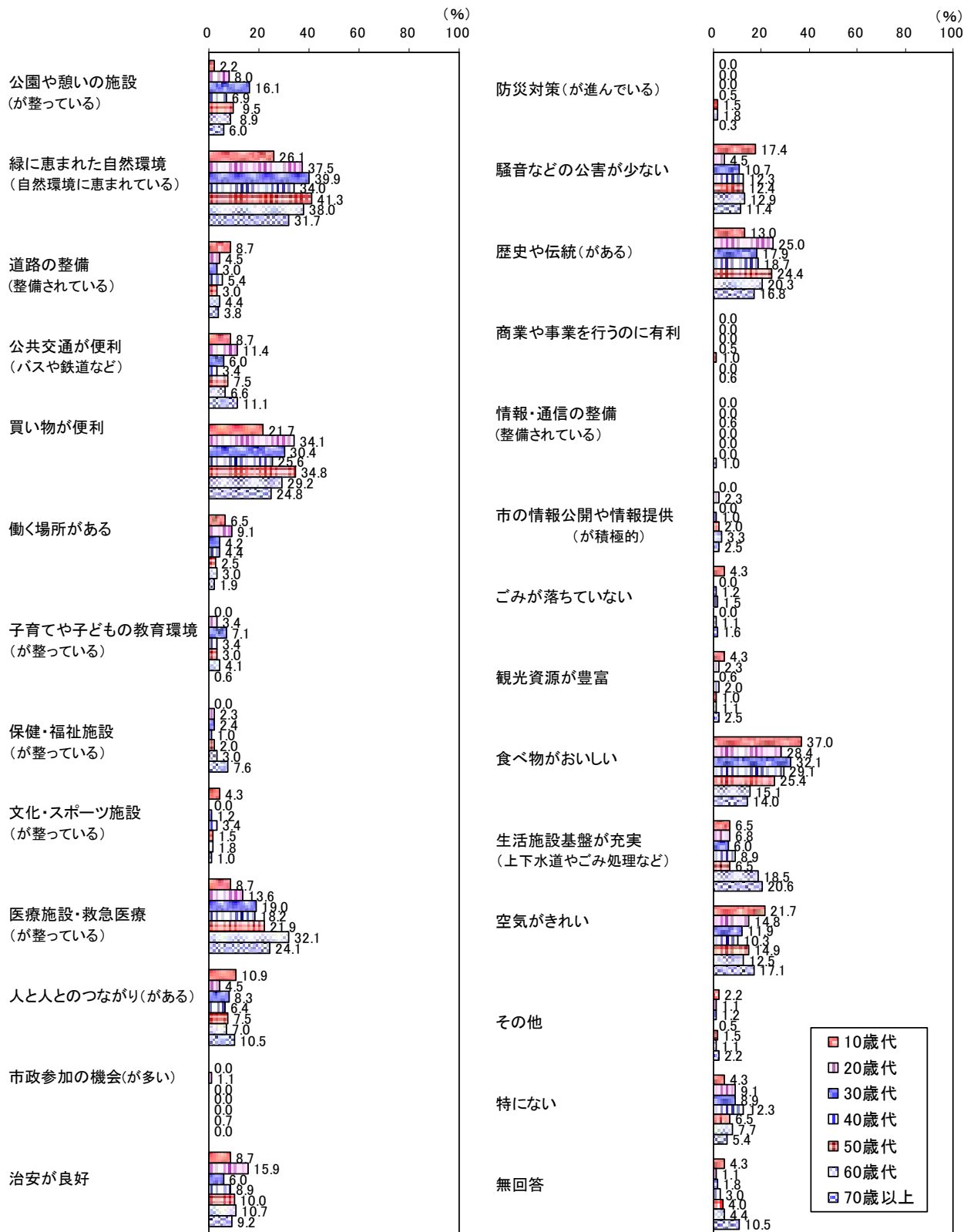
Ⅲ. 調査結果の分析

男女別でみると、女性の方が男性よりも高いのは「緑に恵まれた自然環境」「買い物が便利」「人と人とのつながり（がある）」「騒音などの公害が少ない」などがあげられます。反対に男性の方が女性よりも高いのは「医療施設、救急医療（が整っている）」などで、「特にない」と回答した人は男性の方が高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

年齢別でみると、10 歳代を除いておおむね各年齢層で「緑に恵まれた自然環境」を松阪市の良い点としてあげている人の割合が高くなっています。「医療施設・救急医療」は、60 歳以上の年齢層で高くなっています。反対に、「食べ物がおいしい」は 10 歳代をはじめとした若中年齢層で高くなっています。

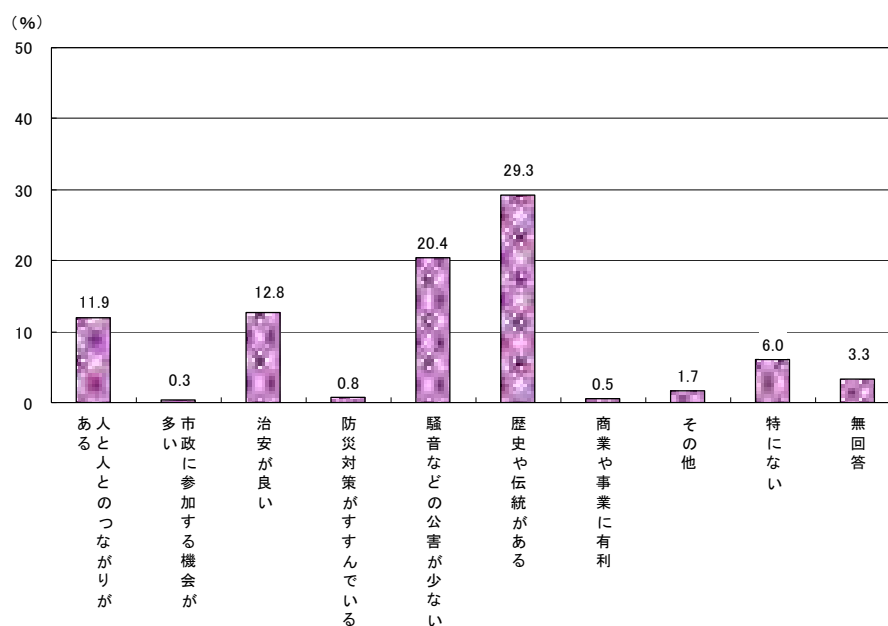
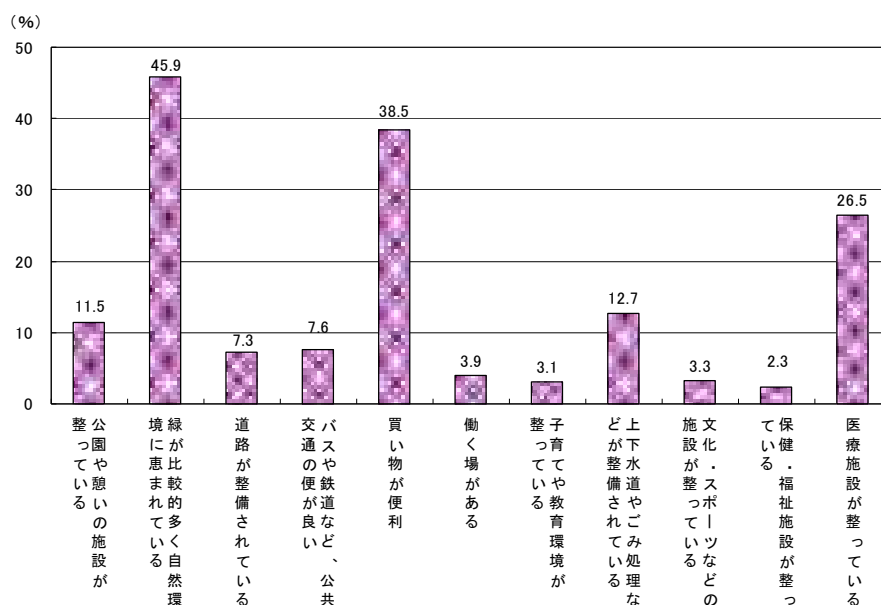


□ 参 考

－ 松阪市の良いと思うところ（前回調査結果（平成 21 年）との比較）－

「緑に恵まれた自然環境」が5割弱、「買い物に便利」が4割弱

前回調査結果によると、松阪市の良いところは「緑に恵まれた自然環境（緑が比較的多く自然環境に恵まれている）」の割合が 45.9%で最も高くなっています。次いで「買い物が便利」38.5%、「歴史や伝統がある」29.3%、「医療施設・救急医療（が整っている）」26.5%、「騒音などの公害が少ない」20.4%の順となっており、2割を超えています。今回の調査結果と比較すると、設問の選択肢の数が変更となったため、今回調査の方が、各項目の割合は低くなっています。（例えば、「緑に恵まれた自然環境（緑が比較的多く自然環境に恵まれている）」は 45.9%（前回）から 36.0%（今回）に変わっています。）



資料：平成 21 年度松阪市民意識調査報告書

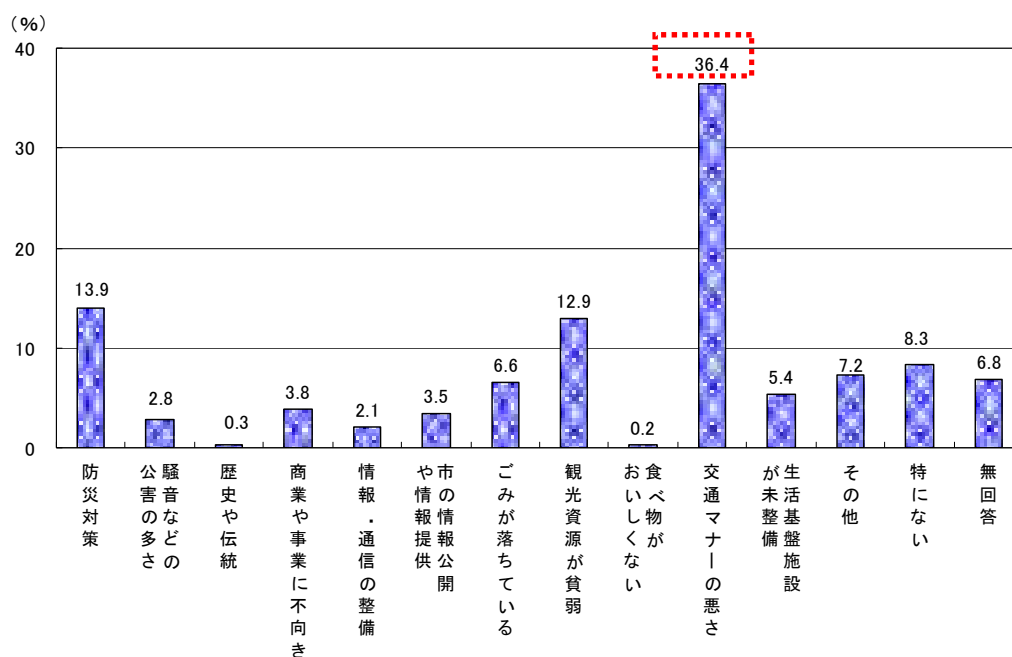
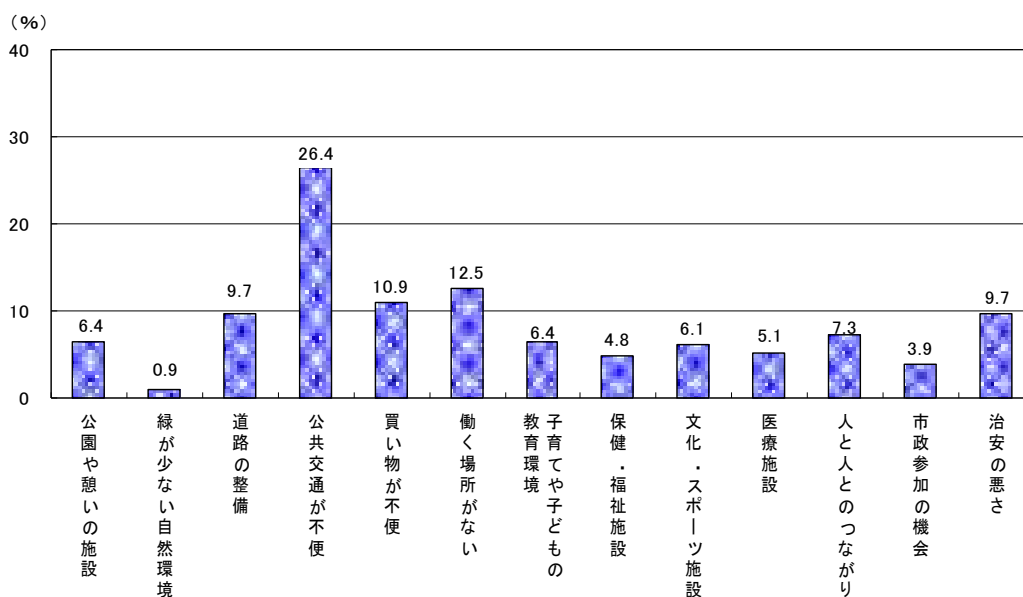
Ⅲ. 調査結果の分析

(2) 松阪市の良くないと思う点【問9②】

② あなたが松阪市の良くないと思うところはどんなことですか。(〇は3つまで)

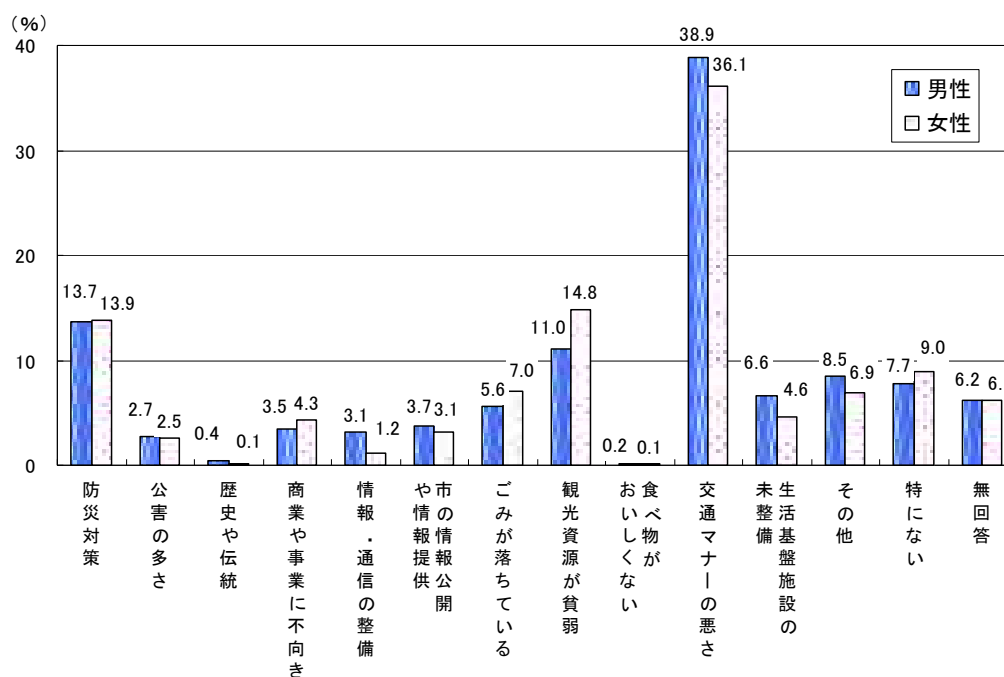
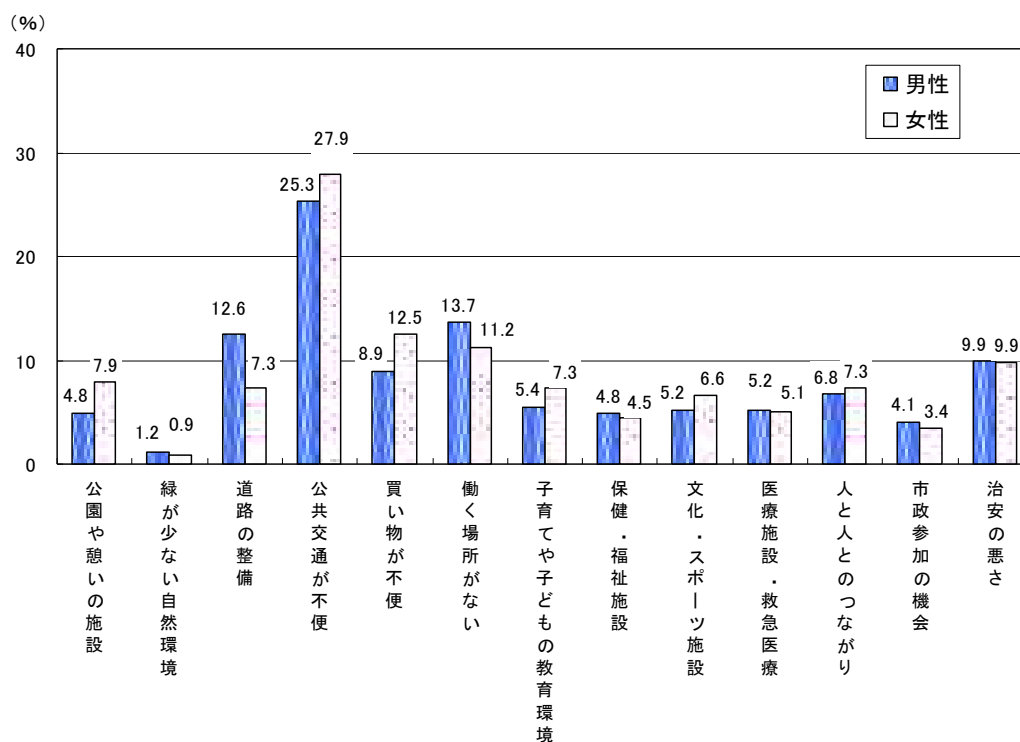
「交通マナーが悪い」が4割弱、「公共交通が不便」が3割弱

松阪市の良くないと思うところは、「交通マナーが悪い」の割合が36.4%で最も高くなっています。次いで「公共交通が不便（バスや鉄道など、公共交通の便が悪い）」26.4%、「防災対策（が遅れている）」13.9%、「観光資源が貧弱」12.9%、「働く場所がない」12.5%、「買い物が不便」10.9%の順となっています。



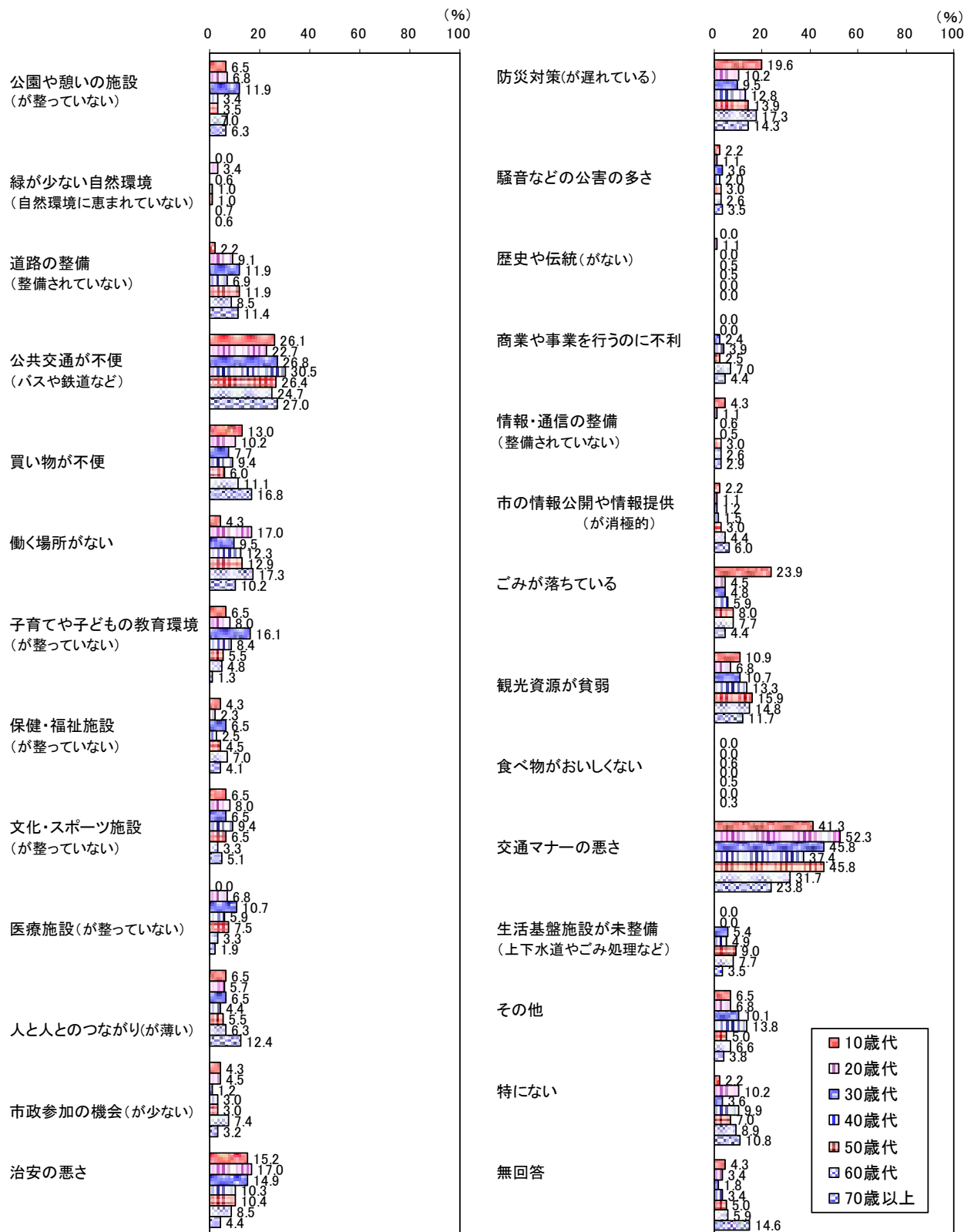
Ⅲ. 調査結果の分析

男女別でみると、女性の方が男性よりも高いのは「公共交通が不便」「買い物が不便」「観光資源が貧弱」などがあげられます。反対に男性の方が女性よりも高いのは「道路の整備（道路が整備されていない）」「働く場所がない」「交通マナーが悪い」などがあげられ、男女間で若干異なっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

年齢別でみると、20 歳代、30 歳代、50 歳代を中心に「交通マナーの悪さ」を松阪市の良くないと思うところとしてあげている人の割合が高く、おおむね各年齢層で交通マナーが悪いと考えています。「公共交通が不便（バスや鉄道など、公共交通の便が悪い）」と考えている人の割合も各年齢層で高くなっています。また、「子育てや子どもの教育の環境（が整っていない）」と考えている人の割合は 30 歳代で、「働く場所がない」は 60 歳代と 20 歳代と若干高くなっています。松阪市の良いと思うところおよび良くないと思うところともに、世代により若干異なっています。



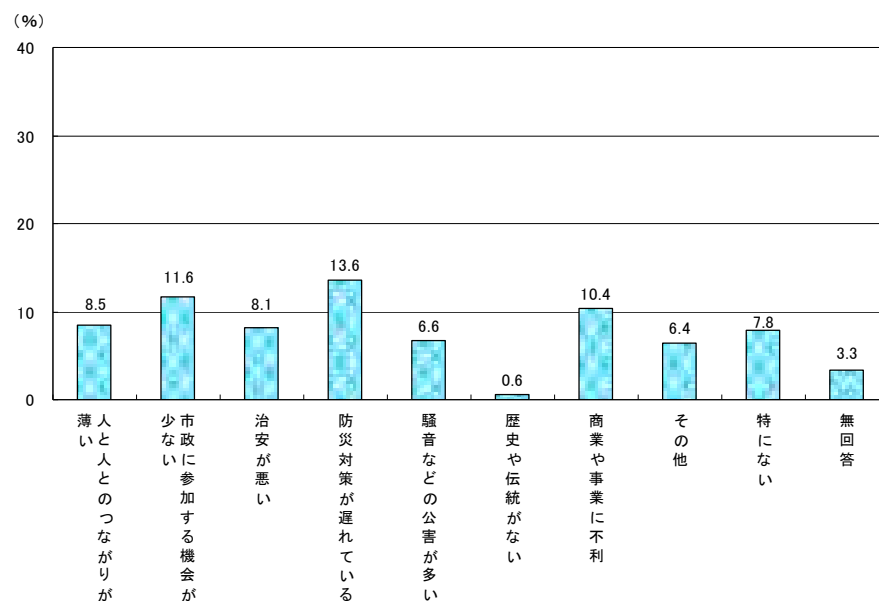
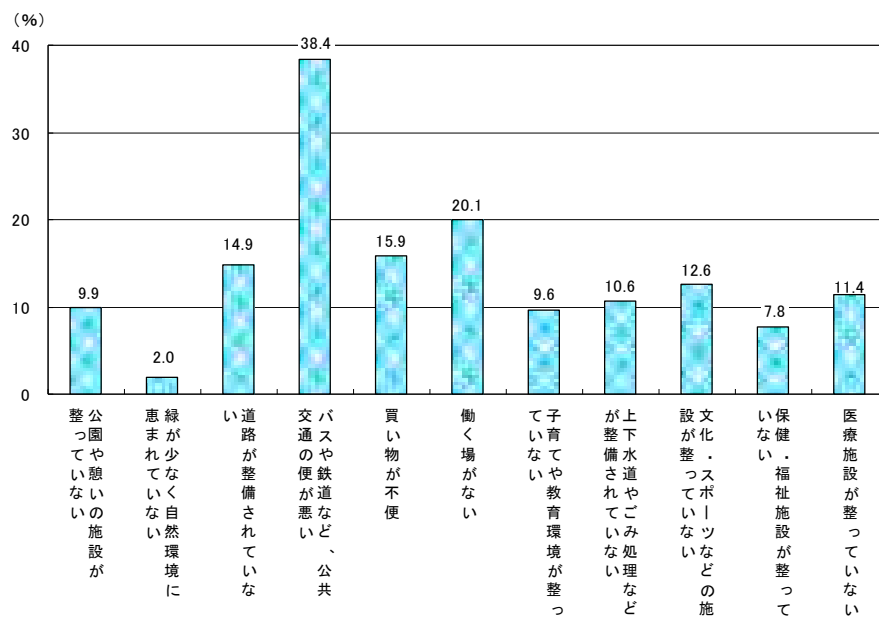
□ 参 考

ー 松阪市の良くないと思うところ（前回調査結果（平成 21 年）との比較）ー

「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」が4割弱

前回調査結果によると、松阪市の良くないと思うところは「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」38.4%、「働く場所がない」20.1%、「買い物不便」15.9%の順となっています。

今回の調査結果と比較すると、今回の調査では、設問の選択肢に「交通マナーが悪い」を追加しました。その結果、「交通マナーが悪い」の割合が最も高くなり、3割を超え、全体の傾向は若干変化しました。前回調査で最も割合が高かった「バスや鉄道など、公共交通の便が悪い」は、今回の調査では2番目となっています。



資料：平成 21 年度松阪市民意識調査報告書

Ⅲ. 調査結果の分析

(3) 松阪市の住みやすさ【問9③】

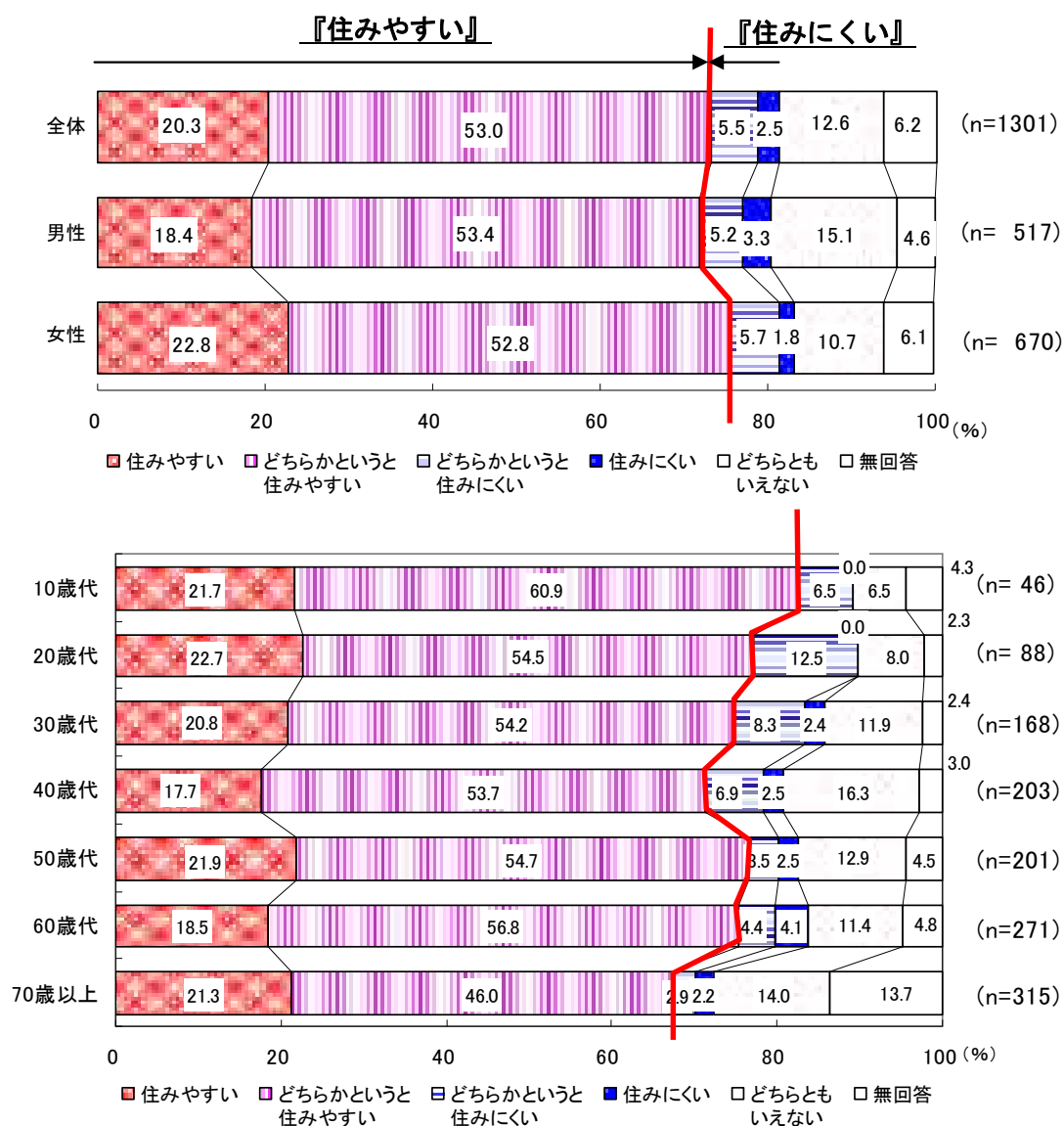
③ あなたは総合的にみて松阪市は住み良いところだと感じますか。(〇は1つだけ)

『住みやすい』^(※) が 7 割強、『住みにくい』^(※) は 2 割弱

「どちらかというに住みやすい」の割合が 53.0%で最も高く、次いで「住みやすい」20.3%で、合わせて 7 割強の人が『住みやすい』と答えています。反対に、「どちらかというに住みにくい」の割合は 5.5%、「住みにくい」2.5%で、合わせて『住みにくい』と思っている人は 1 割を下回っています。(※)『住みやすい』は「住みやすい」+「どちらかというに住みやすい」。『住みにくい』は「住みにくい」+「どちらかというに住みにくい」。

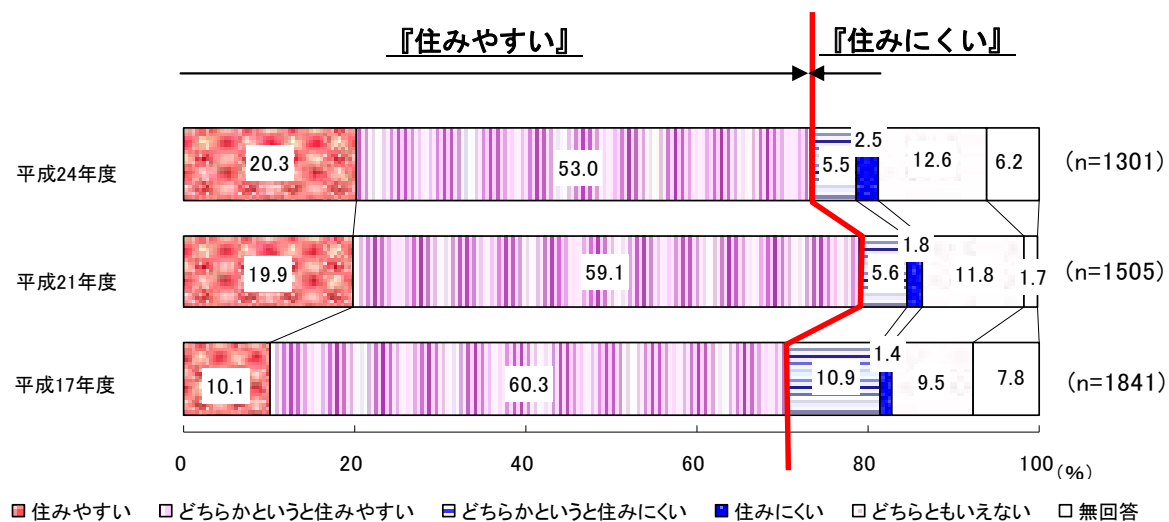
男女別にみると、女性の方が男性よりも『住みやすい』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、70 歳以上、40 歳代では『住みやすい』の割合が低くなっています。また、40 歳代では「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

過年度調査と比較してみると、前回調査（平成 21 年）よりも『住みやすい』の割合は若干低くなっていますが、前々回調査（平成 17 年）との比較では若干高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

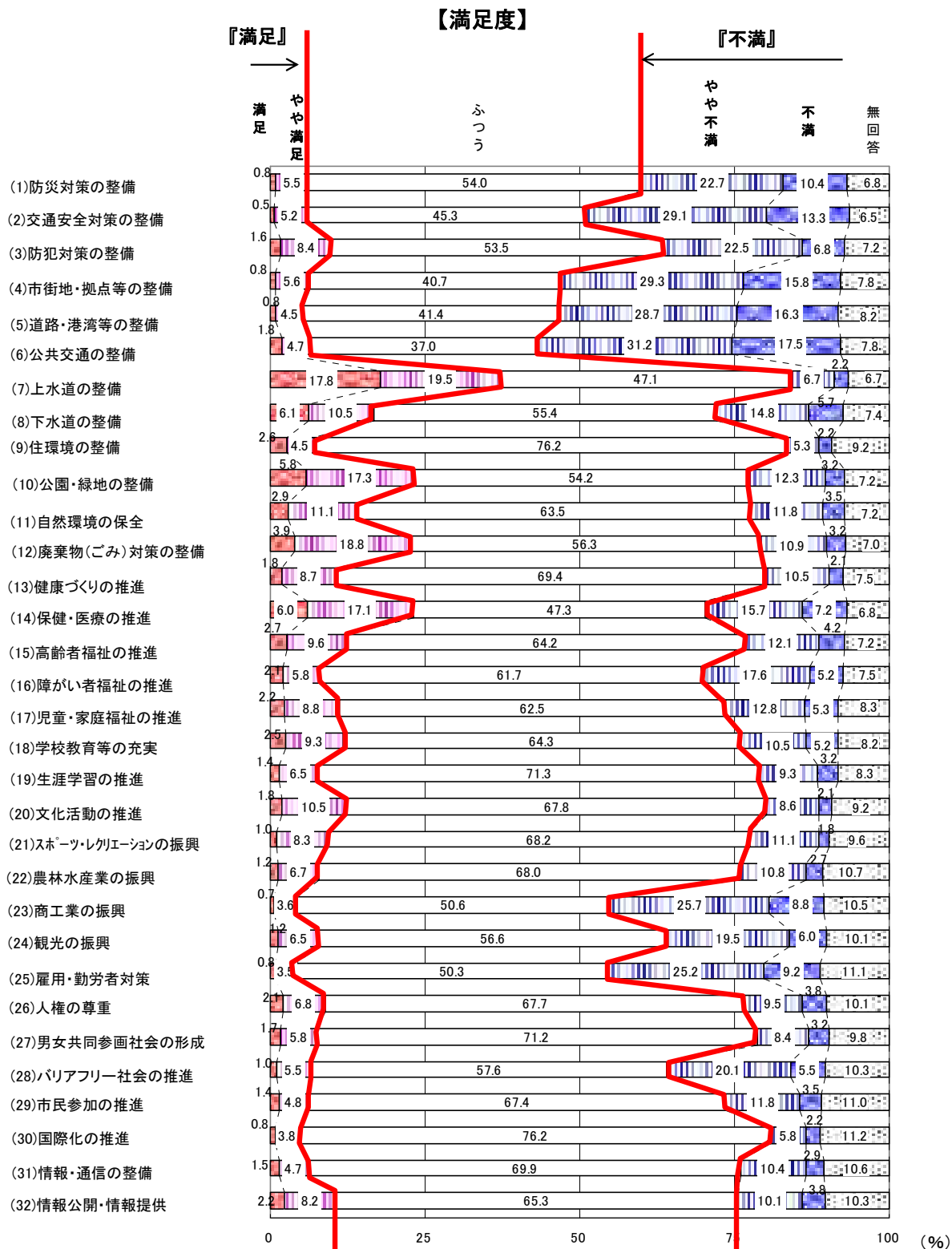
2. 市政に対する満足度・重要度【問10】

(1) 施策別にみる満足度・重要度

問 10. 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを(1)～(32)の項目について、満足度、重要度でそれぞれ1つずつ選んで、○をつけてください。

松阪市の政策に対し、32項目の施策について、各項目の満足度と重要度を5段階で評価していただきとりまとめました。

満足度『満足』では「(7)上水道の整備」「(14)保健・医療の推進」「(10)公園・緑地の整備」「(12)廃棄物(ごみ)対策の整備」「(8)下水道の整備」で高くなっています。

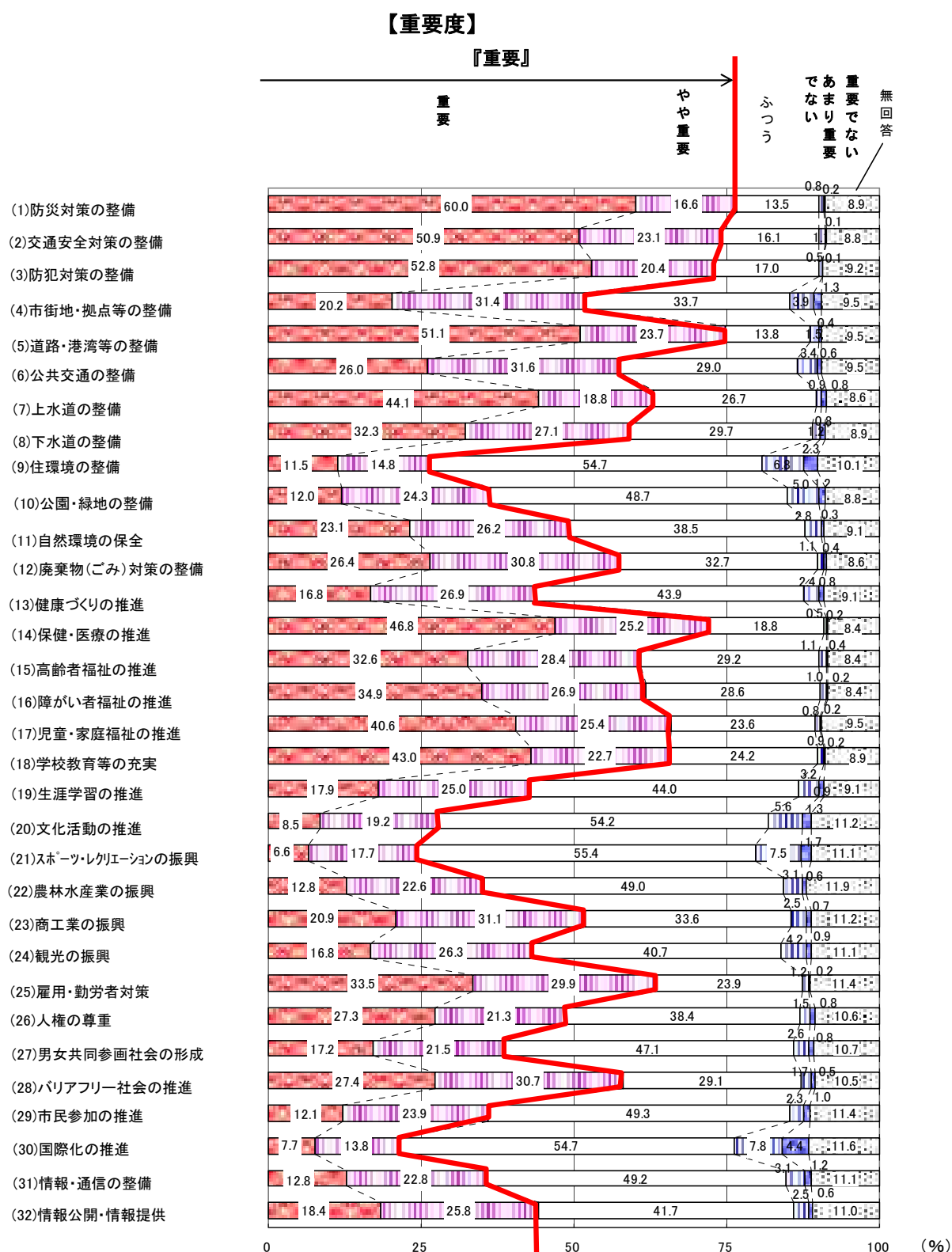


Ⅲ. 調査結果の分析

反対に、『不満』についてみると、「(6)公共交通の整備」「(4)市街地・拠点等の整備」「(5)道路・港湾等の整備」「(2)交通安全対策の整備」「(23)商工業の振興」で、満足度は低くなっています。

重要度（『重要』）では「(1)防災対策の整備」「(5)道路・港湾等の整備」「(2)交通安全対策の整備」「(3)防犯対策の整備」「(14)保健・医療の推進」で高くなっています。

重要度が比較的低い項目は「(30)国際化の推進」となっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(2) 市政全体に対する評価（満足度）【問 11】

問 11. あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。

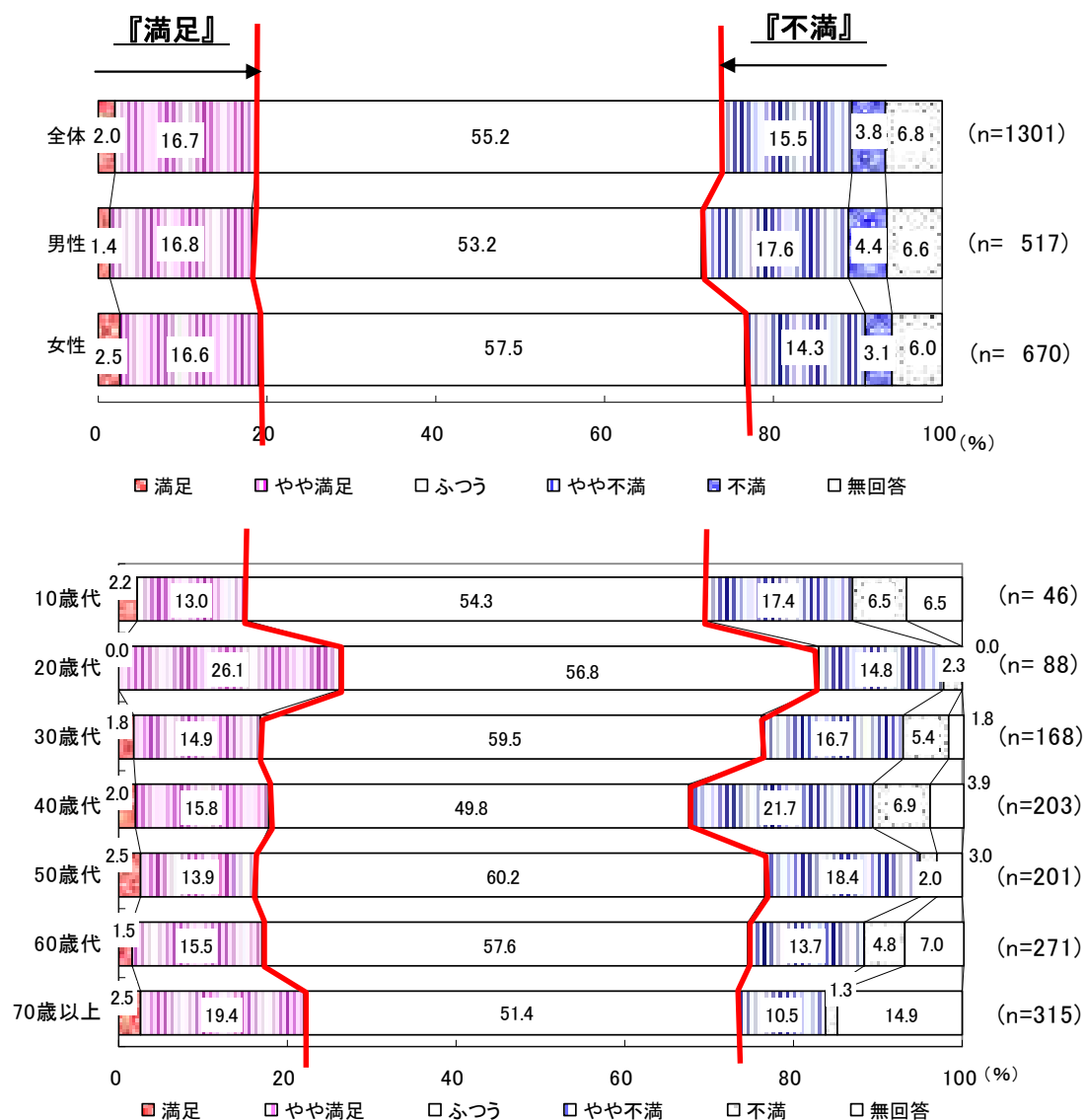
(○は1つだけ)

『満足』^(※) が 2 割弱、『不満』^(※) も 2 割弱で均衡

市政全体に対する総合評価をみると、「満足」の割合は 2.0%、「やや満足」16.7%で、合わせて『満足』は2割弱となっています。反対に、「不満」の割合は 3.8%、「やや不満」15.5%を合わせると『不満』は2割弱となっています。「ふつう」と答えた人は 55.2%で最も高く、5割を大幅に上回っています。(※)『満足』は「満足」＋「やや満足」。『不満』は「不満」＋「やや不満」。

男女別にみると、男性の方が女性よりも『不満である』の割合が高くなっています。

年齢別にみると、40 歳代では他の年齢層よりも『不満である』の割合が高くなっています。70 歳以上では『不満』の割合が最も低くなっています。一方で、無回答の割合は最も高くなっています



(3) 施策項目別評価得点による満足度・重要度

項目ごとに、満足度と重要度それぞれに評価得点をつけて評価します。

評価得点は、満足度および重要度の選択肢に対して、次に示す点数をつけて算出します。

算出にあたっては、下記の式を用いて行います。

《 満足度と重要度の各選択肢に対する得点（ウェイト得点） 》

選択肢番号	満 足 度	重 要 度	得 点
1	満 足	重 要	5
2	やや満足	やや重要	4
3	ふ つ う	ふ つ う	3
4	やや不満	あまり重要でない	2
5	不 満	重要でない	1

《評価得点算出式》

$$\text{満足度} = \frac{[\text{満足}] \times 5 \text{ 点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{ 点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{ 点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{ 点} + [\text{不満}] \times 1 \text{ 点}}{\text{全回答数 (n)} - \text{無回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{[\text{重要}] \times 5 \text{ 点} + [\text{やや重要}] \times 4 \text{ 点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{ 点} + [\text{あまり重要でない}] \times 2 \text{ 点} + [\text{重要でない}] \times 1 \text{ 点}}{\text{全回答数 (n)} - \text{無回答数}}$$

(注) [満足]は「満足」と回答した数で、それぞれ選択肢に得点をつけた得点合計を回答数（全回答数から無回答数を除いた値）で除して算出します。

ここで、32 項目の算出結果を整理します。

(☆) 満足度の評価得点が高い上位5項目は、次のとおりとなっています。【前回調査（H21 年）】

1 位	上水道の整備	3.47
2 位	公園・緑地の整備	3.11
3 位	廃棄物（ごみ）対策の整備	3.10
4 位	文化活動の推進	3.01
5 位	住環境の整備	3.00

1 位	上水道の整備	3.37
2 位	公園・緑地の整備	3.05
3 位	文化活動の推進	3.00
4 位	住環境の整備	2.97
4 位	廃棄物対策の整備 （ごみ）	2.97

(☆) 満足度の評価得点が低い上位5項目（不満度が高い）は、次のとおりとなっています。

1 位	公共交通の整備	2.37
2 位	道路・港湾等の整備	2.40
3 位	市街地・拠点等の整備	2.42
4 位	交通安全対策の整備	2.47
5 位	商工業の振興	2.57
5 位	雇用・勤労者対策	2.57

1 位	公共交通の整備	2.30
2 位	市街地・拠点等の整備	2.39
3 位	雇用・勤労者対策	2.43
4 位	商業の振興	2.45
5 位	交通安全対策の整備	2.50

Ⅲ. 調査結果の分析

(☆) 重要度の評価得点が高い上位5項目は、次のとおりとなっています。

【前回調査（H21 年）】		
1 位	防災対策の整備	4.49
2 位	防犯対策の整備	4.38
3 位	道路・港湾等の整備	4.37
4 位	交通安全対策の整備	4.35
5 位	保健・医療の推進	4.29

なお、満足度の評価得点の平均得点は 2.85（前回：2.80）で、重要度の評価得点の平均得点は 3.82（前回：3.83）となっています。

以上により、満足度、不満度、重要度の高い施策項目をみると、若干の順位の変動は見られるものの、おおむね前回調査結果（H21 年）と同様な施策項目がランクインしています。ただ、その中で「道路・港湾等の整備」が不満度および重要度で高くなっています。満足度では前回 19 位から今回 31 位（不満度では 2 位）に下降し、重要度は前回 12 位から今回 3 位に上昇しています。

(☆) 満足度

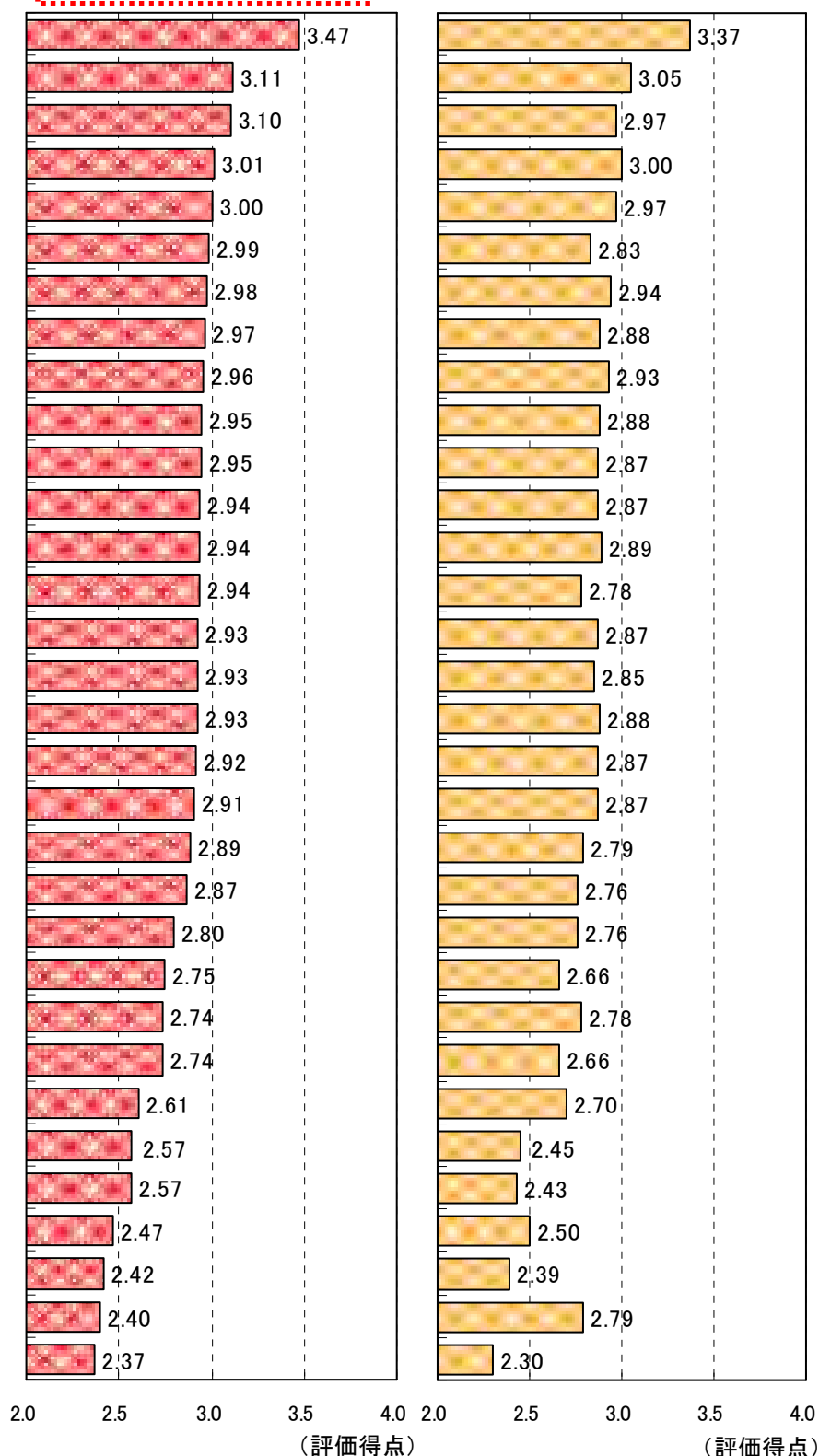
満足度上位5位

【今回調査 (H24 年)】

【前回調査 (H21 年)】

- 上水道の整備
公園・緑地の整備
廃棄物(ごみ)対策の整備
文化活動の推進
住環境の整備
保健・医療の推進
自然環境の保全
健康づくりの推進
下水道の整備
スポーツ・レクリエーションの振興
国際化の推進
高齢者福祉の推進
男女共同参画社会の形成
情報公開・情報提供
学校教育等の充実
生涯学習の推進
人権の尊重
農林水産業の振興
情報・通信の整備
児童・家庭福祉の推進
市民参加の推進
障がい者福祉の推進
観光の振興
防犯対策の整備
バリアフリー社会の推進
防災対策の整備
商工業の振興
雇用・勤労者対策
交通安全対策の整備
市街地・拠点等の整備
道路・港湾等の整備
公共交通の整備

不満足度上位5位



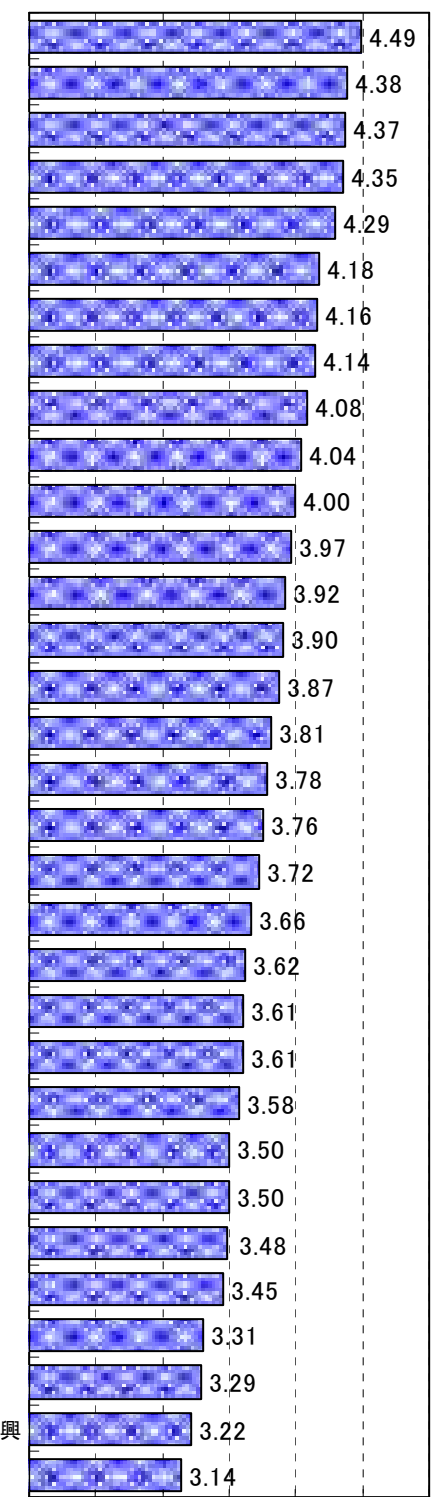
Ⅲ. 調査結果の分析

(☆) 重要度

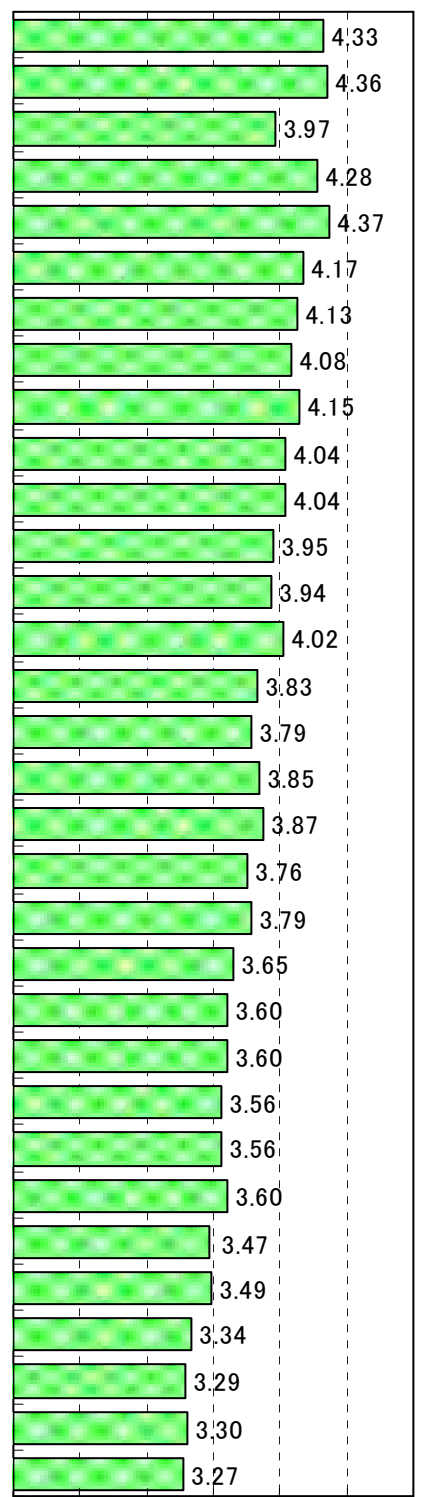
重要度上位5位

防災対策の整備
防犯対策の整備
道路・港湾等の整備
交通安全対策の整備
保健・医療の推進
学校教育等の充実
児童・家庭福祉の推進
上水道の整備
雇用・勤労者対策
障がい者福祉の推進
高齢者福祉の推進
下水道の整備
バリアフリー社会の推進
廃棄物(ごみ)対策の整備
公共交通の整備
人権の尊重
商工業の振興
自然環境の保全
市街地・拠点等の整備
情報公開・情報提供
健康づくりの推進
生涯学習の推進
観光の振興
男女共同参画社会の形成
農林水産業の振興
市民参加の推進
情報・通信の整備
公園・緑地の整備
文化活動の推進
住環境の整備
スポーツ・レクリエーションの振興
国際化の推進

【今回調査 (H24 年)】



【前回調査 (H21 年)】



(評価得点)

(評価得点)

(4) 満足度と重要度の経年変化

ここで、満足度と重要度の経年変化について過年度調査（H21年、H17年）を踏まえて、整理します。

過年度調査と比較する場合は、次の点について留意する必要があります。

《 留意点 》

- ☆ 過年度調査（前回調査（H21年）、前々回調査（H17年））と比較する場合、項目数や項目の説明表現などが若干異なっています。
- 今回調査と前回調査の項目数および項目の説明表現などは概ね同じです。
（前回調査：(30) 多文化共生意識の高揚）
 - 今回調査、前回調査と前々回調査とは異なります。
 - ・項目数は32項目で同じですが、設問が入れかわっています。（前回から「工業の振興」⇒「健康づくりの推進」に）
 - ・項目の説明表現（調査項目）が異なっています。前々回調査では施策項目を提示し、施策内容の説明文（調査項目）ではありませんでした。（下表参照）
 - ・項目のとりまとめ方が変わっています。（項目の順番が異なっています。）

— 調査項目と施策項目（32項目） —

調査項目	施策項目(32項目)
(1)地震や台風などの災害に強いまちづくり	防災対策の整備
(2)交通事故のないまちづくり	交通安全対策の整備
(3)犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり	防犯対策の整備
(4)快適に暮らせる地域づくり、中心市街地の賑わいをつくるまちづくり	市街地・拠点等の整備
(5)安全で快適に利用できる道路づくり、津波など災害に強い海岸の整備	道路・港湾等の整備
(6)地域の路線バスの充実とバス路線のない地域の移動手段の確保	公共交通の整備
(7)安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供	上水道の整備
(8)生活排水や雨水を適切に処理し、浸水に強いまちづくり	下水道の整備
(9)市営住宅など、安全で快適に生活できる住まいづくり	住環境の整備
(10)気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備	公園・緑地の整備
(11)森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取り組み	自然環境の保全
(12)ごみを減らしたり、ごみを再利用する取り組み	廃棄物(ごみ)対策の整備
(13)元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり	健康づくりの推進
(14)どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかる取り組み	保健・医療の推進
(15)お年寄りの方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	高齢者福祉の推進
(16)障がいを持つ方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	障がい者福祉の推進
(17)子どもたちがのびのび育つ環境づくり	児童・家庭福祉の推進
(18)子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり	学校教育等の充実
(19)生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり	生涯学習の推進
(20)地域の伝統芸能や芸術文化を生かしたまちづくり	文化活動の推進
(21)気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境づくり	スポーツ・レクリエーションの振興
(22)地域の特色を生かした農林水産業の取り組み	農林水産業の振興
(23)魅力的な商店街づくりや中小企業の支援など地域の産業を育てる取り組み	商工業の振興
(24)地域の文化や歴史を生かした観光政策や観光客の誘致の取り組み	観光の振興
(25)働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり	雇用・勤労者対策
(26)人権が尊重され、安心して暮らせるまちづくり	人権の尊重
(27)男性や女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり	男女共同参画社会の形成
(28)すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現	バリアフリー社会の推進
(29)市民と行政との協働を推進するまちづくり	市民参加の推進
(30)外国人住民にも暮らしやすいまちづくり	国際化の推進
(31)市民生活の利便性を高める情報通信社会の取り組み	情報・通信の整備
(32)市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制	情報公開・情報提供

（注）今回および前回調査は、調査票に調査項目（表の左側）を提示、前々回調査では施策項目（表の右側）を提示。

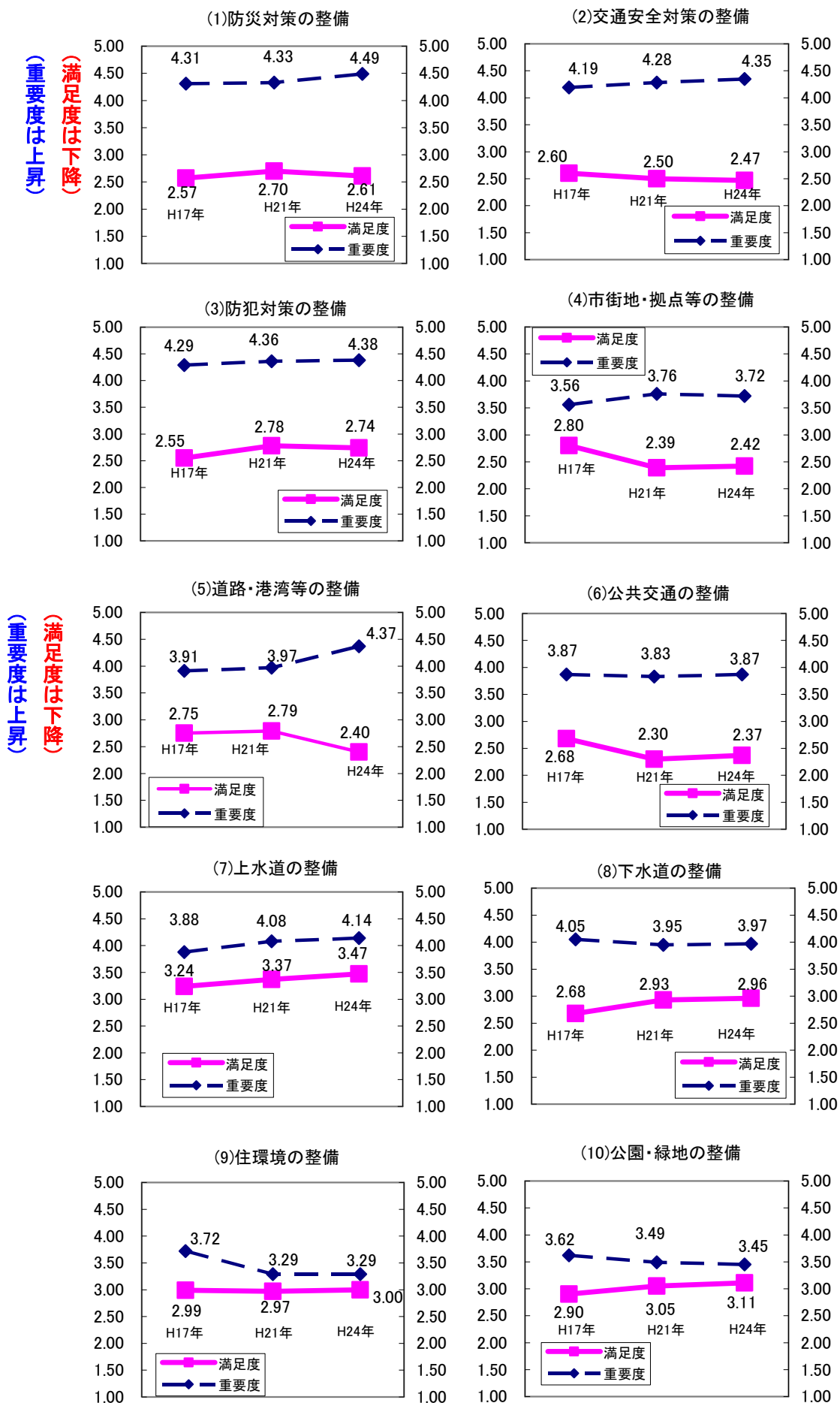
Ⅲ. 調査結果の分析

満足度は、前回調査と比較して若干高くなっています。重要度は横ばい傾向となっています。満足度は 32 項目中で 28 項目で増加しています。減少した項目をみると、最も減少した項目は「道路・港湾等の整備」で前回 2.79 から 2.40 に変化しています。それ以外では「防災対策の整備」「防犯対策の整備」「交通安全対策の整備」となっています。重要度は 32 項目中 16 項目で減少しています。増加した項目は 14 項目でほとんど均衡しています。

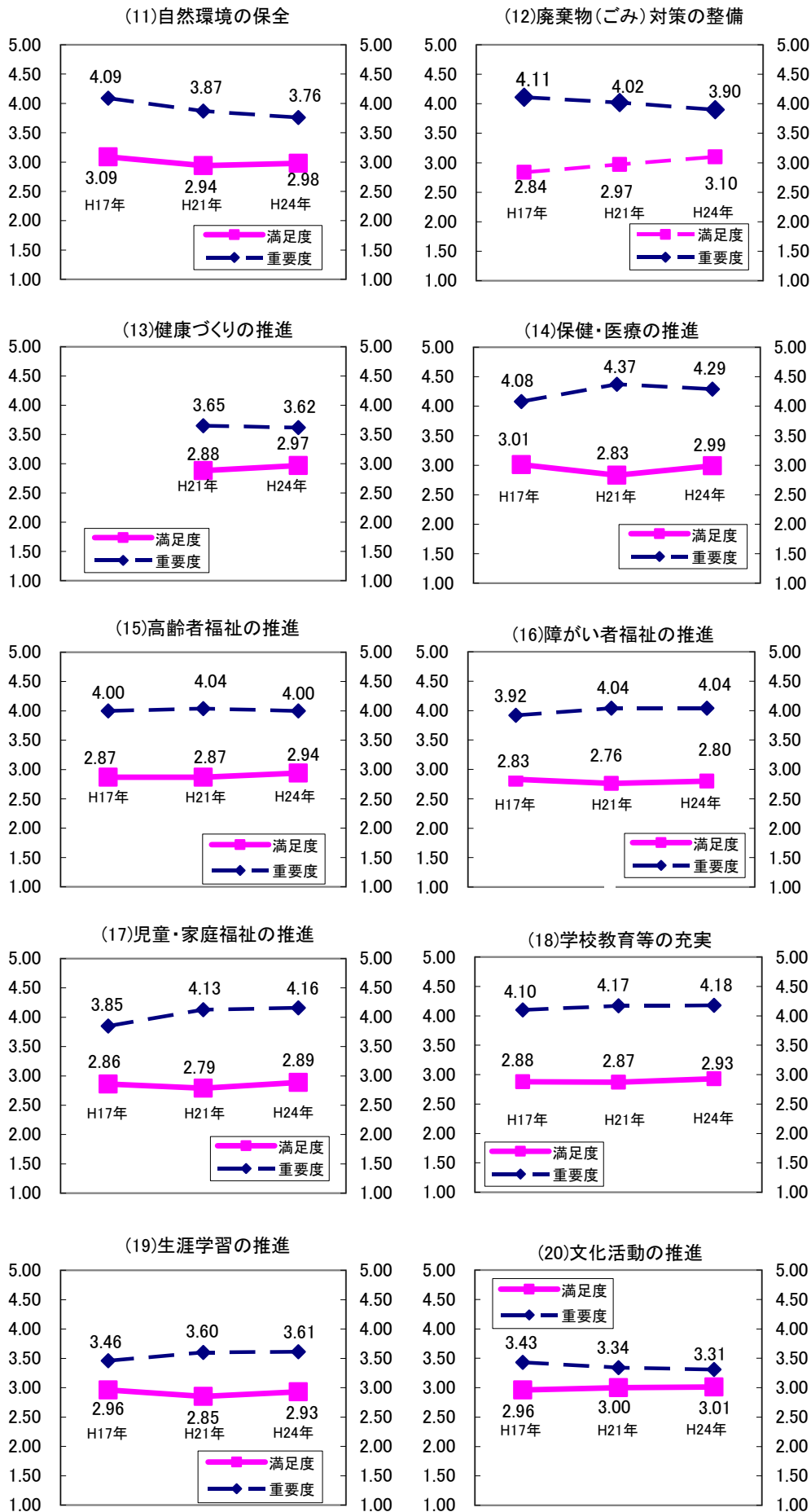
項目 番号	施策	満 足 度				重 要 度			
		H17年		H21年		H17年		H21年	
1	防災対策の整備	2.57	↗	2.70	↘	2.61	↗	4.31	↗
2	交通安全対策の整備	2.60	↘	2.50	↘	2.47	↗	4.33	↗
3	防犯対策の整備	2.55	↗	2.78	↘	2.74	↗	4.29	↗
4	市街地・拠点等の整備	2.80	↘	2.39	↗	2.42	↗	4.36	↗
5	道路・港湾等の整備	2.75	↗	2.79	↘	2.40	↗	3.76	↘
6	公共交通の整備	2.68	↘	2.30	↗	2.37	↘	3.97	↗
7	上水道の整備	3.24	↗	3.37	↗	3.47	↗	3.87	↗
8	下水道の整備	2.68	↗	2.93	↗	2.96	↘	4.08	↗
9	住環境の整備	2.99	↘	2.97	↗	3.00	↘	3.88	↗
10	公園・緑地の整備	2.90	↗	3.05	↗	3.11	↘	4.05	↗
11	自然環境の保全	3.09	↘	2.94	↗	2.98	↘	3.72	↘
12	廃棄物(ごみ)対策の整備	2.84	↗	2.97	↗	3.10	↘	3.49	↘
13	健康づくりの推進	-		2.88	↗	2.97	-	4.09	↘
14	保健・医療の推進	3.01	↘	2.83	↗	2.99	↗	4.02	↘
15	高齢者福祉の推進	2.87	-	2.87	↗	2.94	↗	3.65	↘
16	障がい者福祉の推進	2.83	↘	2.76	↗	2.80	↗	4.37	↘
17	児童・家庭福祉の推進	2.86	↘	2.79	↗	2.89	↗	4.00	↘
18	学校教育等の充実	2.88	↘	2.87	↗	2.93	↗	4.04	-
19	生涯学習の推進	2.96	↘	2.85	↗	2.93	↗	4.13	↗
20	文化活動の推進	2.96	↗	3.00	↗	3.01	↘	4.17	↗
21	スポーツ・レクリエーションの振興	2.94	↘	2.88	↗	2.95	-	3.60	↘
22	農林水産業の振興	2.86	↗	2.87	↗	2.92	↗	3.34	↘
23	商工業の振興	2.82	↘	2.45	↗	2.57	↗	3.30	↘
24	観光の振興	2.78	↘	2.66	↗	2.75	↗	3.56	↗
25	雇用・勤労者対策	2.56	↘	2.43	↗	2.57	↗	3.60	↘
26	人権の尊重	2.93	↘	2.88	↗	2.93	↗	4.15	↘
27	男女共同参画社会の形成	2.91	↘	2.89	↗	2.94	↗	3.68	↗
28	バリアフリー社会の推進	2.65	↗	2.66	↗	2.74	↗	3.79	↗
29	市民参加の推進	2.89	↘	2.76	↗	2.87	↗	3.56	↗
30	国際化の推進	2.83	↗	2.87	↗	2.95	↗	3.27	↘
31	情報・通信の整備	2.91	↘	2.87	↗	2.91	↘	3.60	↗
32	情報公開・情報提供	2.82	↘	2.78	↗	2.94	↗	3.47	↘
	平均	2.84	↘	2.80	↗	2.85	↗	3.78	↘

(注)平成17年調査では「健康づくりの推進」が対象項目に無かったため、31項目の平均としています。

Ⅲ. 調査結果の分析

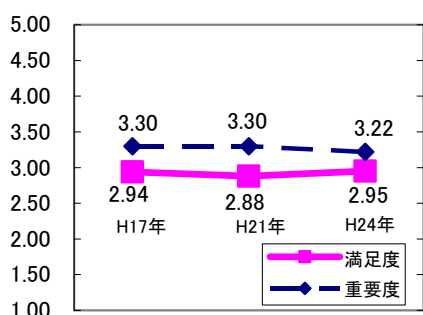


Ⅲ. 調査結果の分析

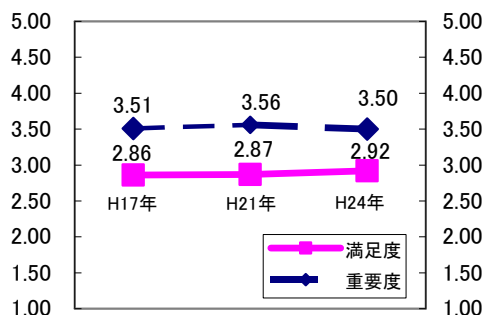


Ⅲ. 調査結果の分析

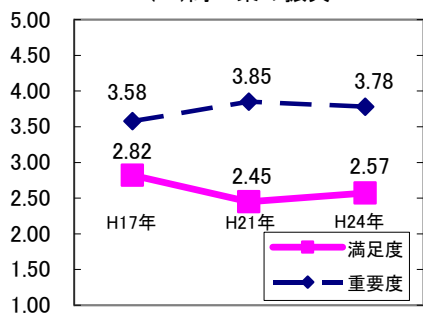
(21)スポーツ・レクリエーションの振興



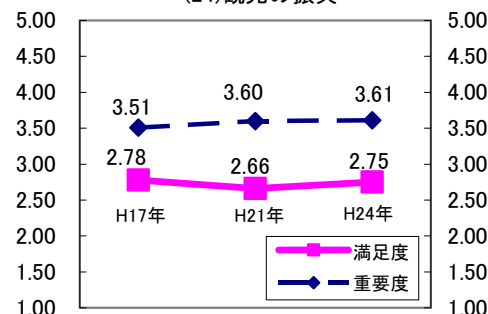
(22)農林水産業の振興



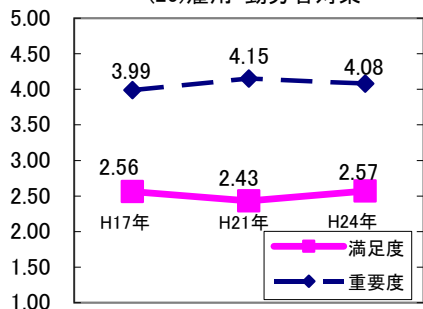
(23)商工業の振興



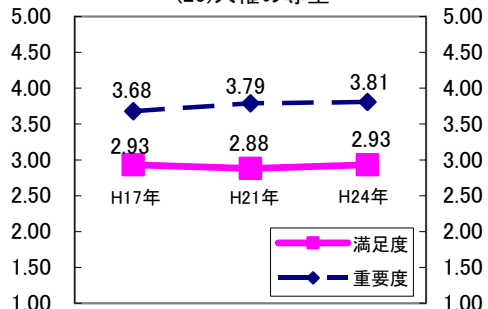
(24)観光の振興



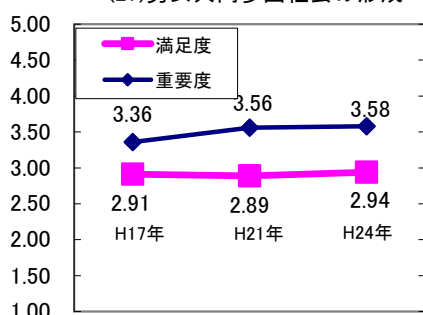
(25)雇用・勤労者対策



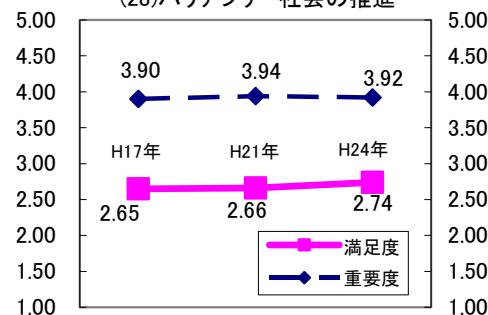
(26)人権の尊重



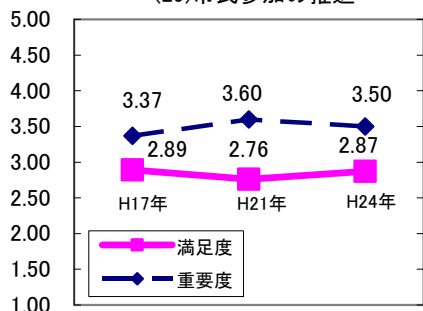
(27)男女共同参画社会の形成



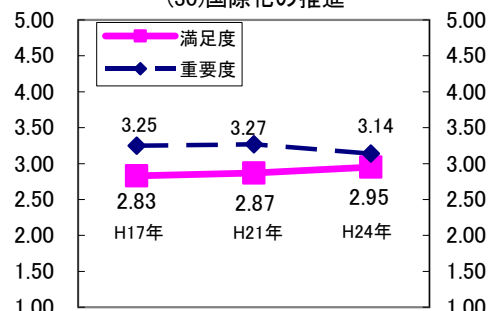
(28)バリアフリー社会の推進



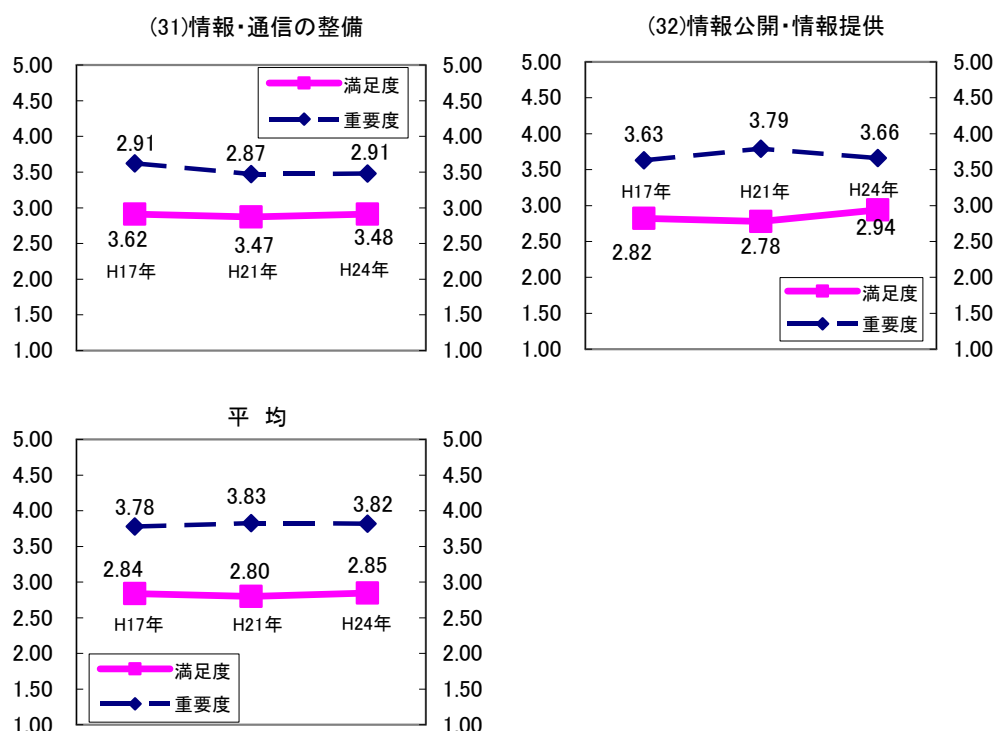
(29)市民参加の推進



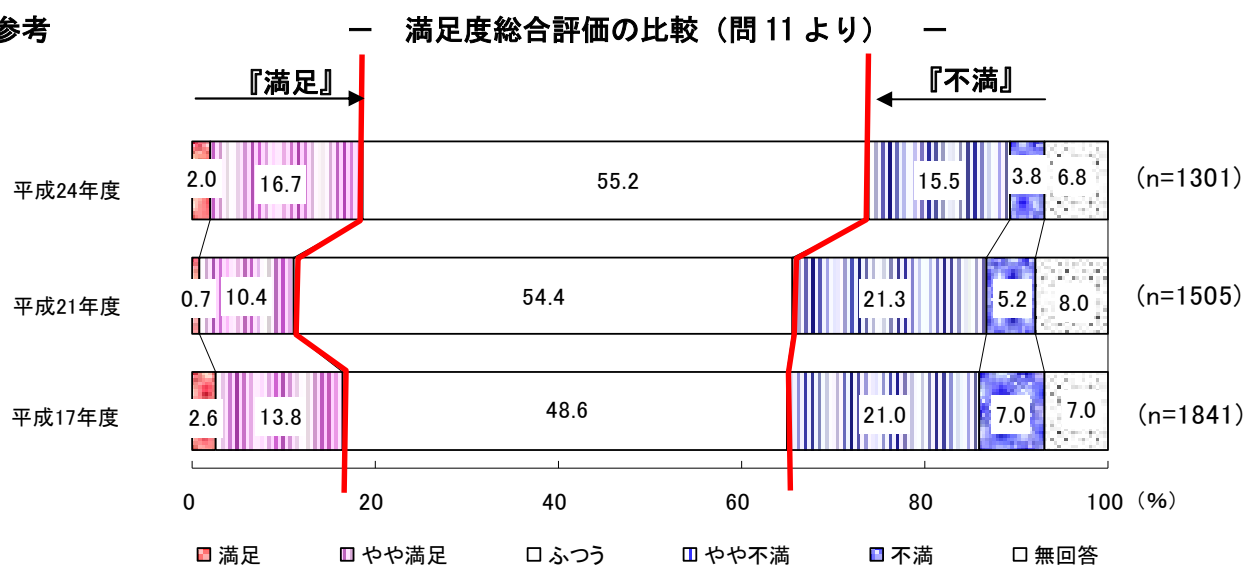
(30)国際化の推進



Ⅲ. 調査結果の分析



□ 参考



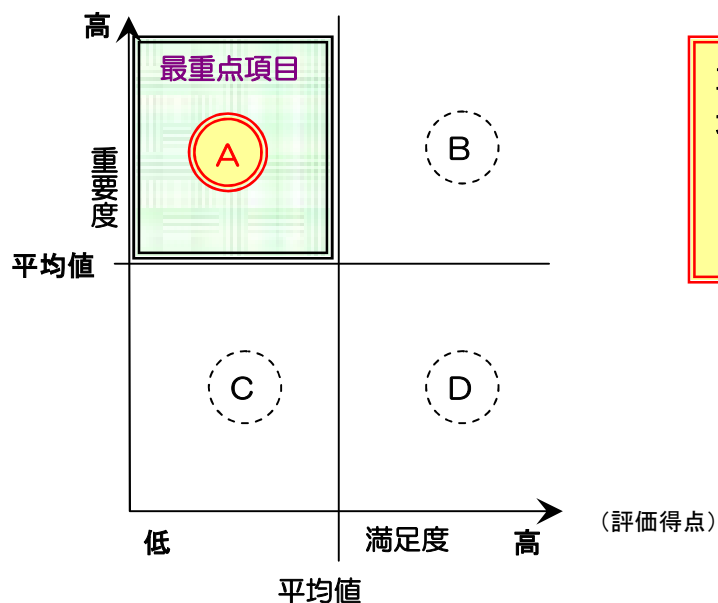
ここで、満足度の総合評価について、過年度調査をみると、今回調査では『満足』の割合が18.7%で最も高く、『不満』は19.3%で2割を下回って最も低い結果となっています。『満足』が上昇し、『不満』が減少し、全体的に満足度が上がっています。評価得点算出式により算出してみると、今回調査では2.97となり、前回調査2.79よりも大幅に上昇しています。今回調査では32項目より算出した評価得点の平均値による比較でも前回調査2.80から今回調査2.85で満足度は上昇しています。ただ、総合評価結果（問11）より算出される値の方が若干高くなっています。

(5) 市民が優先して求めている施策

ここで、32 施策項目の満足度と重要度から『市民が優先して求めている施策』を検討します。

< 分析方法 >

- ・(4) で算出した満足度と重要度の評価得点をもとに行います。
- ・満足度と重要度をそれぞれ横軸と縦軸にとり、満足度と重要度の平均値を軸とし、4つの領域に分割して分析します。



重要度が高く、満足度が低い項目は、住民が最も望んでいる最重点項目として考えることができます。

各項目の判定基準は、

- ・満足度 ⇒ 平均値（を下回る値）
- ・重要度 ⇒ 平均値（を超える値）

を目安として、最重点項目と設定します。

また、他の3つの領域に対する考え方も含めて整理すると、次のとおりです。

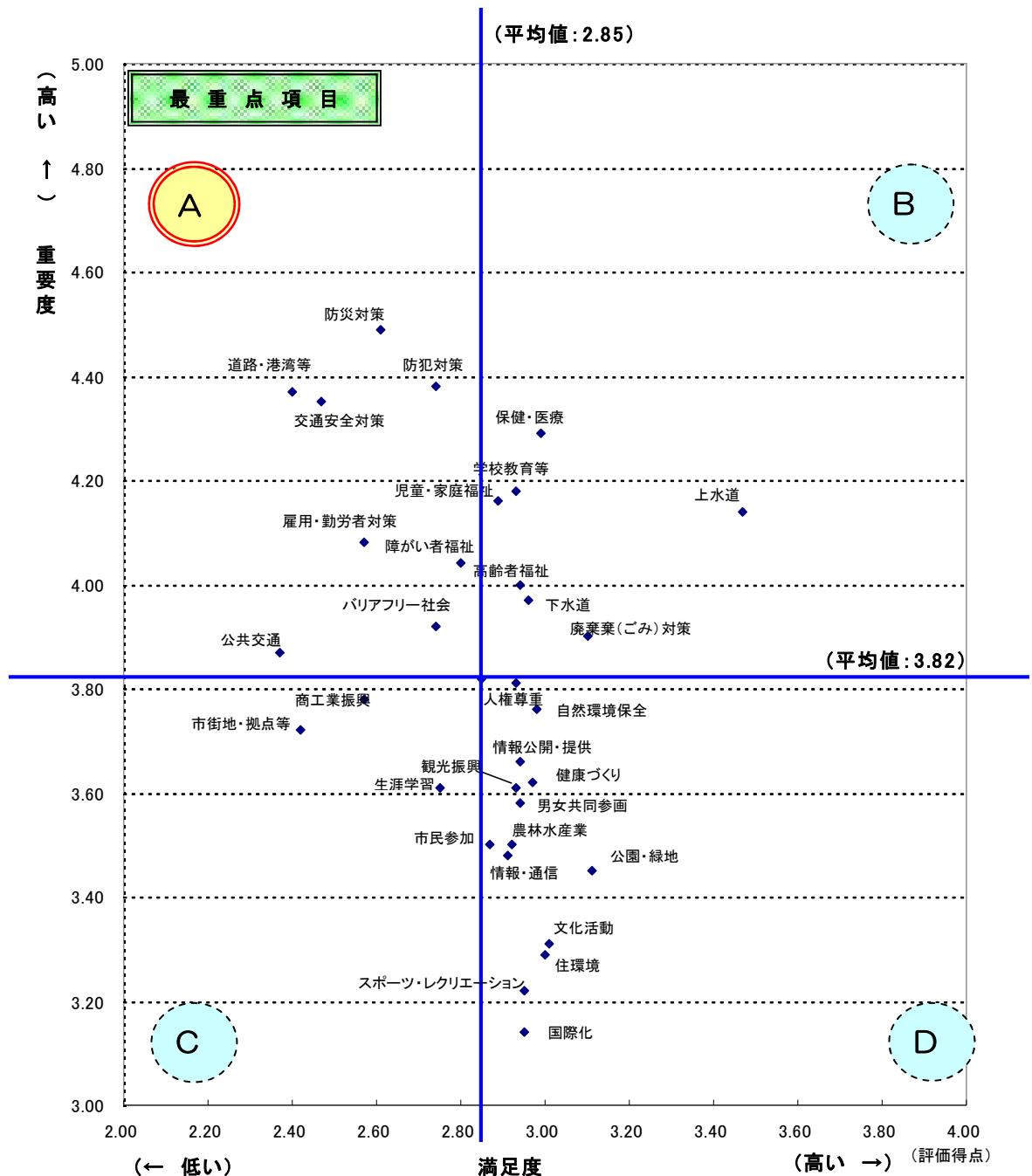
【 施策項目に対する考え方 】

分類

A	満足度が低く、重要度が高い ⇒	最重点項目（優先すべき施策）
B	満足度が高く、重要度が高い ⇒	これまで通り継続して実施すべき施策
C	満足度が低く、重要度も低い ⇒	施策内容等を見直し、検討を要する施策
D	満足度が高く、重要度が低い ⇒	これまで通り継続し、将来に向けての検討が考えられる施策

Ⅲ. 調査結果の分析

－ 満足度と重要度の分布（32項目）－



以上の方法により、満足度と重要度でまとめてみると、最重点項目として8つの項目があげられます。

A 最重点項目（市民が優先して求めている施策）（8事業）

- 防災対策の整備
- 交通安全対策の整備
- 防犯対策の整備
- 道路・港湾等の整備
- 公共交通の整備
- 障がい者福祉の推進
- 雇用・勤労者対策
- バリアフリー社会の推進

さらに、他の分類についても整理すると、下記のとおりです。

これまで通り継続 して実施すべき施 策 B	上水道の整備 下水道の整備 廃棄物(ごみ)対策の整備 保健・医療の推進 高齢者福祉の推進 児童・家庭福祉の推進 学校教育等の充実 (7 事業)
施策内容等を見直 し、検討を要する施 策 C	市街地・拠点等の整備 商工業の振興 生涯学習の推進 (3 事業)
これまで通り継続 し、将来に向けての 検討が考えられる 施策 D	住環境の整備 公園・緑地の整備 自然環境の保全 健康づくりの推進 観光の振興 文化活動の推進 スポーツ・レクリエーションの振興 農林水産業の振興 人権の尊重 男女共同参画社会の形成 市民参加の推進 国際化の推進 情報・通信の整備 情報公開・情報提供 (14 事業)

ここで、最重点項目（『市民が優先して求めている施策』）に焦点をあてて整理します。

8つの最重点項目の前回調査（平成 21 年）との変化をみると、次図に示すとおりとなっています。

8つの最重点項目をみると、2つのパターンに分かれると考えられます。

①『重要度が上昇』かつ『満足度が下降』したグループ

「道路・港湾等の整備」「交通安全対策の整備」「防災対策の整備」「防犯対策の整備」があげられます。

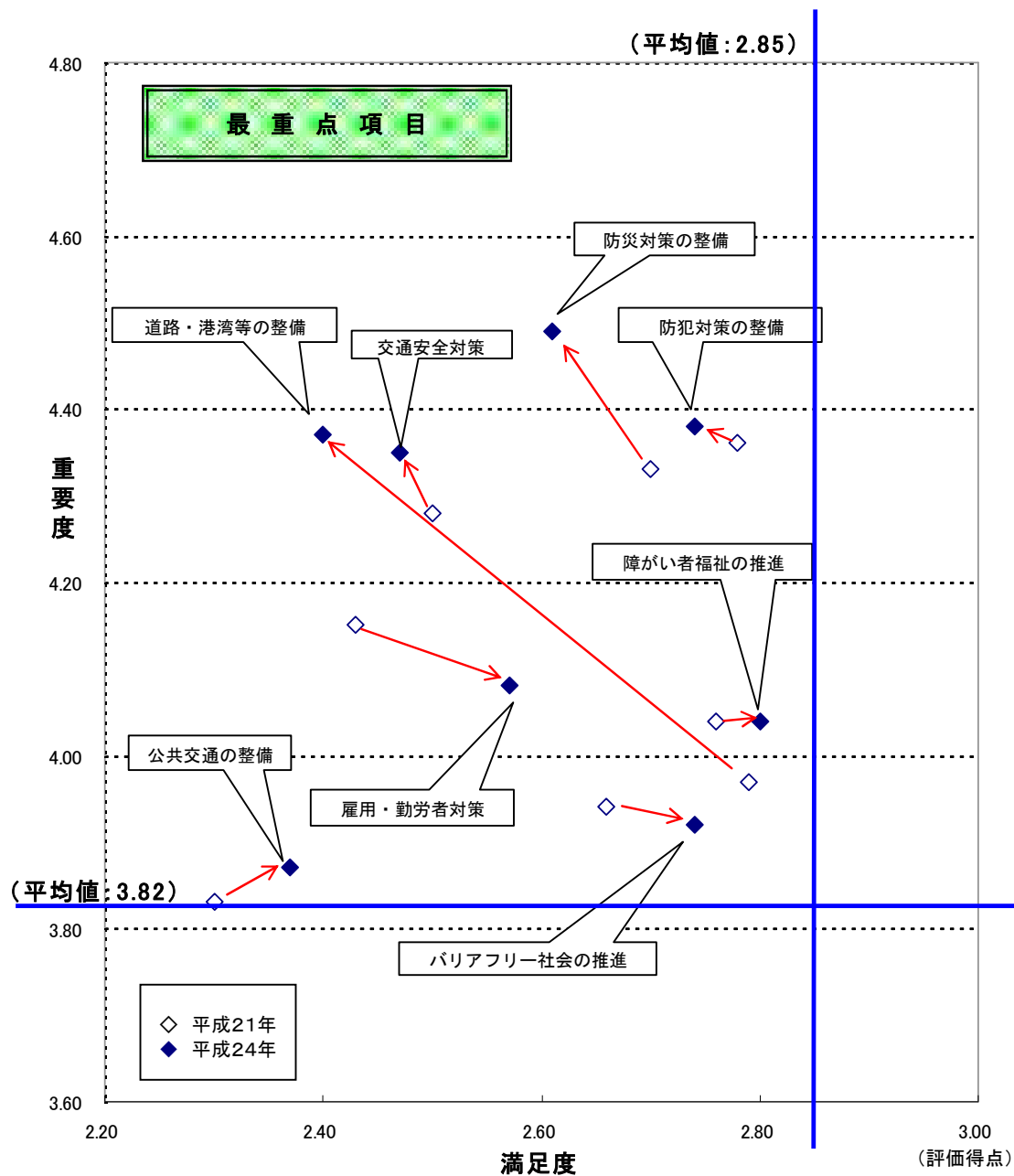
②『満足度が上昇』したグループ

「公共交通の整備」「雇用・勤労者対策」「バリアフリー社会の推進」「障がい者福祉の推進」があげられます。

今回調査では、平成 23 年に発生した東日本大震災の影響が残っており、防災に対する意識が高く残っているため、「防災対策の整備」「道路・港湾等の整備」の重要度が高くなったと考えられます。特に、「道路・港湾等の整備」については「安全で快適に利用できる道路づくり、津波など災害に強い海岸の整備」と調査票に表記されていたため、災害対策ととらえて回答され、重要度および満足度が変化したと考えられます。

Ⅲ. 調査結果の分析

－ 市民が優先して求めている施策の変化 －



ここで、市民が優先して求めている施策（8項目）について、ニーズ得点を算出して整理してみます。

【ニーズ得点】

ニーズ得点は、満足度と重要度により、満足度が低く、かつ、重要度が大きいほど点数が高くなる指標であり、その得点が大きい項目ほど、市民のニーズが高いことを示します。

満足度および重要度に対するウエイト点数を、評価得点算出と同様に設定し、算出します。

満足度	重要度	点数
満 足	重 要	5
やや満足	やや重要	4
ふ っ う	ふ っ う	3
やや不満	あまり重要でない	2
不 満	重要でない	1

＜ニーズ得点の算出＞

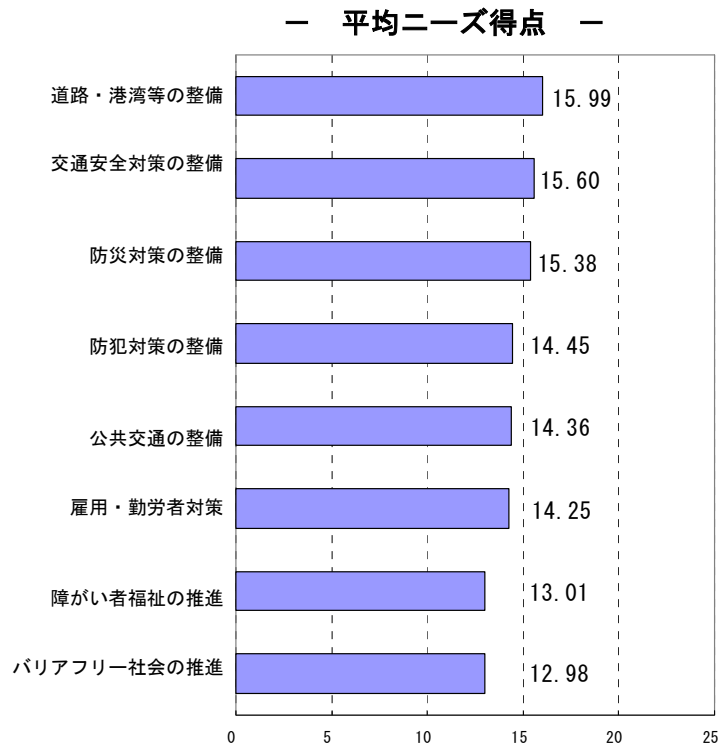
$$\text{ニーズ得点} = (6 - \text{満足度得点}) \times \text{重要度得点}$$

優先順位の判定にあたっては、平均ニーズ得点で行います。平均ニーズ得点は、ニーズ得点を合計した値を回答数（満足度と重要度の両方を回答された数）で除して算出します。

＜平均ニーズ得点の算出＞

$$\text{平均ニーズ得点} = \text{ニーズ得点の合計} \div \text{回答数 (満足度と重要度の両方を回答された数)}$$

以上により、市民が優先して求めている施策(8項目)について、平均ニーズ得点をもとに整理すると、次のとおりになります。



「道路・港湾等の整備」「交通安全対策の整備」「防災対策の整備」「防犯対策の整備」のニーズ得点が高くなっています。

Ⅲ. 調査結果の分析

3. 総合計画の認知度【問 12】

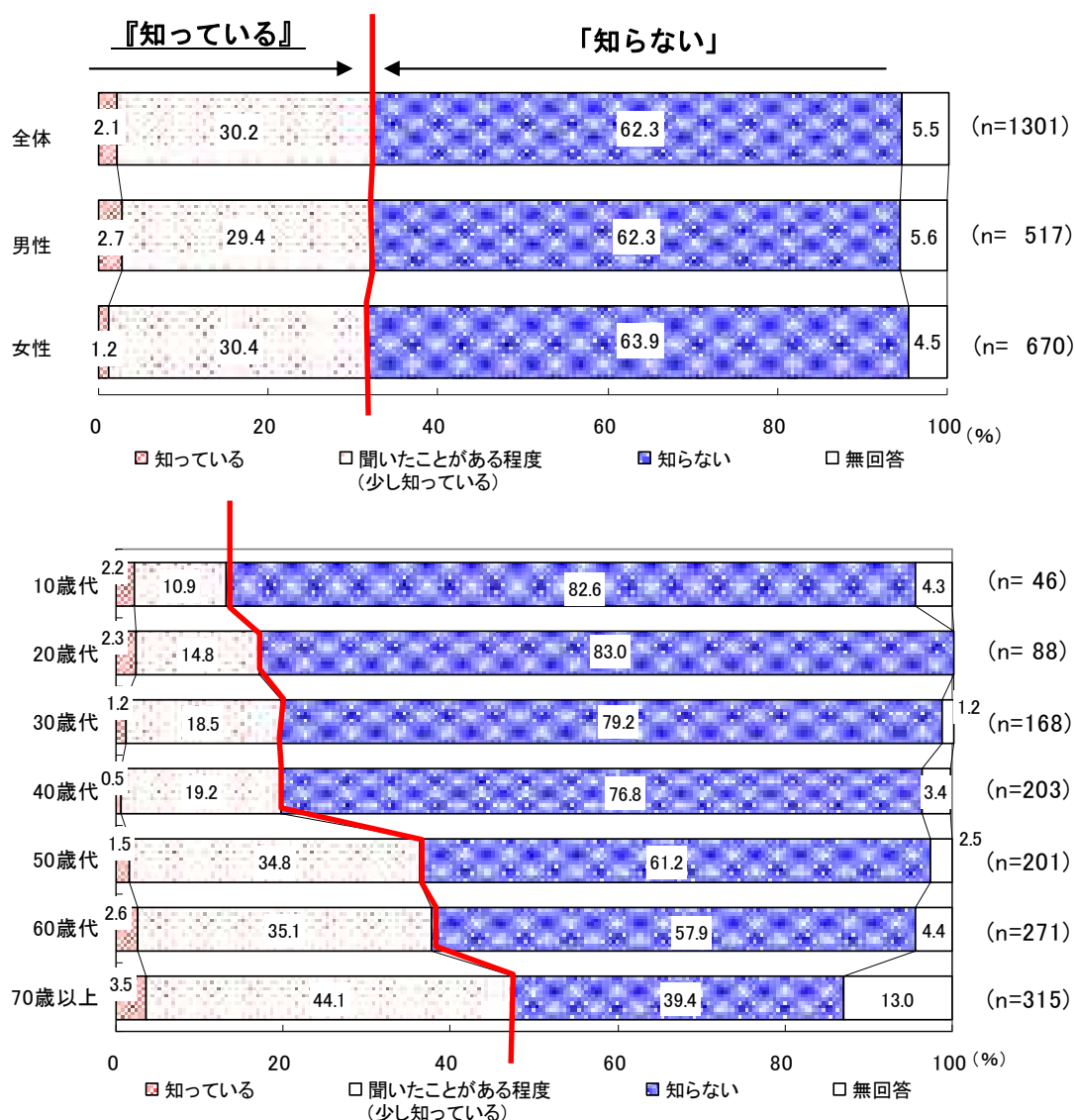
問 12. あなたは松阪市の総合計画「市民みんなの道標^{みちしるべ}～未来につなげるまちづくり計画～」を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知らない」は6割強、『知っている』^(※)が3割強

「知らない」の割合が62.3%で最も高く、次いで「聞いたことがある程度（聞いたことはあるがくわしくは知らない）」30.2%、「知っている」2.1%の順となっています。「知らない」人が6割を超えています。「知っている」と「聞いたことがある程度（聞いたことはあるがくわしくは知らない）」を合わせても、『知っている』は3割強にとどまっています。

(※) 『知っている』は「知っている」＋「聞いたことがある程度（聞いたことはあるがくわしくは知らない）」。

年齢別にみると、50歳未満の年齢層では「知らない」の割合が8割前後となっており、若年齢層ほど「知らない」の割合が高くなっています。



4. 地区住民協議会

(1) 地区住民協議会の認知度【問13】①

問13. まちづくりに関することについておうかがいします。

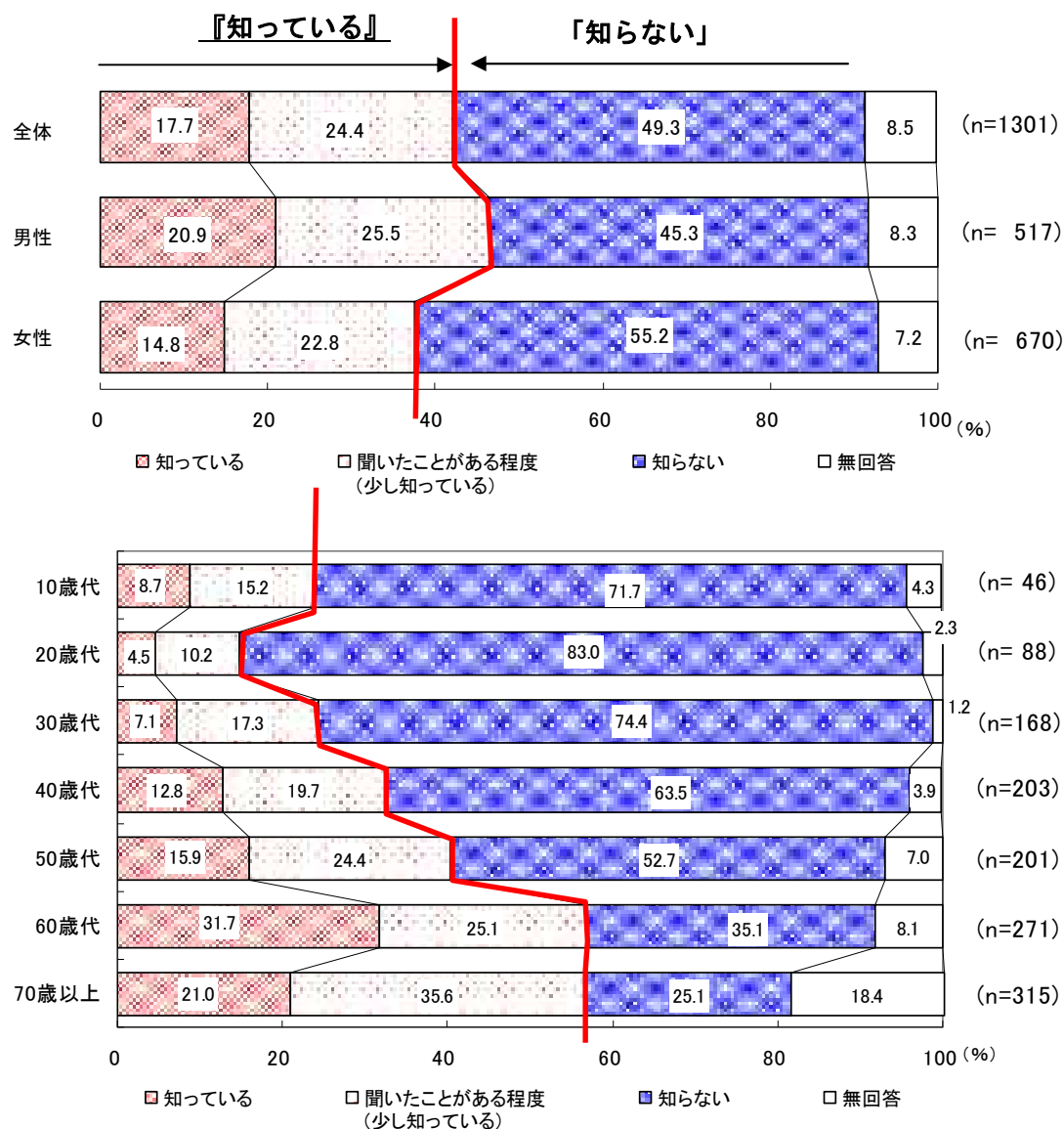
- ① 松阪市では、現在、住民協議会^(*)を核とした地域主体のまちづくりに取り組んでいます。
あなたのお住まいの地区住民協議会を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知らない」は5割、『知っている』^(※)が4割強

「知らない」の割合が49.3%で最も高く、次いで「聞いたことがある程度（聞いたことはあるがくわしくは知らない）」24.4%、「知っている」17.7%の順となっています。「知らない」人がおおむね5割となっています。「知っている」と「聞いたことがある程度（聞いたことはあるがくわしくは知らない）」を合わせると、『知っている』は4割強となっています。(※)『知っている』は「知っている」+「聞いたことがある程度（聞いたことはあるがくわしくは知らない)」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『知っている』の割合が低くなっています。

年齢別にみると、おおむね年齢が若くなるほど「知らない」の割合が高くなっています。



(*) 住民協議会とは、地域において活動する様々な団体(自治会、老人会、PTA など)が1つのテーブルにつき地域の身近な課題について取り組む組織です。

Ⅲ. 調査結果の分析

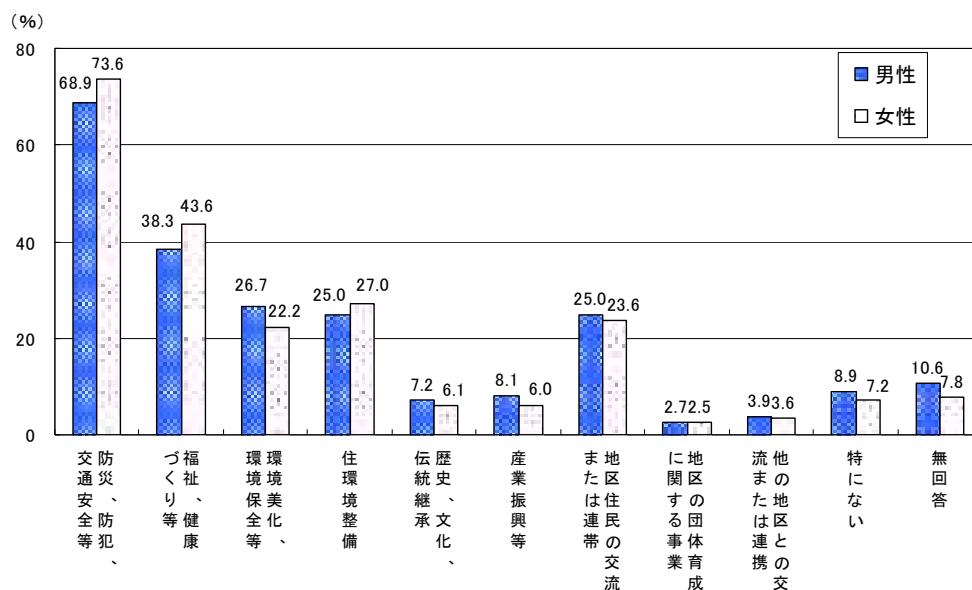
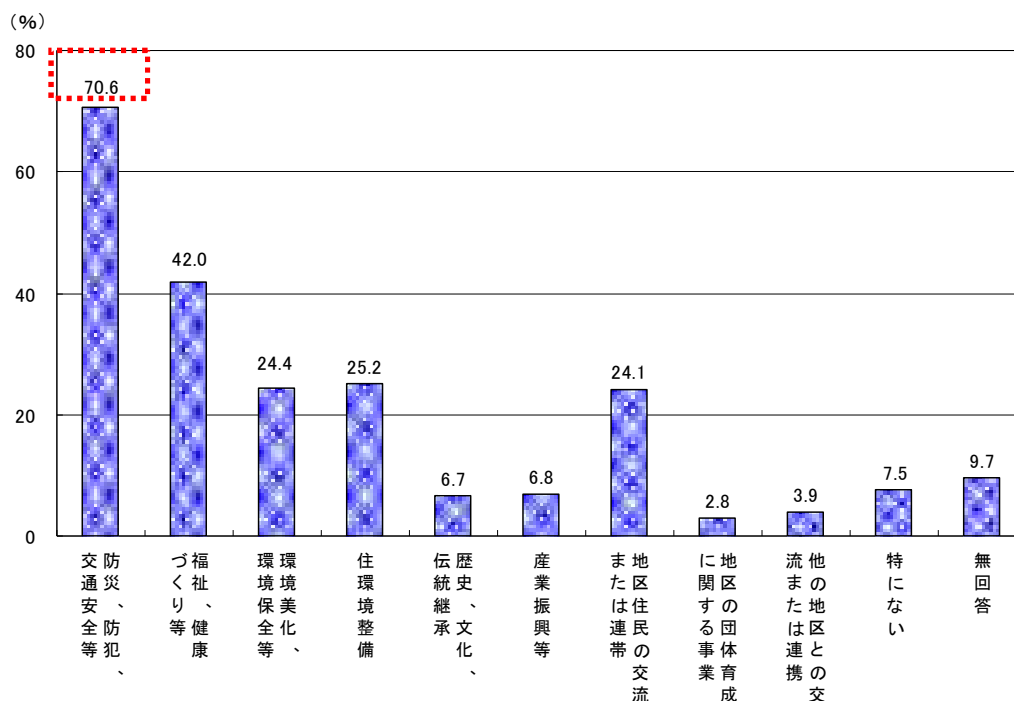
(2) 地区住民協議会への期待【問13】②

② あなたのお住まいの地区住民協議会の活動に期待することは何ですか。

(○は3つまで)

「防災、防犯、交通安全等」が7割、「福祉、健康づくり等」が4割強

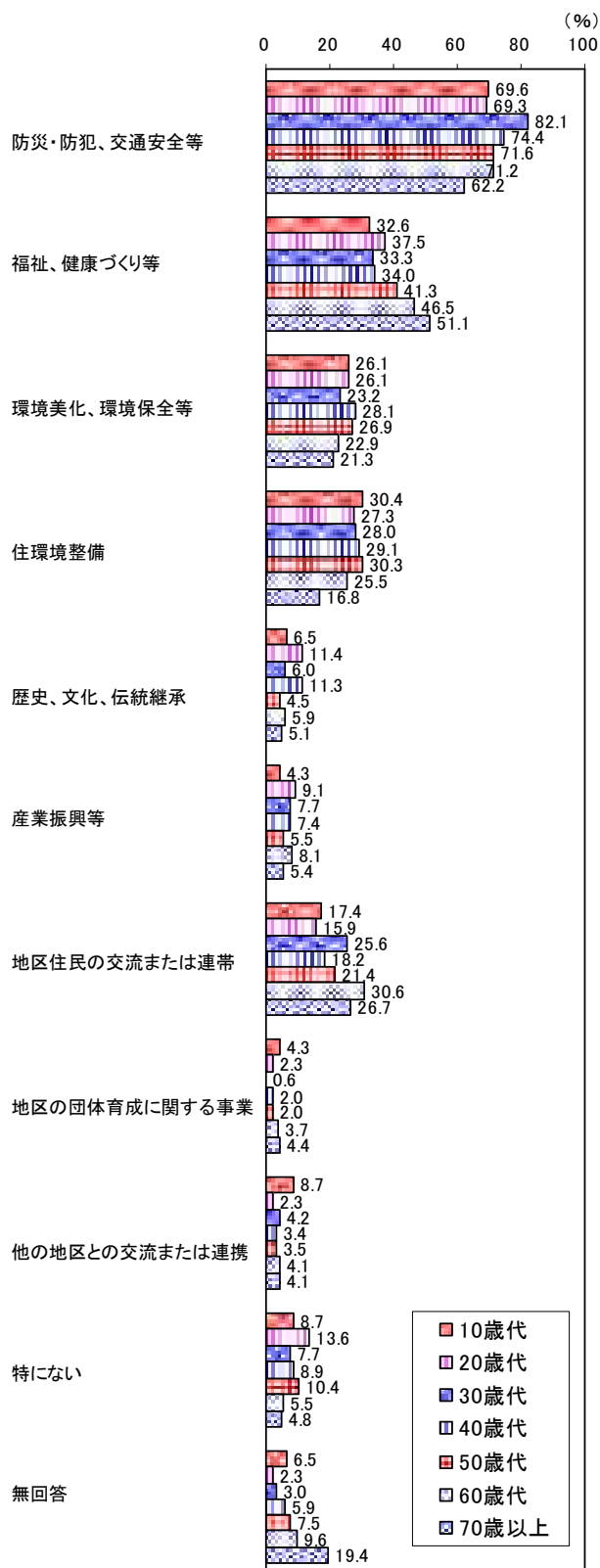
「防災、防犯、交通安全等（に關すること）」の割合が70.6%で最も高くなっています。次いで「福祉、健康づくり等（に關すること）」42.0%、「住環境整備（に關すること）」25.2%、「環境美化、環境保全等（に關すること）」24.4%、「地区住民の交流または連帯（に關すること）」24.1%の順となっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

男女別でみると、女性の方が男性よりも高いのは「防災、防犯、交通安全等」「福祉、健康づくり等」「住環境整備」があげられます。反対に男性の方が女性よりも高いのは「環境美化、環境保全等」「産業振興等（に關すること）」「地区住民の交流または連帯」などがあげられます。

年齢別でみると、各年齢層ともに「防災、防犯、交通安全等」に対する期待が高いが、その中で30歳代、40歳代では「防災、防犯、交通安全等」に対する期待が最も大きくなっています。また、70歳以上では「福祉、健康づくり等」に対する期待が、他の年齢層と比較して高く、各年齢層により「防災、防犯、交通安全等」以外に対する期待は若干異なっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

(3) 地区住民協議会への参加【問 13】③

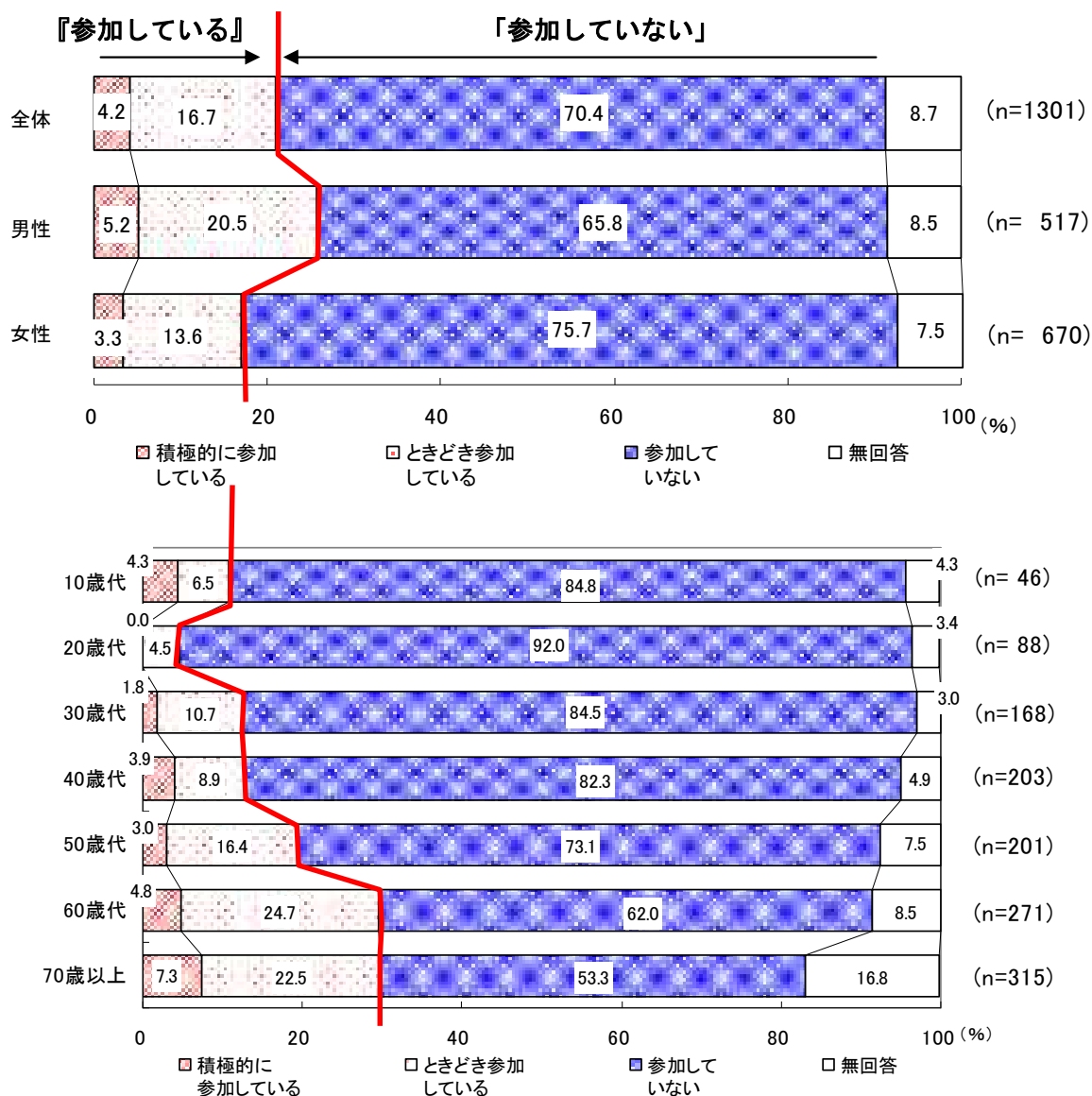
③ あなたのお住まいの地区住民協議会のまちづくり活動に参加していますか。
 (○は1つだけ)

「参加していない」は7割、『参加している』(※)が2割

「参加していない」の割合が70.4%で最も高く、次いで「ときどき参加している」16.7%、「積極的に参加している」4.2%の順となっています。「参加していない」人が7割で、反対に「積極的に参加している」は大幅に1割を下回っており、「ときどき参加している」を合わせても、『参加している』は2割にとどまっています。(※)『参加している』は「積極的に参加している」+「ときどき参加している」。

男女別にみると、女性の方が男性よりも『参加している』の割合が低くなっています。

年齢別にみると、60歳以上の高齢者では『参加している』の割合が高くなっています。



5. 市民活動に対する参加【問 13】④

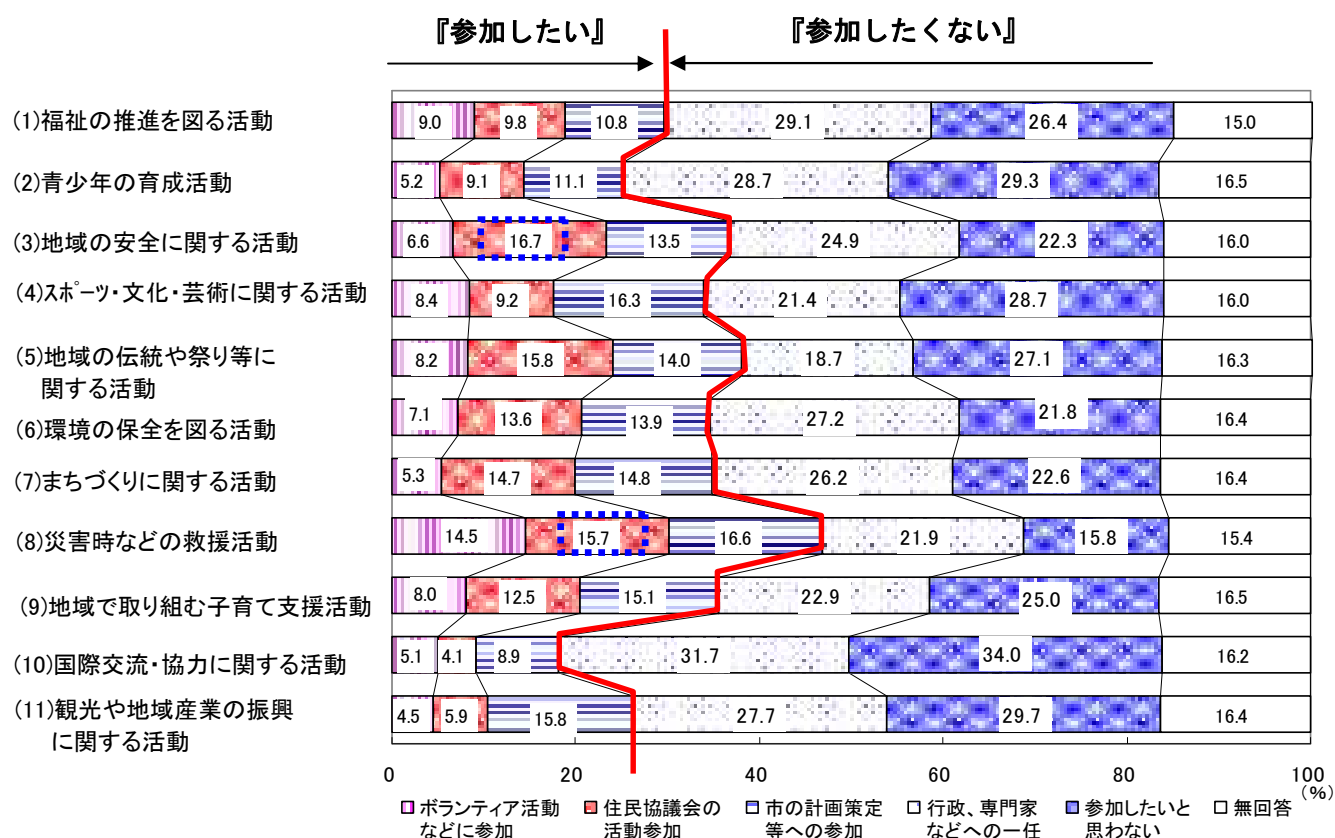
④ あなたは市民活動にどのような方法で参加したいと思いますか。(1)～(11)の項目について1つずつ選び○をつけてください。

「災害時などの救援活動」で『参加したい』(※)が5割弱

市民活動に関する11項目の中で、『参加したい』と考えている活動は、次のとおりです。

『参加したい』割合が最も高い活動は、「災害時などの救援活動」で5割弱となっています。次いで「地域の伝統や祭り等に関する活動」で4割弱となっています。反対に、“特に参加したいとは思わない”と答えている割合が高いのは「国際交流・協力に関する活動」となっています。また、“行政やNPO、専門家などに一任したい”も含めると「国際交流・協力に関する活動」では2/3の人が参加に消極的な結果となっています(※)『参加したい』は「ボランティア活動を通じて独自に活動したい」+「住民協議会の活動に参加したい」+「市の計画策定や市の活動に参加したい」、『参加したくない』は「行政やNPO、専門家などに一任」+「特に参加したいとは思わない」。

“住民協議会の活動に参加したい”にしばって活動別にみると、「地域の安全に関する活動」ではその割合は高く、16.7%を占めています。また、「災害時などの救援活動」でも高く、15.7%となっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

6. 情報の取得方法など

(1) 市役所が発信する情報の取得方法(媒体)【問14】①

問14. 市役所が発信する情報に関することについておうかがいします。

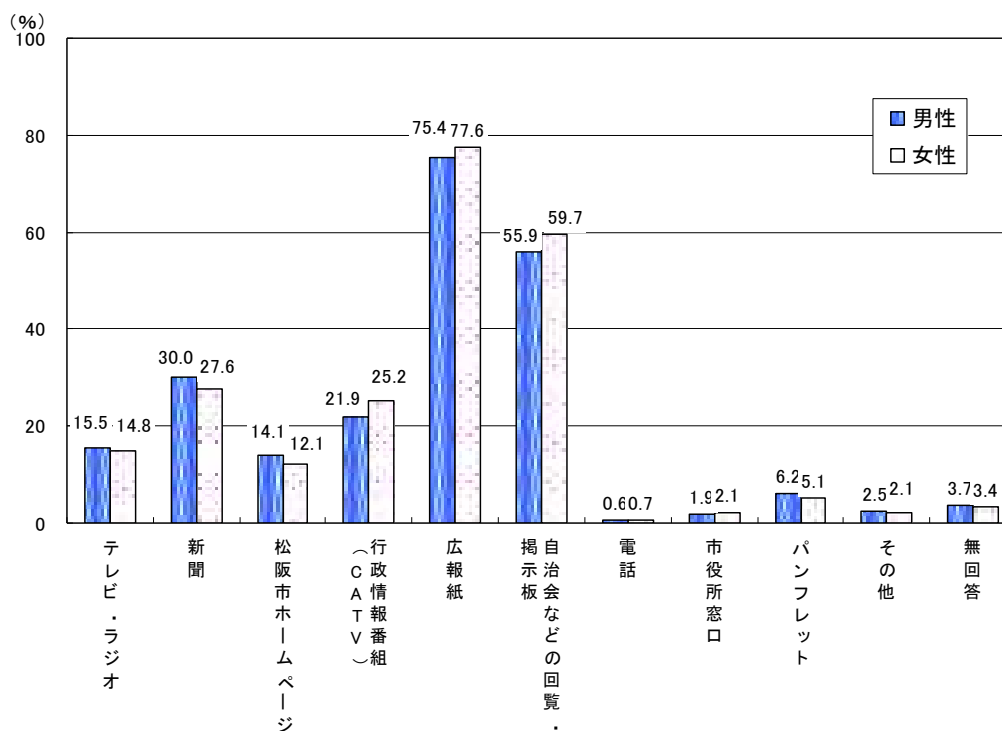
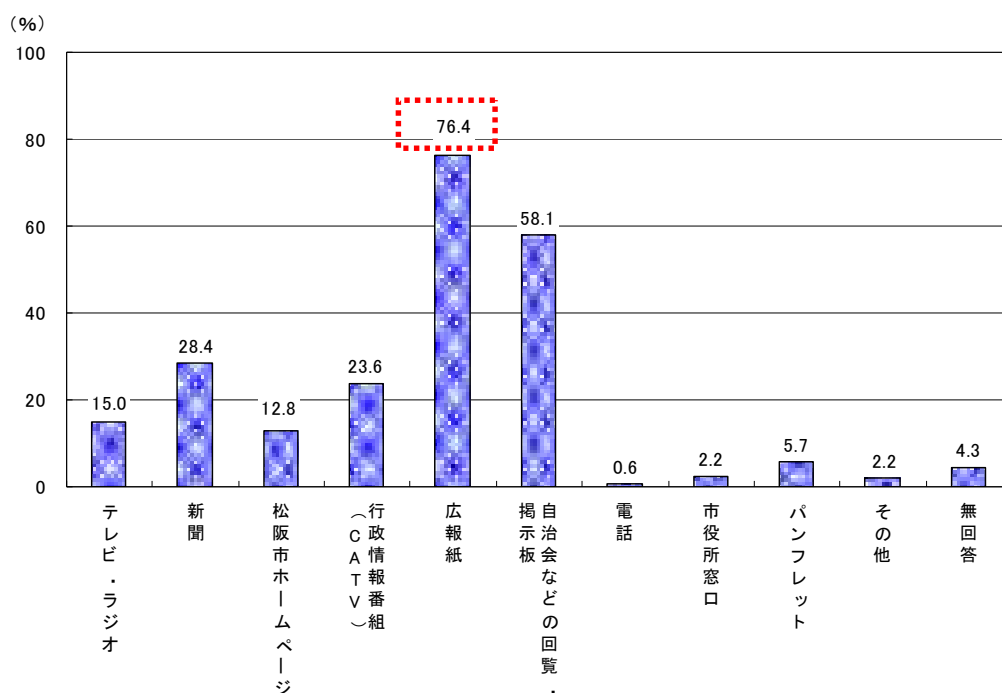
① あなたは市役所が発信する情報を主にどのような方法で取得していますか。

(○は3つまで)

「広報紙」が8割弱、「自治会などの回覧・掲示板」は6割弱

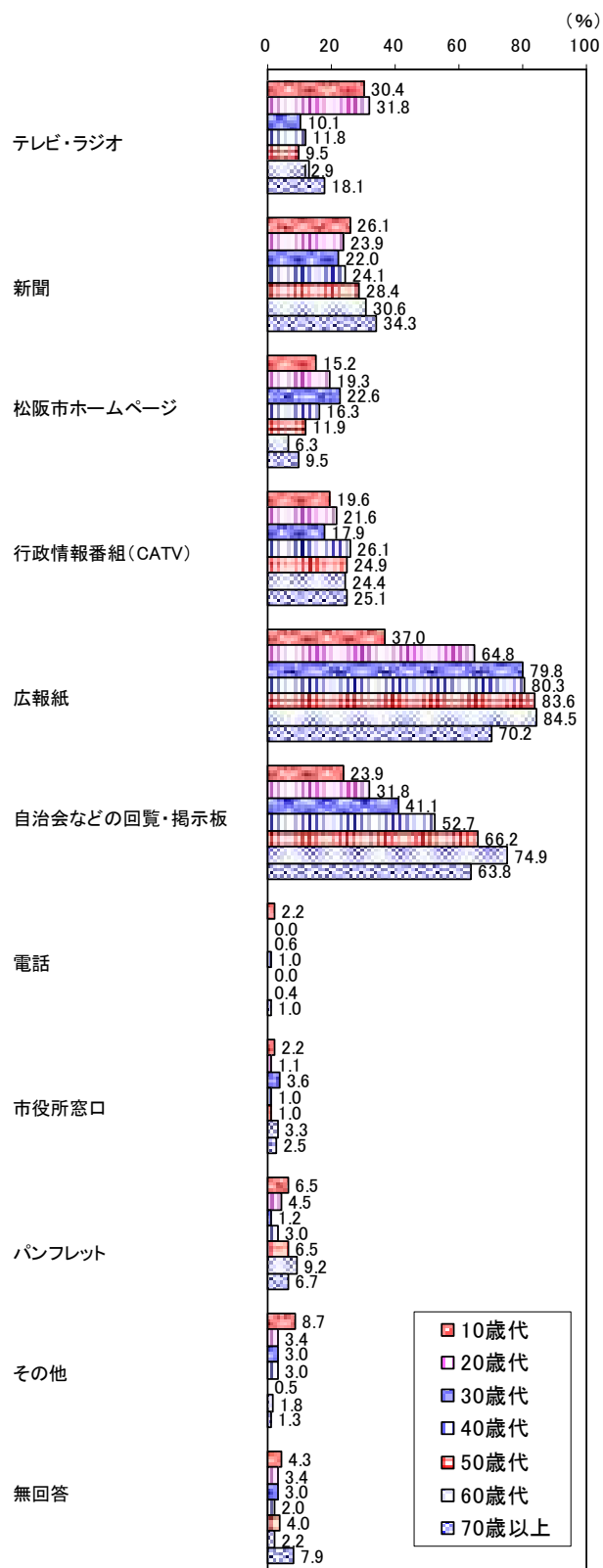
「広報紙」の割合が76.4%で最も高くなっています。次いで「自治会などの回覧・掲示板」58.1%、「新聞」28.4%、「行政情報番組(ケーブルテレビ)」23.6%の順となっています。

男女別にみると、「広報紙」「自治会などの回覧・掲示板」などは、女性の方が男性よりも高くなっています。



Ⅲ. 調査結果の分析

年齢別でみると、各年齢層で「広報紙」は最も高い割合となっています。ただ、30 歳以上の年齢層では 7 割を超えていますが、10 歳代では 4 割を下回っています。「自治会などの回覧・掲示板」についても、70 歳以上を除けばおおむね年齢層が高いほど高くなっています。反対に、「テレビ・ラジオ」は 20 歳代、10 歳代で 3 割を超えて高くなっています。「松阪市ホームページ」は 30 歳代を中心に高くなっており、反対に「新聞」は 30 歳代で低くなっており、世代間で情報媒体の特性が見られます。



Ⅲ. 調査結果の分析

(2) 情報を発信するために重視する情報媒体【問 14】②

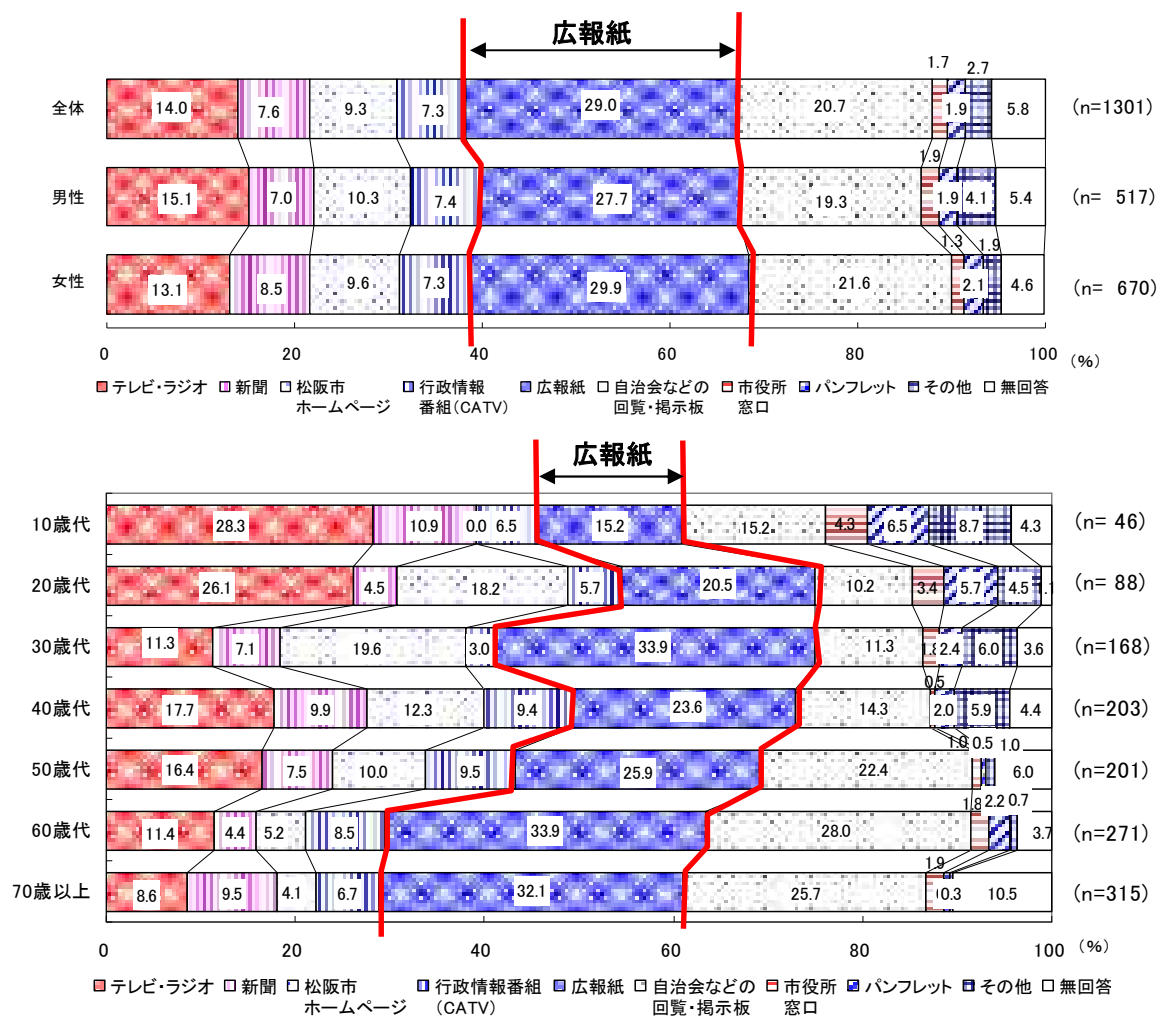
② あなたは市役所が今後、市民に情報を伝えるために力を入れるべきものは何だと思いますか。(〇は1つだけ)

「広報紙」が3割弱、「自治会などの回覧・掲示板」は2割

重視する情報媒体は、「広報紙」の割合が29.0%で最も高くなっています。次いで「自治会などの回覧・掲示板」20.7%、「テレビ・ラジオ」14.0%の順となっています。

男女別にみると、女性の方が男性よりも「広報紙」「自治会などの回覧・掲示板」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、60歳以上の高齢者では「広報紙」「自治会などの回覧・掲示板」の割合が最も高くなっており、年齢層により力を入れるべき情報媒体が若干異なっています。



7. 自由意見

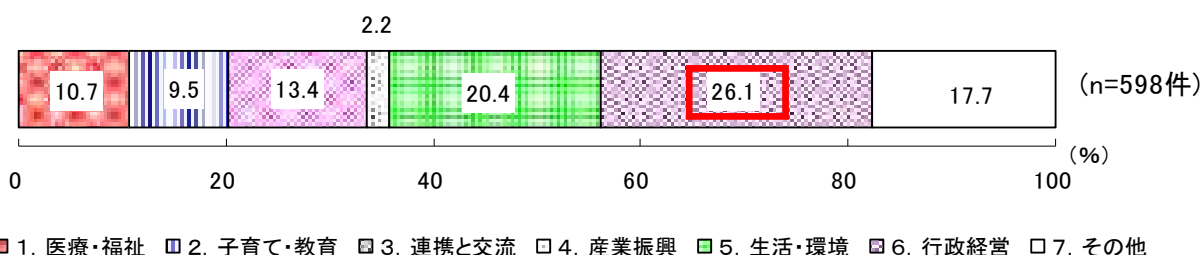
最後に、市政に対するご意見などございましたら、ご記入ください。

市政に対するご意見については、1,301 人の回答者のうち 3 割を超える 418 人の方からご意見をいただきました。ご意見は総合計画の政策項目をもとに 7 つに分類し、延べ 598 件に分けてまとめました。

【政策項目別にみる件数】

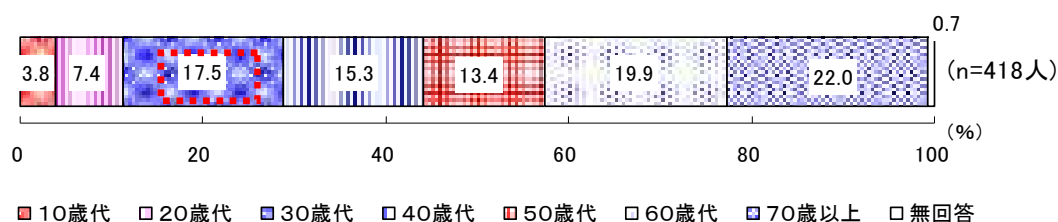
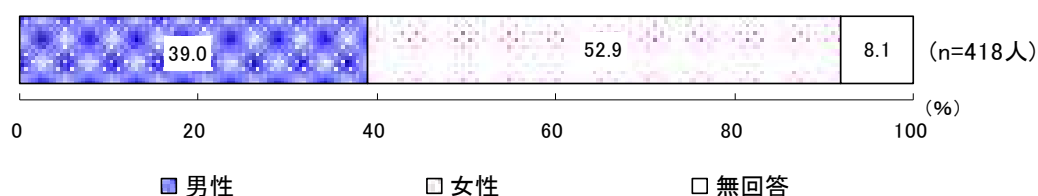
「6. 行政経営」に対する意見が最も多く、意見の 1/4 を超えています。次いで「5. 生活・環境」に対する意見が 2 割を占めています。

政策項目	件数	構成比(%)
1. 医療・福祉	64	10.7
2. 子育て・教育	57	9.5
3. 連携と交流	80	13.4
4. 産業振興	13	2.2
5. 生活・環境	122	20.4
6. 行政経営	156	26.1
7. その他	106	17.7
合 計	598	100.0



【意見回答者の特性】

意見をいただいた回答者を、アンケート調査回答者全体と比較してみると、男性女性の割合は、男性 4 割、女性 5 割強でほとんど変わりません。年齢別にみると、30 歳代の割合が若干高くなっています。(Ⅱ. 回答者の特性(p5)を参照)



Ⅲ. 調査結果の分析

さらに、下記の示すように施策項目をもとに詳細に分類しています。(主な意見内容については、資料にとりまとめています。)

政策	詳細施策分類項目	件数	構成比(%)
1 医療・福祉	1 保健・医療	11	1.8
	2 市民病院	3	0.5
	3 健康づくり	5	0.8
	4 高齢者福祉	16	2.7
	5 障がい者福祉	9	1.5
	6 福祉一般(地域福祉など)	2	0.3
	7 社会保障(年金、生活保護など)	18	3.0
	小計	64	10.7
2 ・ 教 育 育	8 児童・家庭福祉(子育て支援、保育園・幼稚園など)	20	3.3
	9 学校教育等(教育指導、学校給食、教育施設など)	27	4.5
	10 生涯学習	0	0.0
	11 文化活動・文化施設(図書館なども含む)	7	1.2
	12 スポーツ・レクリエーション	3	0.5
	小計	57	9.5
3 連 携 と 交 流	13 市民参加(地域自治活動、地区住民協議会など含む)	23	3.8
	14 人権	2	0.3
	15 男女共同参画社会	0	0.0
	16 公共交通	15	2.5
	17 国際交流・多文化共生	2	0.3
	18 観光(イベント・催事など含む)	10	1.7
	19 市街地・拠点等(中心市街地の活性化、まちづくり全般)	28	4.7
	20 バリアフリー社会	0	0.0
	小計	80	13.4
4 業 振 興 産	21 農林水産業	4	0.7
	22 商工業	1	0.2
	23 雇用・勤労者対策	8	1.3
	小計	13	2.2
5 生 活 ・ 環 境	24 交通安全対策	18	3.0
	25 防災対策(防災無線など含む)	39	6.5
	26 防犯対策	5	0.8
	27 環境	6	1.0
	28 廃棄物(ごみ)対策	18	3.0
	29 道路・港湾等(道路整備、河川・港湾整備など)	21	3.5
	30 住環境(市営住宅など)	1	0.2
	31 公園・緑地	6	1.0
	32 上水道	1	0.2
	33 下水道	7	1.2
	小計	122	20.4
6 行 政 経 営	34 行政・財政運営	28	4.7
	35 市職員(窓口サービス、対応、待遇、人員数など)	33	5.5
	36 市議会(市議会議員を含む)	12	2.0
	37 広報(広報紙など)	22	3.7
	38 広聴(アンケート調査など)	29	4.8
	39 情報公開・情報提供	12	2.0
	40 公共施設整備など	8	1.3
	41 合併(地域格差なども含む)	12	2.0
	小計	156	26.1
7 そ の 他	42 市政全般	24	4.0
	43 市政への期待など	56	9.4
	44 税金など	21	3.5
	45 その他	5	0.8
	小計	106	17.7
合 計		598	100.0

8. 分析とりまとめ

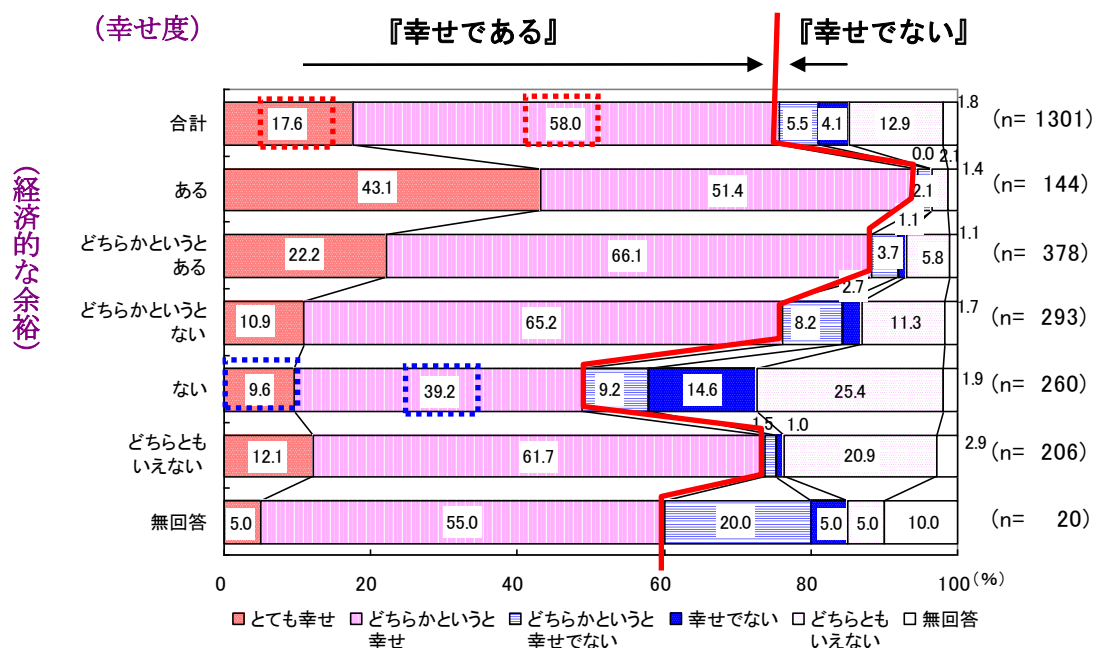
松阪市では、総合計画『市民みんなの道標』～未来につながるまちづくり計画～のもとに、松阪市の将来像『市民みんなが幸せを実感できるまち』の実現に向けて、6つの単位政策と地域政策（個性ある地域づくり）を柱に取り組んでいます。

今回の調査では、この計画を見直すにあたり、いままでの将来像としてキーワードとなっている『幸せ』に焦点をあてて実施いたしました。

(1) 個人の幸せについて

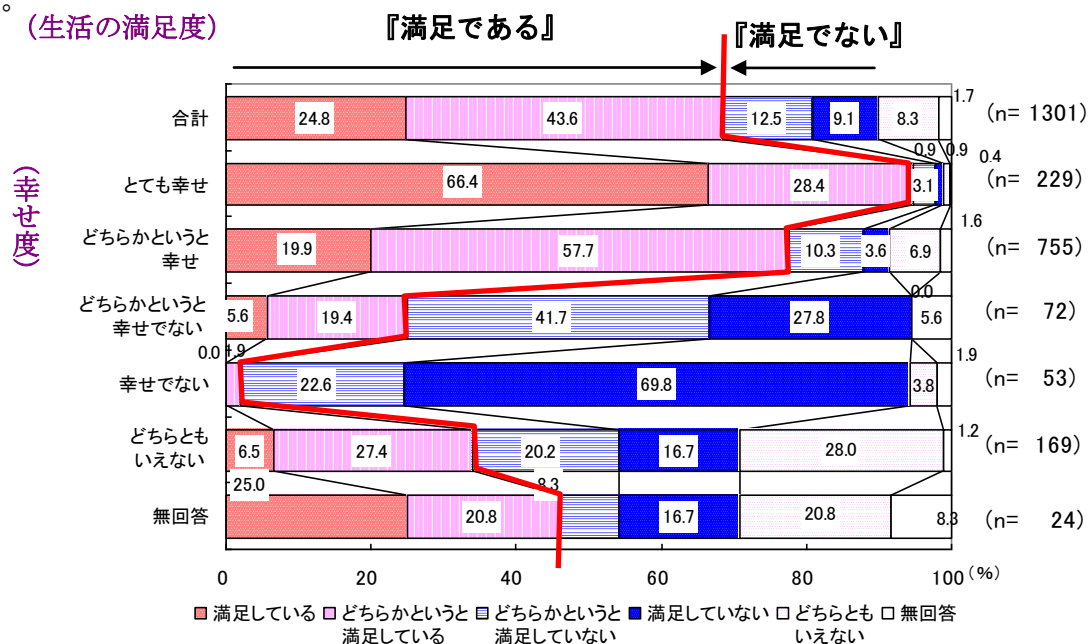
ここで、『幸せ』について整理します。

現在、「幸せである」と感じている人は7割5分、「幸せでない」と感じている人は1割程度となっており、幸せである人の割合は高い結果となっています。



① 『幸せ度』と現在の生活の満足度と経済的な余裕について

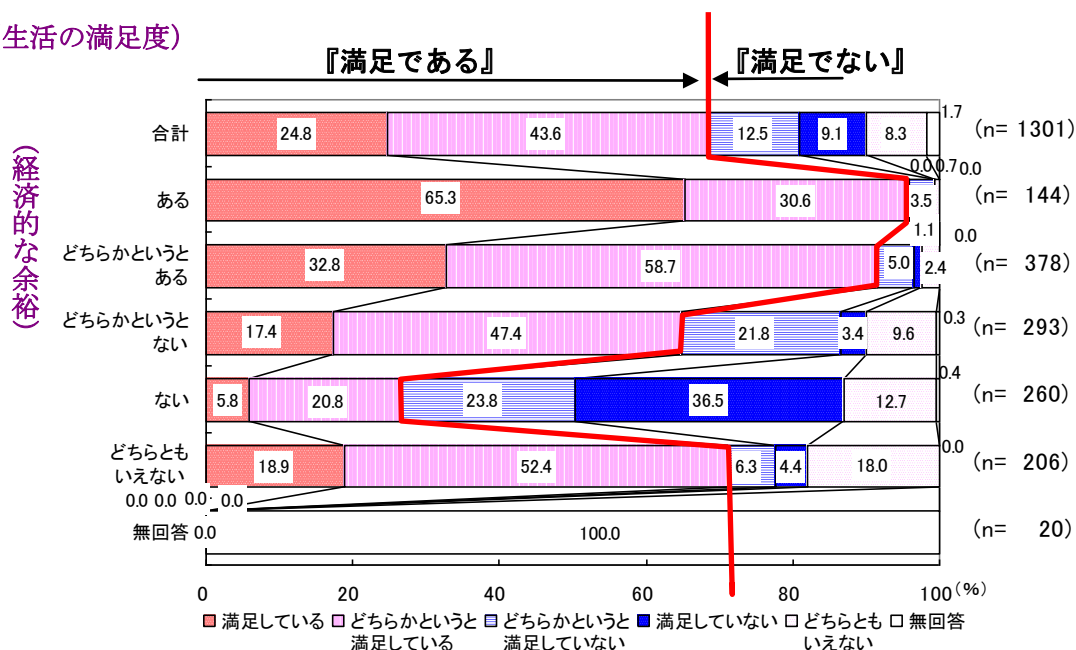
「とても幸せ」だと感じている人が、現在の生活をどのように考えているかなどについて整理します。



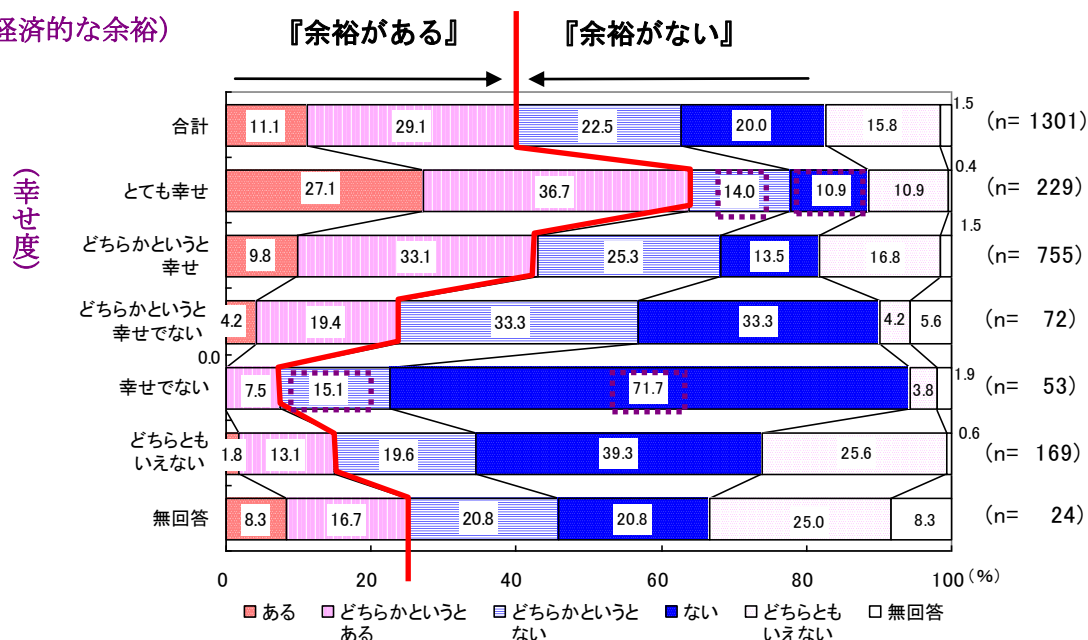
Ⅲ. 調査結果の分析

「とても幸せ」だと感じている人の中で、現在の生活に満足している人の割合が7割弱で高くなっています。反対に、「幸せでない」と感じている人には満足している人はいません。幸せであると感じている人ほど、現在の生活に満足している人の割合は高くなっています。

(生活の満足度)



(経済的な余裕)



現在の経済状況からみると、経済的に余裕がある人の方が生活に満足を感じている人が高く、余裕がない人は満足していない割合が高くなっており、経済的な余裕と生活の満足度は密接な関係にあると考えられます。

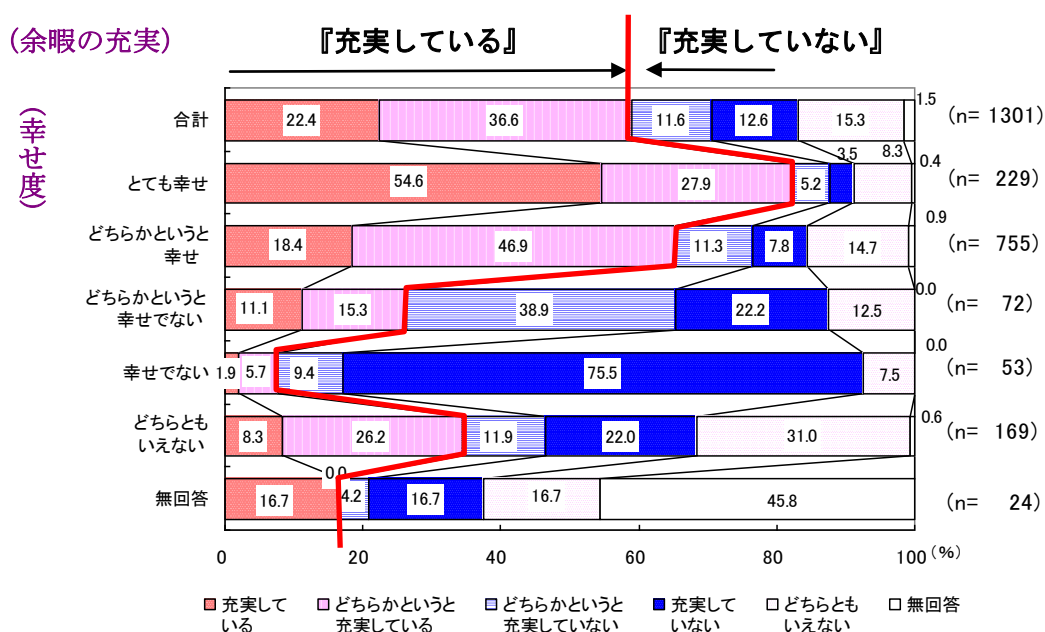
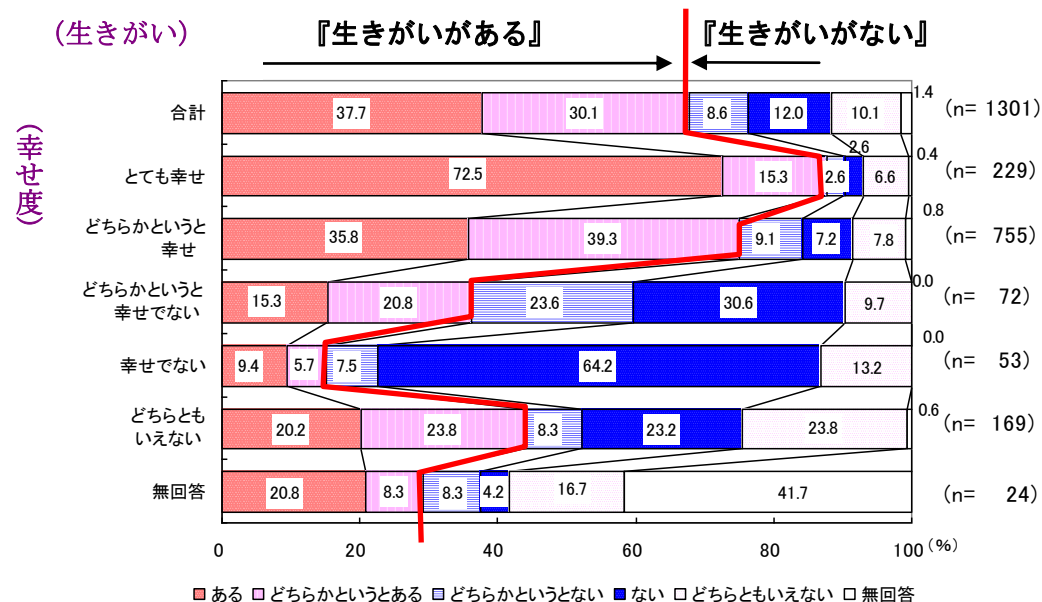
また、「幸せでない」と感じている人の中で、経済的に余裕がない人の割合が7割を超え、「どちらかというもない」も加えると9割弱と高くなっています。ただ、経済的に余裕がないと感じている人が、そのまま「幸せでない」と言うわけではありません。(前頁図を参照)

「とても幸せだ」と感じている人では、経済的な余裕がある人（「ある」＋「どちらかというところ」）は2/3で、1/3の人はあまり経済的に余裕がなくても「とても幸せだ」と感じています。以上により、生活の中で「とても幸せだ」と感じる事が重要であると考えられます。

そこで『幸せ』を感じる要因について、“生きがい”及び“余暇の充実”との関係を見ます。

「とても幸せだ」と感じている人の中で、『生きがいがある』と答えた人は 9 割弱で、ほとんどの人が『生きがい』を持っています。また、「どちらかという幸せだ」と感じている人の中で 7 割を超える人は『生きがい』を持っています。反対に、「幸せでない」と感じている人で 7 割を超える人は『生きがい』を持っていないと答えています。

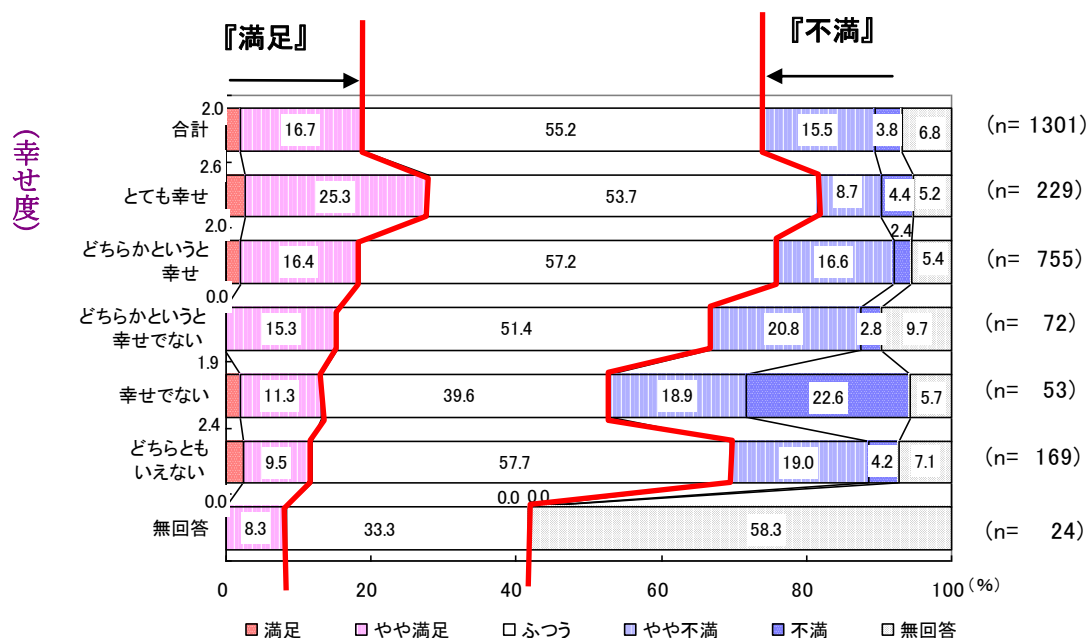
同様にして、“余暇の充実”でも『幸せ』との関係は見られますが、“生きがい”の方が関連度は強いように思われます。いかに、生きがいを見つけ出すことが「とても幸せだ」と感じる大きな要因のひとつであると考えられます。



Ⅲ. 調査結果の分析

② 『幸せ度』と市政全体に対する評価（満足度）について

『幸せ度』と市政全体に対する評価（満足度）についてみると、「とても幸せ」だと感じている人の中で、1/4 の人が「やや満足」と答えています。「幸せでない」と感じている人の方が市政全体に対する評価（満足度）は「不満」の割合が高くなっています。



(市政全体に対する評価 (満足度))

5段階評価で評価得点により比較すると、次のとおりとなっています。

幸せ度	総合評価 (満足度) (評価得点)
平 均	2.97
とても幸せ (だと感じる)	3.14
どちらかという と幸せ (だと感じる)	2.99
どちらかという と幸せでない (と感じる)	2.88
幸せでない (と感じる)	2.48
どちらとも いえない	2.86

「とても幸せ」だと感じている人は評価得点3を超えています。
幸せ度が低くなるにつれて、市政に対する満足度も低くなっています。

(2) 市政に対する満足度・重要度について

総合計画で6つの柱となっている単位政策別に満足度と重要度を整理してみます。

総合計画における単位政策は次のとおりとなっています。

【総合計画】

6つの単位政策		まちづくり
単位政策 1	医療・福祉	いのちや痛みに関わることを大切にするまちづくり
単位政策 2	子育て・教育	日本一子育てと子育てができるまちづくり
単位政策 3	連携と交流	市民とつくるまちづくり
単位政策 4	産業振興	市民や地域のいのちを支える産業を育てるまちづくり
単位政策 5	生活・環境	うるおいある快適なまちづくり
単位政策 6	行政経営	市民目線の行政経営

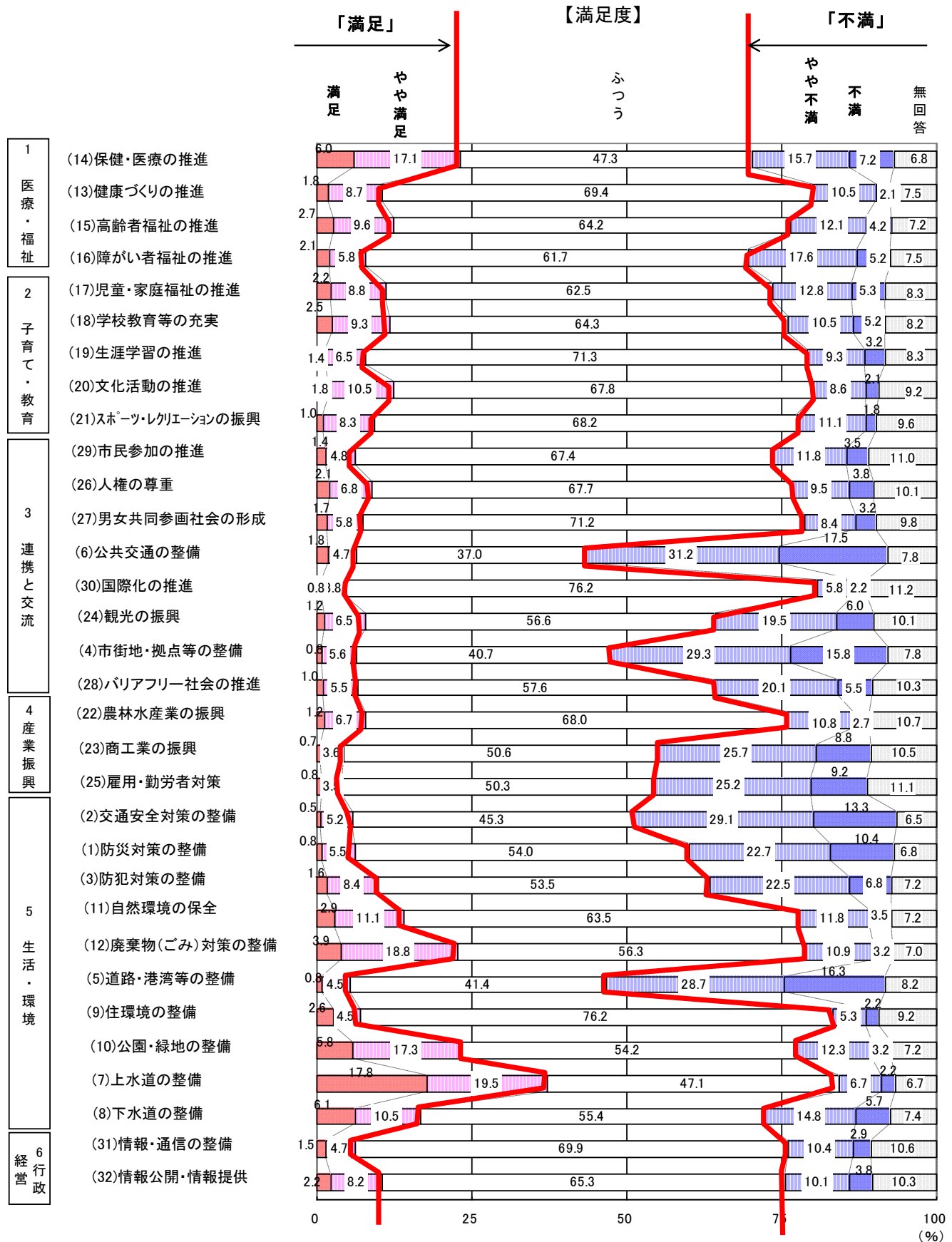
さらに、32 各施策項目が、どの単位政策に該当するかを整理すると、下記のようになっています。

政策	項目番号	施策項目	政策	項目番号	施策項目
1 福祉・医療	14	保健・医療の推進	4 振興産業	22	農林水産業の振興
	13	健康づくりの推進		23	商工業の振興
	15	高齢者福祉の推進		25	雇用・勤労者対策
	16	障がい者福祉の推進	5 生活・環境	2	交通安全対策の整備
2 子育て・教育	17	児童・家庭福祉の推進		1	防災対策の整備
	18	学校教育等の充実		3	防犯対策の整備
	19	生涯学習の推進		11	自然環境の保全
	20	文化活動の推進		12	廃棄物(ごみ)対策の整備
	21	スポーツ・レクリエーションの振興		5	道路・港湾等の整備
3 連携と交流	29	市民参加の推進		9	住環境の整備
	26	人権の尊重		10	公園・緑地の整備
	27	男女共同参画社会の形成		7	上水道の整備
	6	公共交通の整備		8	下水道の整備
	30	国際化の推進	6 経行 営政	31	情報・通信の整備
	24	観光の振興		32	情報公開・情報提供
	4	市街地・拠点等の整備			
	28	バリアフリー社会の推進			

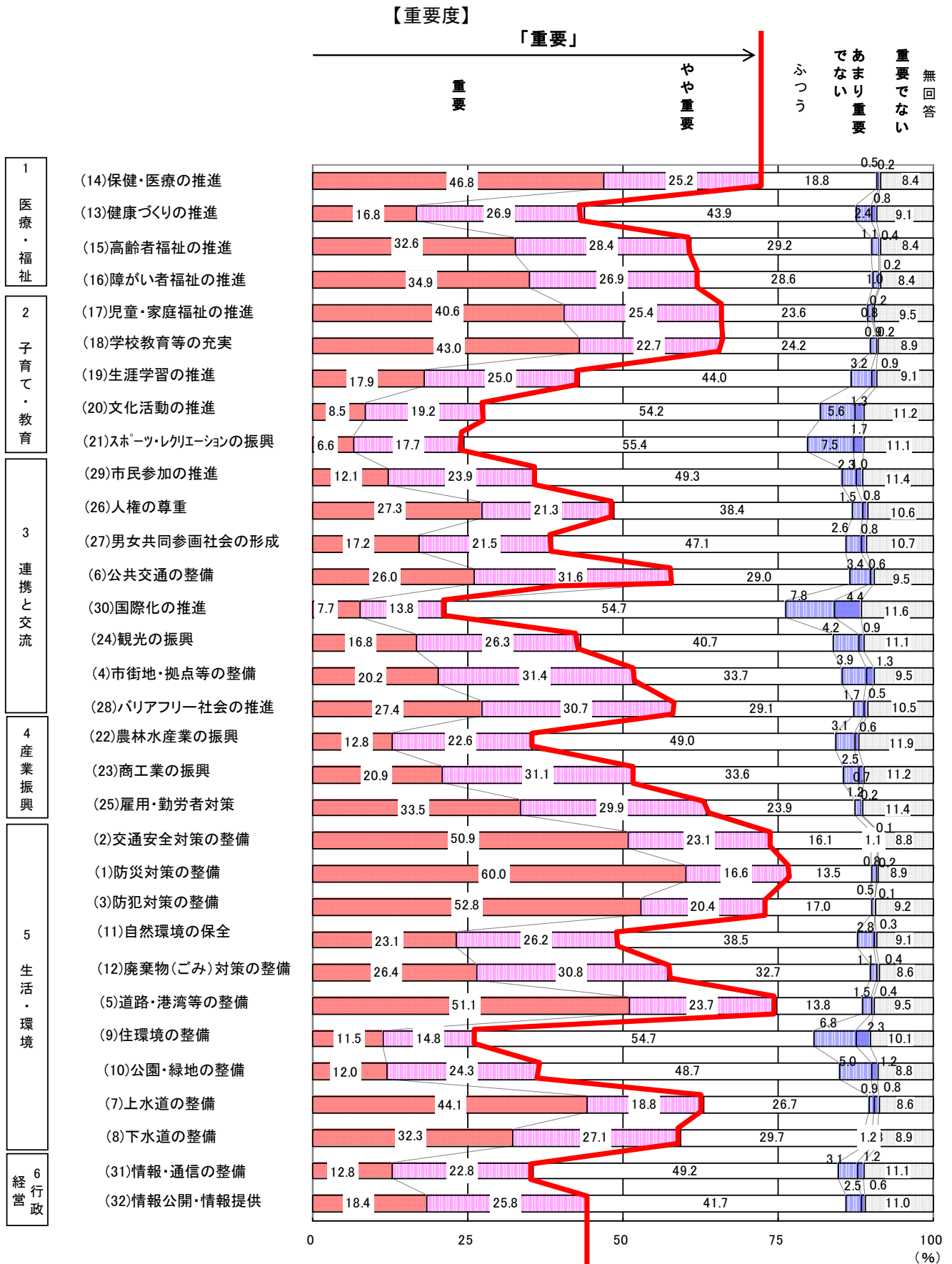
以上により、満足度および重要度について、再度とりまとめると、次のとおりとなっています。

Ⅲ. 調査結果の分析

－ 施策別にみる満足度 －



－ 施策別にみる重要度 －



Ⅲ. 調査結果の分析

一 政策別にみる満足度と重要度 一

政 策	施策項目
1. 医療・福祉	○ 『保健・医療の推進』は「満足」の割合が高く、「不満」も高くなっており、反対に「ふつう」と答えた人の割合が低くなっています。重要度は5位となっており、関心が高い項目です。 ○ 『障がい者福祉の推進』は「不満」の割合が高く、満足度は2.80で低い結果となっており、最重点項目のひとつと考えられます。
2. 子育て・教育	○ 『学校教育等の充実』『児童・家庭福祉の推進』は「重要」の割合が高い項目で、重要度は6位(4.18)、7位(4.16)となっています。最近のいじめ問題も含め、今後も重要な施策項目としてあげられます。
3. 連携と交流	○ 『公共交通の整備』は最重点項目のひとつと考えられます。満足度は最も低く、不満度1位(2.37)となっています。高齢化が一層進む中で、市民の移動手段として、今後、一層重要度が上がることが予想されます。 ○ 『市街地・拠点等の整備』は「不満」の割合が高い項目で、不満度3位(2.42)となっています。中心市街地を中心とした活気あるまちを望む声から満足度は低いと考えられます。 ○ 『バリアフリー社会の推進』は最重点項目のひとつと考えられます。満足度は低く、不満度では7位(2.74)で、「重要」の割合は高くなっています。高齢化の進展により重要度は一層高くなることが考えられます。『国際化の推進』は最も重要度が低い項目としてあげられています。また、満足度では最も「ふつう」の割合が高い項目です。
4. 産業振興	○ 『雇用・勤労者対策』は最重点項目のひとつと考えられます。満足度は低く、不満度は5位(2.57)で、重要度は9位(4.08)となっています。若年者雇用や高齢者雇用の問題が増進する中で、最重点項目としてあげられます。
5. 生活環境	○ 『防災対策の整備』『防犯対策の整備』『道路・港湾等の整備』『交通安全対策の整備』の4項目が最重点項目と考えられます。 ○ 4項目は重要度が最も高い項目で、重要度上位4位までを占めています。最も重要度が高いのは『防災対策の整備』で4.49となっています。 ○ 前回調査から最も満足度が下がり、重要度が上昇した項目は『道路・港湾等の整備』で大きく変化しています。 ○ 『防災対策の整備』と『道路・港湾等の整備』は、防災意識の高さから重要度が高くなったと考えられます。
6. 行政経営	○ 行政経営については『情報・通信の整備』『情報公開・情報提供』の情報に関する項目であるため、「重要」の割合は他の施策項目と比較すると低く、重要度も3.48と3.66で比較的低い結果となっています。満足度については「ふつう」の割合が比較的高くなっています。

以上により、前回調査（平成21年）で防犯・防災・交通安全対策の整備に対する市民ニーズが高い傾向となっていました。今回の調査では、さらに、その傾向が顕在化され、防災を中心とした“安全・安心なまちづくり”を重視する声が高くなったと考えられます。

□ 参 考 — 満足度（問 10）と総合評価（問 11）との関連について —

ここで、市政の総合評価（満足度）に対する 32 項目の施策項目（問 10）との関連性があるのかを調べるために、相関係数を算出します。

相関係数とは、2 つの変数の関連性がどの程度のものを数値で表したもので、+1 ～ -1 の間で表示され、数値が大きくなるほど相関は強く（関連性が強い）、数値が小さいほど相関が弱く（関連性が弱い）なります。

相 関 係 数	相 関 関 係
0.0 ～ ±0.4 未満	ほとんど相関がない
±0.4 以上 ～ ±0.7 未満	やや相関がある
±0.7 以上 ～ ±1.0	強い相関がある

— 32 施策項目に対する相関係数 —

施策項目	相関係数
(17)児童・家庭福祉の推進	0.390
(15)高齢者福祉の推進	0.383
(29)市民参加の推進	0.368
(32)情報公開・情報提供	0.367
(18)学校教育等の充実	0.364
(16)障がい者福祉の推進	0.353
(14)保健・医療の推進	0.339
(25)雇用・勤労者対策	0.338
(1)防災対策の整備	0.321
(31)情報・通信の整備	0.315
(28)バリアフリー社会の推進	0.303
(26)人権の尊重	0.301
(23)商工業の振興	0.298
(19)生涯学習の推進	0.289
(12)廃棄物(ごみ)対策の整備	0.277
(13)健康づくりの推進	0.274
(27)男女共同参画社会の形成	0.270
(24)観光の振興	0.263
(2)交通安全対策の整備	0.261
(22)農林水産業の振興	0.249
(20)文化活動の推進	0.248
(5)道路・港湾等の整備	0.245
(4)市街地・拠点等の整備	0.240
(3)防犯対策の整備	0.232
(21)スポーツ・レクリエーションの振興	0.231
(10)公園・緑地の整備	0.225
(11)自然環境の保全	0.222
(8)下水道の整備	0.215
(6)公共交通の整備	0.211
(30)国際化の推進	0.196
(7)上水道の整備	0.181
(9)住環境の整備	0.161

以上により、相関係数はいずれも 0.4 を下回っています。

回答状況をみると、総合評価（満足度）の評価と各項目の評価（満足度）とが全く整合が取れていないもの、満足度のみの記入や重要度のみの記入、途中で棄権されているものなど様々な回答が見受けられます。これらを踏まえると、できる限り多くの人に、いかに回答者にわかりやすく、回答しやすいものにするかが課題であると考えられます。

Ⅲ. 調査結果の分析



□ 資 料



市民幸せ調査～ご協力のお願い～



市民の皆様には、日ごろから市政に対し、ご協力をいただきありがとうございます。

松阪市では、総合計画『市民みんなの道標^{みちしるべ}～未来につなげるまちづくり計画～』に基づき、“市民みんなで幸せを実感できるまち”の実現に向けて市政運営を展開しているところです。

今回、この計画を見直して平成 26 年度を初年度とする計画を策定するにあたり、市民の皆様ご自身の幸せに対する意識やお考えなどについて、また、市の政策や行政サービスに対する意識やお考えなどについてお聞きする調査を実施することといたしました。

調査の結果は、市民一人ひとりの“幸せ”を高めるためのまちづくりを進めていく参考とさせていただきますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、お答えいただいた内容は、統計的に処理されますので、個人のお名前やご意見が特定されることはありません。また、この調査の目的以外には使用いたしません。

平成 24 年 9 月

松阪市長 山中 光茂



【対象】松阪市にお住まいの 15 歳以上の市民の中から無作為に選んだ 3,000 人の方

※ 必ず封筒のあて名のご本人がご記入ください。なお、ご記入は、鉛筆またはボールペンではっきりとわかりやすくお願いします。

【期限】平成 24 年 10 月 5 日（金）までに、同封の返信用封筒にて返送してください。

（切手は不要です。）氏名、住所をご記入いただく必要はありません。

【お問合せ】松阪市役所 市政戦略部 戦略経営課 ☎53-4319(直通)

.....

○ 各項目について、あなた自身が該当するものをそれぞれ1つずつ選び○をつけてください。

(1) あなたの性別は	1. 男性	2. 女性		
(2) あなたの年齢は	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	
(3) あなたの居住地は	1. 本庁管内(旧松阪市)	2. 嬉野管内(旧嬉野町)	3. 三雲管内(旧三雲町)	
	4. 飯南管内(旧飯南町)	5. 飯高管内(旧飯高町)		
(4) 合併前も含め松阪市での居住年数は	1. 1年未満	2. 1年以上5年未満	3. 5年以上10年未満	
	4. 10年以上20年未満	5. 20年以上		
(5) あなたのご職業は	1. 自営業（農林水産業などに従事する方も含みます）			
	2. 会社員（公務員・会社役員・専門職も含みます）			
	3. 学生・専門学校生	4. アルバイト・パート		
	5. 無職（家事に従事する方も含みます）	6. その他（		）
(6) あなたの家族構成は	1. 単身（ひとり暮らし）	2. 夫婦のみ	3. 2世代（親・子など）	
	4. 3世代（親・子・孫など）	5. その他（		）

○ あなた自身の暮らしの現状やお考えに関することについておうかがいします。

問 1. あなたの現在の状況についておうかがいします。

① 健康だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 健康だと思う | 2. どちらかという与健康だと思う |
| 3. どちらかという与健康だと思わない | 4. 健康だと思わない |
| 5. どちらともいえない | |

② 現在の生活に満足していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかというと満足している |
| 3. どちらかというと満足していない | 4. 満足していない |
| 5. どちらともいえない | |

③ 生活に経済的な余裕はありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ある | 2. どちらかというとある |
| 3. どちらかというとな | 4. ない |
| 5. どちらともいえない | |

④ 将来の生活に不安を感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |
| 5. どちらともいえない | |

問 2. あなたの生きがいについておうかがいします。

① 人から頼りにされていると感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |
| 5. わからない | |

② 社会に貢献（他人のために何かを）していると感じていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 感じている | 2. どちらかというと感じている |
| 3. どちらかというと感じていない | 4. 感じていない |
| 5. わからない | |

③ 自分が活躍する場はありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. ある | 2. どちらかというところ |
| 3. どちらかというところない | 4. ない |
| 5. どちらともいえない | |

④ 余暇は充実していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 充実している | 2. どちらかというところ充実している |
| 3. どちらかというところ充実していない | 4. 充実していない |
| 5. どちらともいえない | |

⑤ 生きがいにしているものはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. ある | 2. どちらかというところ |
| 3. どちらかというところない | 4. ない |
| 5. どちらともいえない | |

問3. あなたのふだんの暮らしで心がけていることについておうかがいします。

① 節電や緑のカーテンに取り組むなど、環境に配慮した生活をしていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. している | 2. どちらかというところしている |
| 3. どちらかというところしていない | 4. していない |
| 5. どちらともいえない | |

② ゴミを出さない暮らしやリサイクルなど、ごみの減量に心がけた生活をしていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. している | 2. どちらかというところしている |
| 3. どちらかというところしていない | 4. していない |
| 5. どちらともいえない | |

③ 日頃から災害に対する備えをしていますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. している | 2. どちらかというところしている |
| 3. どちらかというところしていない | 4. していない |
| 5. どちらともいえない | |

④ 健康づくりのために、ウォーキングや体調管理をしていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. している | 2. どちらかというとしている |
| 3. どちらかというしていない | 4. していない |
| 5. どちらともいえない | |

⑤ かかりつけ医がいますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

問4. あなたが幸福な生活を送るにあたって望むことについておうかがいします。

① 幸福な生活のために必要なことはどんなことだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 健康であること | 2. 食生活が良好であること |
| 3. 住まいがあること | 4. 生活に経済的な余裕があること |
| 5. 家族との関係が良好なこと | 6. 災害に対する備えができていること |
| 7. 治安が保たれていること | 8. 食の安全が保たれていること |
| 9. 生活環境が良好なこと | 10. 近所づきあいが良好なこと |
| 11. 地域活動・行事に参加できること | 12. 地域に憩いの場があること |
| 13. 頼れる人がいること | 14. 地域に愛着があること |
| 15. 人から頼りにされること | 16. 自分が活躍する場があること |
| 17. 社会に貢献していると感じること | 18. 働く場所があること |
| 19. 仕事にやりがいを感じることに | 20. 生きがいがあること |
| 21. 余暇が充実していること | 22. その他 () |

② 幸福な生活を送るためには、松阪市がどのようなまちになるのがいいと思いますか。
(〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 健康づくりが盛んなまち | 2. 安心して医療が受けることができるまち |
| 3. 安心して子育てができるまち | 4. 誰もが安心して働くことができるまち |
| 5. 充実した教育を受けることができるまち | 6. 生涯学習をとおして生きがいもてるまち |
| 7. 地域の産業や商業に活力があるまち | 8. リサイクルなど環境に配慮したまち |
| 9. 地域コミュニティが活発なまち | 10. ごみが落ちていない美しいまち |
| 11. 緑とうるおいのあるまち | 12. 芸術・文化にふれあえるまち |
| 13. 犯罪が少ないまち | 14. 災害に強いまち |
| 15. 交通事故が少ないまち | 16. 交通の利便性が高いまち |
| 17. 歴史や文化を生かした観光のまち | 18. 地域ブランドを生かしたまち |
| 19. 市街地に高層ビルが並ぶ都市化のまち | 20. その他 () |

問5. あなたは今、幸せだと感じますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. とても幸せだと感じる | 2. どちらかという幸せだと感じる |
| 3. どちらかという幸せでないと感じる | 4. 幸せでないと感じる |
| 5. どちらともいえない | |

問6. あなたはこれまでの人生を振り返ってみて、幸せだったと感じますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. とても幸せだったと感じる | 2. どちらかという幸せだったと感じる |
| 3. どちらかという幸せでなかったと感じる | 4. 幸せでなかったと感じる |
| 5. どちらともいえない | |

問7. あなたはこれから先、幸せになれると思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 幸せになれると思う | 2. どちらかという幸せになれると思う |
| 3. どちらかという幸せになれると思わない | 4. 幸せになれると思わない |
| 5. どちらともいえない | |

問8. 問5から問7までの質問で、幸せを判断するときに重視したことは何ですか。
(次のうちから重視した順に3つまでお書きください。)

<回答欄 重視した順 ① _____、② _____、③ _____>

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 健康 | 2. 食生活 |
| 3. 住居 | 4. 家計(所得・消費) |
| 5. 家族との関係 | 6. 友人との関係 |
| 7. 職場の人間関係 | 8. 充実した余暇(趣味・社会貢献) |
| 9. 仕事(やりがいなど) | 10. 地域コミュニティとの関係 |
| 11. 政治・行政の状況 | 12. その他(_____) |



松阪市マスコットキャラクター
「ちゃちゃも」

問9. 市全般に関することについておうかがいします。

1. 公園や憩いの施設が整っている
2. 緑が比較的多く自然環境に恵まれている
3. 道路が整備されている
4. バスや鉄道など、公共交通の便が良い
5. 買い物が便利
5. 働く場所がある
7. 子育てや子どもの教育の環境が整っている
8. 保健・福祉施設が整っている
9. 文化・スポーツなどの施設が整っている
10. 医療施設、救急医療が整っている
11. 人と人とのつながりがある
12. 市政に参加する機会が多い
13. 治安が良い
14. 防災対策が進んでいる
15. 騒音などの公害が少ない
16. 歴史や伝統がある
17. 商業や事業を行うのに有利
18. 情報・通信が整備されている
19. 市の情報公開や情報提供が積極的
20. ごみが落ちていない
21. 観光資源が豊富
22. 食べ物がおいしい
23. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されている
24. 空気がきれい
25. その他 []
26. 特にない

1. 公園や憩いの施設が整っていない
3. 道路が整備されていない
5. 買い物が不便
7. 子育てや子どもの教育の環境が整っていない
9. 文化・スポーツなどの施設が整っていない
11. 人と人とのつながりが薄い
13. 治安が悪い
15. 騒音などの公害が多い
17. 商業や事業を行うのに不利
19. 市の情報公開や情報提供が消極的
21. 観光資源が貧弱
23. 交通マナーが悪い
25. その他

2. 緑が少なく自然環境に恵まれていない
4. バスや鉄道など、公共交通の便が悪い
6. 働く場所がない
8. 保健・福祉施設が整っていない
10. 医療施設が整っていない
12. 市政に参加する機会が少ない
14. 防災対策が遅れている
16. 歴史や伝統がない
18. 情報・通信が整備されていない
20. ごみが落ちている
22. 食べ物がおいしくない
24. 上下水道やごみ処理など、生活に基本となる施設が整備されていない
26. 特になし

問 10. 松阪市の政策に対し、あなたの気持ちに最も近いものを（１）～（３２）の項目について、満足度、重要度でそれぞれ１つずつ選んで、○をつけてください。

	満 足 度					重 要 度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない あまり重要	重要でない
（１）地震や台風などの災害に強いまちづくり（防災対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（２）交通事故のないまちづくり（交通安全対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（３）犯罪をなくし、安全で安心して暮らせるまちづくり（防犯対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（４）快適に暮らせる地域づくり、中心市街地の賑わいをつくるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（５）安全で快適に利用できる道路づくり、津波など災害に強い海岸の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（６）地域の路線バスの充実とバス路線のない地域の移動手段の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（７）安全で安心しておいしく飲むことができる水の提供（上水道の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（８）生活排水や雨水を適切に処理し、浸水に強いまちづくり（下水道の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（９）市営住宅など、安全で快適に生活できる住まいづくり（住環境の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１０）気軽に利用できる憩いの場としての公園や緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１１）森林や河川・海など豊かな自然を守っていく取り組み（自然環境の保全）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１２）ごみを減らしたり、ごみを再利用する取り組み（廃棄物（ごみ）対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１３）元気に楽しく暮らせるよう年齢層に応じた健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１４）どこでも、いつでも安心して病院や診療所にかかれる取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１５）お年寄りの方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１６）障がいを持つ方が住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１７）子どもたちがのびのび育つ環境づくり（児童・家庭福祉の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１８）子どもたちが安心して教育を受けられる環境づくり（学校教育の充実）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
（１９）生涯にわたる学習環境とその成果を生かせる環境づくり（生涯学習の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	重要	やや重要	ふつう	でない あまり重要	重要でない
(20) 地域の伝統芸能や芸術文化を生かしたまちづくり（文化活動の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 地域の特色を生かした農林水産業の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 魅力的な商店街づくりや中小企業の支援など地域の産業を育てる取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 地域の文化や歴史を生かした観光政策や観光客の誘致の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(25) 働く人がいきがいをもって働ける魅力ある環境づくり（雇用・勤労者対策）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 人権が尊重され、安心して幸せに暮らせるまちづくり（人権の尊重）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 男性と女性が対等の立場で個性と能力を発揮できる社会づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) すべての人が安全で安心して生活できるバリアフリー社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 市民と行政との協働を推進するまちづくり（市民参加の推進）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 外国人住民にも暮らしやすいまちづくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 市民生活の利便性を高める情報通信社会の取り組み（情報・通信の整備）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) 市の情報公開や情報提供を積極的に行う行政体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 11. あなたは松阪市の政策に対して、総合的にみてどのように感じていますか。

（〇は1つだけ）

1. 満足 2. やや満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満

問 12. あなたは松阪市の総合計画「市民みんなの道標^{みちしるべ}～未来につなげるまちづくり計画～」

を知っていますか。（〇は1つだけ）

1. 知っている 2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない 3. 知らない

問1 3. まちづくりに関することについておうかがいします。

- ① 松阪市では、現在、住民協議会※を核とした地域主体のまちづくりに取り組んでいます。
あなたのお住まいの地区住民協議会を知っていますか。(〇は1つだけ)

1. 知っている 2. 聞いたことはあるがくわしくは知らない 3. 知らない

- ② あなたのお住まいの地区住民協議会の活動に期待することは何ですか。
(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 防災、防犯、交通安全等に関すること | 2. 福祉、健康づくり等に関すること |
| 3. 環境美化、環境保全等に関すること | 4. 住環境整備に関すること |
| 5. 歴史、文化、伝統継承に関すること | 6. 産業振興等に関すること |
| 7. 地区住民の交流または連帯に関すること | 8. 地区の団体育成に関する事業 |
| 9. 他の地区との交流または連携に関すること | 10. 特になし |

- ③ あなたのお住まいの地区住民協議会のまちづくり活動に参加していますか。
(〇は1つだけ)

1. 積極的に参加している 2. ときどき参加している 3. 参加していない

- ④ あなたは市民活動にどのような方法で参加したいと思いますか。(1)～(11)の項目について1つずつ選び〇をつけてください。

	参 加 方 法				
	ボランティア活動を通じて独自に活動したい	住民協議会の活動に参加したい	市の計画策定や市の活動に参加したい	行政やNPO、専門家などに一任したい	特に参加したいとは思わない
(１) 福祉の増進を図る活動	1	2	3	4	5
(２) 青少年の育成活動	1	2	3	4	5
(３) 地域の安全に関する活動	1	2	3	4	5
(４) スポーツ・文化・芸術に関する活動	1	2	3	4	5
(５) 地域の伝統や祭り等に関する活動	1	2	3	4	5
(６) 環境の保全を図る活動	1	2	3	4	5
(７) まちづくりに関する活動	1	2	3	4	5
(８) 災害時などの救援活動	1	2	3	4	5
(９) 地域で取り組む子育て支援活動	1	2	3	4	5
(１０) 国際交流・協力に関する活動	1	2	3	4	5
(１１) 観光や地域産業の振興に関する活動	1	2	3	4	5

※住民協議会とは、地域において活動する様々な団体（自治会、老人会、PTA など）が1つのテーブルにつき地域の身近な課題について話し合い取り組む組織です。

① あなたは市役所が発信する情報を主にどのような方法で取得していますか。

1. テレビ・ラジオ
3. 松阪市ホームページ
5. 広報紙
7. 電話
9. パンフレット

2. 新聞
4. 行政情報番組（ケーブルテレビ）
6. 自治会などの回覧・掲示板
8. 市役所窓口
10. その他（ ）

1. テレビ・ラジオ
3. 松阪市ホームページ
5. 広報紙
7. 市役所窓口
9. その他（

2. 新聞
4. 行政情報番組(ケーブルテレビ)
6. 自治会などの回覧・掲示板
8. パンフレット

最後に 市政に対するご意見などございましたら、ご記入ください。

10月5日（金）までに、郵便ポストに投函してください。

- 94 -

□ 資 料

一 満足度・重要度評価得点推移表 一

項目 番号	施策項目	満 足 度			重 要 度		
		H17年	H21年	H24年	H17年	H21年	H24年
1	防災対策の整備	2.57	2.70	2.61	4.31	4.33	4.49
2	交通安全対策の整備	2.60	2.50	2.47	4.19	4.28	4.35
3	防犯対策の整備	2.55	2.78	2.74	4.29	4.36	4.38
4	市街地・拠点等の整備	2.80	2.39	2.42	3.56	3.76	3.72
5	道路・港湾等の整備	2.75	2.79	2.40	3.91	3.97	4.37
6	公共交通の整備	2.68	2.30	2.37	3.87	3.83	3.87
7	上水道の整備	3.24	3.37	3.47	3.88	4.08	4.14
8	下水道の整備	2.68	2.93	2.96	4.05	3.95	3.97
9	住環境の整備	2.99	2.97	3.00	3.72	3.29	3.29
10	公園・緑地の整備	2.90	3.05	3.11	3.62	3.49	3.45
11	自然環境の保全	3.09	2.94	2.98	4.09	3.87	3.76
12	廃棄物(ごみ)対策の整備	2.84	2.97	3.10	4.11	4.02	3.90
13	健康づくりの推進	－	2.88	2.97	－	3.65	3.62
14	保健・医療の推進	3.01	2.83	2.99	4.08	4.37	4.29
15	高齢者福祉の推進	2.87	2.87	2.94	4.00	4.04	4.00
16	障がい者福祉の推進	2.83	2.76	2.80	3.92	4.04	4.04
17	児童・家庭福祉の推進	2.86	2.79	2.89	3.85	4.13	4.16
18	学校教育等の充実	2.88	2.87	2.93	4.10	4.17	4.18
19	生涯学習の推進	2.96	2.85	2.93	3.46	3.60	3.61
20	文化活動の推進	2.96	3.00	3.01	3.43	3.34	3.31
21	スポーツ・レクリエーションの振興	2.94	2.88	2.95	3.30	3.30	3.22
22	農林水産業の振興	2.86	2.87	2.92	3.51	3.56	3.50
23	商工業の振興	2.82	2.45	2.57	3.58	3.85	3.78
24	観光の振興	2.78	2.66	2.75	3.51	3.60	3.61
25	雇用・勤労者対策	2.56	2.43	2.57	3.99	4.15	4.08
26	人権の尊重	2.93	2.88	2.93	3.68	3.79	3.81
27	男女共同参画社会の形成	2.91	2.89	2.94	3.36	3.56	3.58
28	バリアフリー社会の推進	2.65	2.66	2.74	3.90	3.94	3.92
29	市民参加の推進	2.89	2.76	2.87	3.37	3.60	3.50
30	国際化の推進	2.83	2.87	2.95	3.25	3.27	3.14
31	情報・通信の整備	2.91	2.87	2.91	3.62	3.47	3.48
32	情報公開・情報提供	2.82	2.78	2.94	3.63	3.79	3.66
平均		2.84	2.80	2.85	3.78	3.83	3.82

(注)平成17年調査では「健康づくりの推進」が対象項目に無かったため、31項目の平均としています。

－ 地区別満足度評価得点表 －

施策項目	市全体	本庁管内	嬉野管内	三雲管内	飯南管内	飯高管内
(1)防災対策の整備	2.61	2.63	2.59	2.33	2.71	2.73
(2)交通安全対策の整備	2.47	2.43	2.48	2.60	2.78	2.70
(3)防犯対策の整備	2.74	2.69	2.77	2.87	3.13	2.89
(4)市街地・拠点等の整備	2.42	2.36	2.59	2.63	2.57	2.54
(5)道路・港湾等の整備	2.40	2.41	2.39	2.16	2.41	2.69
(6)公共交通の整備	2.37	2.39	2.39	2.27	2.35	1.94
(7)上水道の整備	3.47	3.48	3.36	3.48	3.53	3.51
(8)下水道の整備	2.96	2.92	3.12	3.02	3.16	3.05
(9)住環境の整備	3.00	2.99	3.04	3.10	2.94	2.97
(10)公園・緑地の整備	3.11	3.16	3.02	2.89	2.94	3.05
(11)自然環境の保全	2.98	2.98	3.03	3.00	2.78	3.00
(12)廃棄物(ごみ)対策の整備	3.10	3.09	3.18	3.06	3.16	2.97
(13)健康づくりの推進	2.97	2.97	2.97	3.00	3.14	2.95
(14)保健・医療の推進	2.99	2.99	3.04	2.99	2.97	2.81
(15)高齢者福祉の推進	2.94	2.93	3.03	2.91	2.84	2.89
(16)障がい者福祉の推進	2.80	2.78	2.86	2.87	2.84	2.84
(17)児童・家庭福祉の推進	2.89	2.86	2.97	2.92	3.13	3.08
(18)学校教育等の充実	2.93	2.90	2.97	2.99	3.05	3.11
(19)生涯学習の推進	2.93	2.90	2.99	3.02	2.95	3.11
(20)文化活動の推進	3.01	3.00	3.04	3.06	3.08	3.03
(21)スポーツ・レクリエーションの振興	2.95	2.92	3.04	3.02	3.17	2.89
(22)農林水産業の振興	2.92	2.91	2.90	3.02	2.88	2.89
(23)商工業の振興	2.57	2.54	2.63	2.75	2.55	2.74
(24)観光の振興	2.75	2.74	2.79	2.78	2.85	2.66
(25)雇用・勤労者対策	2.57	2.57	2.64	2.57	2.39	2.35
(26)人権の尊重	2.93	2.91	3.03	2.95	2.94	2.97
(27)男女共同参画社会の形成	2.94	2.91	3.11	2.97	2.94	2.89
(28)バリアフリー社会の推進	2.74	2.72	2.78	2.71	2.91	2.83
(29)市民参加の推進	2.87	2.86	2.92	2.93	2.76	2.86
(30)国際化の推進	2.95	2.94	2.96	3.01	3.06	2.85
(31)情報・通信の整備	2.91	2.90	2.89	2.95	2.77	2.97
(32)情報公開・情報提供	2.94	2.94	2.97	3.00	2.86	2.80

－ 地区別重要度評価得点表 －

施策項目	市全体	本庁管内	嬉野管内	三雲管内	飯南管内	飯高管内
(1)防災対策の整備	4.49	4.46	4.57	4.60	4.47	4.57
(2)交通安全対策の整備	4.35	4.35	4.39	4.39	4.41	4.19
(3)防犯対策の整備	4.38	4.39	4.42	4.44	4.27	4.19
(4)市街地・拠点等の整備	3.72	3.75	3.62	3.67	3.54	3.73
(5)道路・港湾等の整備	4.37	4.35	4.41	4.64	3.95	4.25
(6)公共交通の整備	3.87	3.85	3.92	3.84	3.89	4.24
(7)上水道の整備	4.14	4.16	4.15	3.97	4.08	4.19
(8)下水道の整備	3.97	3.97	3.99	4.00	4.03	3.95
(9)住環境の整備	3.29	3.29	3.31	3.26	3.22	3.33
(10)公園・緑地の整備	3.45	3.44	3.55	3.48	3.19	3.49
(11)自然環境の保全	3.76	3.72	3.83	3.72	3.92	4.19
(12)廃棄物(ごみ)対策の整備	3.90	3.89	3.93	3.89	3.86	4.00
(13)健康づくりの推進	3.62	3.61	3.63	3.69	3.58	3.86
(14)保健・医療の推進	4.29	4.30	4.27	4.21	4.19	4.30
(15)高齢者福祉の推進	4.00	4.00	3.95	3.95	4.05	4.16
(16)障がい者福祉の推進	4.04	4.04	4.07	3.99	4.00	4.11
(17)児童・家庭福祉の推進	4.16	4.15	4.26	4.10	4.08	4.27
(18)学校教育等の充実	4.18	4.19	4.17	4.11	4.05	4.35
(19)生涯学習の推進	3.61	3.62	3.59	3.60	3.59	3.76
(20)文化活動の推進	3.31	3.32	3.24	3.36	3.35	3.28
(21)スポーツ・レクリエーションの振興	3.22	3.23	3.27	3.14	3.20	3.11
(22)農林水産業の振興	3.50	3.48	3.50	3.54	3.74	3.54
(23)商工業の振興	3.78	3.80	3.73	3.70	3.68	3.78
(24)観光の振興	3.61	3.63	3.58	3.45	3.38	3.61
(25)雇用・勤労者対策	4.08	4.06	4.09	4.04	4.24	4.31
(26)人権の尊重	3.81	3.81	3.95	3.78	3.66	3.53
(27)男女共同参画社会の形成	3.58	3.56	3.66	3.56	3.68	3.58
(28)バリアフリー社会の推進	3.92	3.94	3.89	3.98	3.77	3.94
(29)市民参加の推進	3.50	3.48	3.49	3.46	3.85	3.63
(30)国際化の推進	3.14	3.15	3.11	3.03	3.38	3.17
(31)情報・通信の整備	3.48	3.45	3.60	3.49	3.66	3.58
(32)情報公開・情報提供	3.66	3.63	3.77	3.75	3.68	3.69

－ 施策項目別ニーズ得点表 －

No	施策項目	ニーズ得点	
1	防災対策の整備	15.38	☆
2	交通安全対策の整備	15.60	☆
3	防犯対策の整備	14.45	☆
4	市街地・拠点等の整備	13.62	
5	道路・港湾等の整備	15.99	☆
6	公共交通の整備	14.36	☆
7	上水道の整備	10.29	
8	下水道の整備	12.13	
9	住環境の整備	9.96	
10	公園・緑地の整備	9.96	
11	自然環境の保全	11.37	
12	廃棄物(ごみ)対策の整備	11.24	
13	健康づくりの推進	11.01	
14	保健・医療の推進	12.96	
15	高齢者福祉の推進	12.31	
16	障がい者福祉の推進	13.01	☆
17	児童・家庭福祉の推進	13.00	
18	学校教育等の充実	12.90	
19	生涯学習の推進	11.14	
20	文化活動の推進	9.89	
21	スポーツ・レクリエーションの振興	9.90	
22	農林水産業の振興	10.86	
23	商工業の振興	13.22	
24	観光の振興	11.90	
25	雇用・勤労者対策	14.25	☆
26	人権の尊重	11.79	
27	男女共同参画社会の形成	11.04	
28	バリアフリー社会の推進	12.98	☆
29	市民参加の推進	11.02	
30	国際化の推進	9.66	
31	情報・通信の整備	10.85	
32	情報公開・情報提供	11.22	
平 均		12.17	

(注) ☆は最重点項目(8項目)

－ 施策項目別ニーズ得点表（高い順） －

順位	施策項目	ニーズ得点	
1	道路・港湾等の整備	15.99	☆
2	交通安全対策の整備	15.60	☆
3	防災対策の整備	15.38	☆
4	防犯対策の整備	14.45	☆
5	公共交通の整備	14.36	☆
6	雇用・勤労者対策	14.25	☆
7	市街地・拠点等の整備	13.62	
8	商工業の振興	13.22	
9	障がい者福祉の推進	13.01	☆
10	児童・家庭福祉の推進	13.00	
11	バリアフリー社会の推進	12.98	☆
12	保健・医療の推進	12.96	
13	学校教育等の充実	12.90	
14	高齢者福祉の推進	12.31	
15	下水道の整備	12.13	
16	観光の振興	11.90	
17	人権の尊重	11.79	
18	自然環境の保全	11.37	
19	廃棄物(ごみ)対策の整備	11.24	
20	情報公開・情報提供	11.22	
21	生涯学習の推進	11.14	
22	男女共同参画社会の形成	11.04	
23	市民参加の推進	11.02	
24	健康づくりの推進	11.01	
25	農林水産業の振興	10.86	
26	情報・通信の整備	10.85	
27	上水道の整備	10.29	
28	住環境の整備	9.96	
29	公園・緑地の整備	9.96	
30	スポーツ・レクリエーションの振興	9.90	
31	文化活動の推進	9.89	
32	国際化の推進	9.66	
平 均		12.17	

(注) ☆は最重点項目(8項目)

自由意見のまとめ（P74 参照）

自由意見については、1,301 人の回答者のうち、418 人から回答が得られました。

この意見について、類似のものはまとめ、文言の整理をしたうえで主なものを項目別に記載します。

1. 医療・福祉【いのちや痛みに関わることを大切にするまちづくり】

（1）保健・医療

- ・最近、診療科の細分化が激しく、かかりつけ医では対応していただけないのが不安である。総合病院での紹介状なしの受診でも料金をとらないようにしてほしい。
- ・肥満外来をつくってほしい。
- ・がん治療に力を入れてほしい。
- ・人工透析患者に対して、病院の都合で市外の病院へ通院している者へもタクシー券の助成をしてほしい。
- ・晩婚化や初産年齢が上がっているのも、その対策に力を入れてほしい。
- ・救急医療体制の充実を望む。夜間に市内の病院で救急医療が受けられず、市外の病院を案内されたことがあり今後に不安がある。
- ・歯に関して、インプラントも小額でできるようにしてほしい。

（2）市民病院

- ・時間外の医療を充実してほしい。
- ・駐車場を増やしてほしい。

（3）健康づくり

- ・健康増進に税金をもっと投入してほしい。
- ・誰もが健康増進、維持ができるようスポーツクラブ利用者に対する助成をしてほしい。
- ・健康が幸せの第一、家族等が健康であることが大切である。

（4）高齢者福祉

- ・わずかな年金では高額な施設に入れない。市立の老人ホームをつくってほしい。
- ・一人暮らしの高齢者でもお金があり豊かな暮らしをしている方に弁当を配るのは無駄である。
- ・介護認定を受けられずに頑張っている高齢者に、バスの割引券や灯油の無料配達、買い物支援などを行ってほしい。
- ・一人暮らしの高齢者のために、インターネットや無線・有線放送などで相互のやりとりができるようにしてほしい。
- ・高齢者にやさしい町になればいい。病院に行っても、ここに手すりがあればいいと思うことがある。
- ・介護施設の職員の教育が一番大切。処遇も向上させてほしい。
- ・一人暮らしの高齢者にとって、町費や自治会費の負担は大きい。

- ・敬老の日の食事の配達、高齢者の状況を調査した上で配らないと食べられないものが多い。高齢者の実態調査も兼ねて、宅配業者が配るのではなく市の職員が配ったらい。
- ・高齢者に人間ドックの補助金を出してほしい。
- ・老後も安心して暮らせる町にしたい。
- ・介護施設の乱開発は、介護の質を低下させる原因になる。

(5) 障がい者福祉

- ・障がい者が便利に利用できる安価なバスを走らせてほしい。
- ・視覚障がい者が住みやすく、災害時の安全対策がとられているまちづくりをしてほしい。
- ・障がい者のタクシー券を増やしてほしい。
- ・障がい者が働きやすく、自立した社会をめざしていただきたい。
- ・今度、小学生になる障がい児の母ですが、地元の小学校へ見学に行ったときに、職員の対応でとてもつらい思いをしたことから見学のあり方を考えてもらいたい。

(6) 福祉一般（地域福祉）

- ・医療や社会保障など、みんながわかる福祉にしたい。
- ・子どもや高齢者が安心して暮らせるまちづくりをしてほしい。社会保障を中心に財政を考えてほしい。

(7) 社会保障（年金・生活保護）

- ・一人暮らしの高齢者で年金も5万円以下である。買い物や食生活について考えてほしい。
- ・年金額を上げてほしい。
- ・生活保護について厳正な審査をお願いしたい。また、給付水準の見直しをお願いしたい。
- ・将来年金をきちんと受けられるかどうか大変不安である。

2. 子育て・教育【日本一子育てと子育てができるまちづくり】

(8) 児童・家庭福祉

(8)－1 子育て支援

- ・子どもがたくさんいて良かったと思えるような子育て支援をしてほしい。
- ・子育てに関する情報や支援、教育などを充実させてほしい。
- ・子ども医療費助成制度の所得制限をなくしてほしい。児童手当の所得制限は理解できるが、医療費については子ども一人ひとりと見て全員に助成すべきではないか。
- ・子ども医療費は、後日還付するのではなく医療機関の窓口での支払いをなくしてほしい。
- ・高校卒業まで、医療費と学費の補助をしてほしい。
- ・自営業者にとって、日曜祝日に子どもを預けるところが近くになく困っている。
- ・妻が育児休暇取得中に解雇された。もっと子育てをしている人が働きやすい環境になってほしい。

(8)－2 保育園・幼稚園

- ・保育料が高い。
- ・子育て支援センターに毎日のように行き、とても楽しくいろいろなことが相談できとても助かった。
- ・公立幼稚園の3年保育実施園を増やすべきである。
- ・保育園の入園が必ずできるよう保育士の確保をしてほしい。

(8)－3 その他

- ・日本一子育てしやすい町をめざしてください。
- ・子育て支援センターやモグモグ教室を活用させてもらい本当に助かっている。これからも子どもを産みたくなるような市政をめざしてもらいたい。

(9) 学校教育等

(9)－1 教育・指導

- ・挨拶ができない子ども達が多い。登下校中に無言で通り過ぎると寂しくなり元気がない町に感じる。人と人のつながりを作るためにも挨拶ができる教育をしてほしい。
- ・そろばんや習字などを安価で教えてくれる場所を各地域につくってほしい。地域との関わりやいろいろな学年の子ども達と接する機会にもなる。
- ・全国学力テストの結果が三重県はいつも低い。対策をしてほしい。
- ・国旗、国歌をちゃんと教育すべきである。
- ・中学校での1クラス35人の少人数学級を早急に実施してほしい。
- ・もっと子ども達が「自ら学ぶ学校教育」にしてほしい。そうでないと、10年後20年後はますます外国との差がついてしまうのではないかと心配である。
- ・いじめのない学校づくりへの取組に力を入れて、「松阪市の学校ではいじめはありません。」と言い切れるくらいにしてほしい。
- ・本居宣長、竹川竹斎、松浦武四郎、大谷嘉兵衛、三井、長谷川、小津家など地域の歴史とすぐれた人を小学校で学ばせてほしい。そうすることで、地元への愛着と尊敬できる人が身近に感じられる。
- ・頼りがいのある先生が忙しすぎてゆっくり話しができない。若い先生を育てたり数を増やすなどしてほしい。

(9)－2 学校給食

- ・仕事を持つ母として中学校での弁当持参をさせるのは大変である。中学校給食の実現をお願いしたい。

(9)－3 教育施設

- ・空調設備など子ども達が学習しやすい環境を整えてほしい。
- ・学校で子ども達が使っている机は高価な上、重くて子ども達には扱いにくい。また、体の大き

さに合わせた調整ができない。地場産業のためとはいえ他の施設や設備の充実にお金を使うべき。

(9) - 4 その他

- ・子ども達が安心して登下校できるようにしてほしい。
- ・小中学校の統廃合によるバス通学により、地域の方との挨拶が少なくなっていることは悲しい。
- ・学校が崩壊しているように思える。何かもっと子ども達が熱中できるものや生きがいを見つけられるような学校をつくってほしい。
- ・児童虐待やいじめについて近隣の住民が気づいたら、すぐに通報して事件を未然に防げるよう、市役所の中に通報できる部署を設けてほしい。
- ・特に中学校について3学期制にしてほしい。勉強しない子どもが増えていく。
- ・学童保育の充実をお願いします。
- ・市が行っている活動を学生が知る機会があれば嬉しい。

(11) 文化活動・文化施設

- ・文化の“谷”の松阪を文化の“頂き”に！
- ・松阪市は文化的、芸術的催しをもう少し充実させてほしい。
- ・飯高管内には図書館がないので検討してもらいたい。
- ・松阪公園（松坂城跡）を使った文化行事をしてほしい。
- ・映画館をつくってほしい。三雲管内に大きな図書館をつくってほしい。
- ・松阪市立図書館について、蔵書を増やすとともにDVDやインターネットを含めたマルチメディアセンターとしての施設整備をお願いしたい。
- ・長谷川邸や原田邸の管理費用の問題とどのように向き合うのか。本居宣長という大きな財産とともに、観光面も併せてそのあり様を考えて大切にしていかなければならない。

(12) スポーツ・レクリエーション

- ・年齢に関係なく近くで遊べる場がほしい。高齢者が歩いて行ける運動場を各地区に借りて、気軽に遊べておしゃべり等で楽しい半日が過ごせたら最高である。
- ・三雲管内に野球場とグラウンドをつくってほしい。
- ・松阪市の子ども達はスポーツで優秀な成績をあげてくることが多いようだが、それに対して市からの支援がとても少ない。せっかく遠い所へ行った大会などで良い成績を残してきてもあまり評価されていない。もう少し子ども達のスポーツへの支援などに力を入れてほしい。

3. 連携と交流【市民とつくるまちづくり】

(13) 市民参加

- ・私たちが住んでいる地区は10年もしたら高齢者ばかりになり心配である。住民協議会の活動として取り組んでいただきたい。
- ・地域で何かしようとするのは本当に大変である。とにかく協力者が出てこない。子ども会も自治会も年々衰退していく。郷土愛や愛国心がない。これは戦後教育のなかででき上がってきた

日本人の心なのであろうか。

- ・地域に住む人同士の関係が薄いので、交流を行ったり、「あいさつ運動」をしたりすべき。
- ・市が本来すべき業務を、強制的に設立させた住民協議会にさせようとしている。そのため、住民協議会は「人的」「金銭的」な負担が増大している。この体制を継続するのであれば「交付金、補助金」等で住民協議会の負担を軽減すべきである。また、市役所を退職した職員が住民協議会にほとんど協力していない。地域主体のまちづくりは本当にできるのか。
- ・自治会活動に無駄、不正、惰性等があり、住民のための自治会ではなく役員の益と自己満足の事業に成り下がっている。特に収支の不透明さ等は他言できないものがある。
- ・住民協議会がうまく運営されていない。
- ・今までどおりの自治会活動で十分であり、住民協議会は必要ない。
- ・自治会が活動できているようには思えない。地域住民の意見を汲み取れていない。
- ・いろいろなことに参加したいが、現実には仕事で休みが少なく自由になる時間が少ないので何もできない。
- ・人が人を動かすには、熱い気持ちと熱意が大切。それを訴えるリーダーシップが必要である。
- ・「人と人」、「地域と地域」、「団地と団地」など、いろいろな地域性を踏まえたコミュニケーションの場や情報交換の場があればもっと地域を高められるのではないか。
- ・住民の得意な分野を生かす地域での輪。ボランティアの育成をお願いする。
- ・合併後新しい松阪市民となり、広範囲による市民間の希薄感がある。今後は自主的に活動に参加してみたい。
- ・市民への情報は自治会などの回覧や掲示板だけではなく住民協議会を主軸とする。各自治会は月に1～2回の集会を持ち、市政情報と教育を兼ねた会合の場ができるよう指導してほしい。市は何をしようとしているか、どんな協力が必要なのか。要は、市政と市民の対話の場所として自治会を指導してほしい。市民の市政への参加は自治会が入口となる。
- ・住民協議会についてはあまり期待していない。
- ・住民協議会の立場が理解できない。将来この協議会が何を考え何をするのかといった「グランドデザイン」、はっきりした中長期計画目標等を提示していただきたい。
- ・画期的な施策の一つである地区住民協議会は興味ある企画です。各自治会からどんな知恵が出されるか楽しみにしている。
- ・行政も地域も一部の人間が活動しているようで、一般の市民はなかなか個人的には入れない状態である。
- ・ボランティア制度のなかに特典を設け、無償で何かをすれば特典になり将来介護とかヘルパーが必要なときに利用できるようにしたらどうか。もっと多くの人の参加で住みやすい松阪市になることを期待する。
- ・退職すれば地域が一番大切な場所になるため、これからは少しずつ情報を取り入れ、地域活動を理解し活動に参加できるように備えていきたい。

(14) 人権

- ・人権問題はあまり取り上げすぎるのも良くないのでは。話題に上げれば上がるほどいつまでたっても差別はなくなる。

- ・人権問題については、まったく進んでいない。

(16) 公共交通

- ・私の住む団地には周りにバス停がない。今は車があるので大丈夫だが高齢者になったとき移動に少し困る。公共交通をもっと充実させていただきたい。
- ・最近、公共交通機関（特にバス）がとても不便になった。タクシーを使って買い物をされている高齢者を見かけることもしばしばである。採算が合わないのかもしれないが車に乗らない人にとってバスは大切な移動手段である。もっと充実させて皆が利用しやすくするべき。そうすることでマイカーも減り環境にも良い。
- ・公共交通などで安価で利用できるようになるといい。

(17) 国際交流・多文化共生

- ・中国無錫市の交流会など、他国、他地域との交流を深めるべき。

(18) 観光

- ・伊勢市へ観光に訪れる人が、「松阪市にも一泊したいなと思えるような美しい街」になるといい。
- ・地域行事の継続振興をお願いする。
- ・松阪市の産物を中心とする名産品や料理を開発し全国へ発信する。そのコンテストをベルファームなどで毎年3日間くらい期間展開する。参加は応募とする。
- ・鈴の森又はベルファームのどちらかに冬場だけでも薬草入り等の足湯をつくってほしい。
- ・「松坂城公園」が国の史跡になっているので、観光地として清掃を以前のようにきれいにしていきたい。（他市にない情緒ある城を大切に守っていきたい。）
- ・県外から転居してきたが、県外の友人に「是非、松阪市に遊びに来てください。」と言いがたい。歴史のある街なのでもう少し観光客に魅力があると良い。
- ・町の楽しいイベントをたくさん開催してほしい。
- ・「行きたい街づくり」をしてほしい。

(19) 市街地・拠点等

(19)－1 中心市街地の活性化

- ・三交百貨店の跡地は駐車場のままなのか？駅西の再開発に力を入れていただき商業施設の誘致や市のコミュニティセンターなどの人の集まる施設を建設して、駅西の活気を復活してほしい。
- ・駅西周辺を活気ある場にしてほしい。若者も中高年も高齢者も「すべての年代が交流できるような街づくり」をお願いしたい。「休日は駅西へ行こう！」となるようにしてほしい。
- ・市内商店街の活性化への対策をお願いする。
- ・地域が儲けることを考えたい。松阪駅に市の中心となるモールをつくり、同時に駅前商店街を活発化すること。
- ・よりよく発展するためには外部から人を呼ばないといけない。例えば、松阪駅隣に「焼肉ビル」をつくり駅と直結すれば大盛況間違いないのではないかな。近隣の焼肉屋さんも大盛況になりか

なりの需要を見込めるはずである。

- ・松阪駅周辺の再開発。ベルタウンの活性化（焼肉専門店街など）などで、松阪の特性を活かした施設の有効利用をお願いしたい。
- ・駅西口はベルタウンが淋しい感じ。東口は駅舎そのものと周辺に活気がなくポイ捨ての空き缶やごみが多い。他所から来られた人が先ず「松阪ってこんな所か」と思われるのが残念。焼肉（ホルモン）の匂いがするだけでイメージダウンするのではないか。商人の町、本居さんの町が駐車場とマンションばかりでは、あまり将来に希望が持てない。何か良いプランをお願いしたい。

（１９）－２まちづくり（都市計画全般）など

- ・松阪市が将来どのようなまちづくりをめざしているのかわからない。
- ・市の都市計画をわかりやすく公開すること。松阪駅を中心とした将来的な計画をどう考えているか。高齢者の活動範囲を広げる交通網の整備をどうするのか。適正な高齢者施設をどう配置するか。
- ・まちづくりに一貫性がないように思う。滋賀県の長浜や名古屋の大須のような賑わいある商店街、町並みになれば良い。せつかく歴史ある町なのでそれを生かせたら良い。参宮街道を生かしたまちづくりができれば良い。

４．産業振興【市民や地域のいのちを支える産業を育てるまちづくり】

（２１）農林水産業

- ・ＪＡは各地区に農業を専門にする担い手さんがいる。休んでいる田畑を利用して若い人、定年後の男女が安全、安心できるような物づくりをめざす。指導員を確保し雇用につながる人づくり、物づくりを推進することを提案する。
- ・地域農業の活性化促進施策を行ってほしい。農業後継者の育成をしてほしい。農地保全対策をしてほしい。
- ・農業政策について、地主が耕作をせず他人に任せている農家がたくさんある。平成の農地改革を積極的に行い大農法のできる環境づくりを行ってほしい。土地だけにこだわる農家は淘汰し新規参入を推進してほしい。

（２２）商工業

- ・充実した商業施設もしくは既存の商業施設の活性化を望む。

（２３）雇用・勤労者対策

- ・雇用を安定させていただきたい。
- ・仕事ができる場所、働ける場所を多くして市の活性化を図っていただきたい。
- ・働く場所を増やすにはどうしたら良いか。企業誘致を真剣に考えていただきたい。まず労働環境を整備することが最重要だと思う。

5. 生活・環境【うるおいある快適なまちづくり】

(24) 交通安全対策

- ・松阪市は交通事故が多い。事故防止対策に力を入れるべきである。
- ・町内に路上駐車が多い。住民のモラルが低い。
- ・事故の起こった場所についてはしっかり対策をお願いしたい。また、歩道の整備等を進めることにより、良い結果に結びつけることができればそれだけで住みやすい町に変わる。
- ・基本道徳を住民をお願いしたい。特に交通マナー教育を充実させる。
- ・スピード違反の取締りを強化してほしい。高齢化が進むにつれ、横断歩道の歩行者の「青」の時間を長くする。切り替えた後の車の「青」との間隔を長くしていく必要がある。
- ・ボランティアグループがいろいろ調査し対策を考えていただいているので期待している。

(25) 防災対策

- ・防災のときに使えるよう市のツイッターなどがあれば、いつでも情報を見ることができるので便利である。
- ・災害時に備えて、町別の避難所までの経路及び危険箇所の地図などを、わかりやすく矢印等の表示で早急に作成して個人に配布してほしい。
- ・梅雨時、台風時に川の水が増えてダムを放流するため不安な時を過ごすことがある。
- ・災害のときに、障がい者が避難できる場所をつくってほしい。
- ・防災対策がどの程度進んでいるのか（学校も含む）。インターネット以外で一般市民がわかるような情報がほしい。
- ・津波対策として三渡川の堤防の補強をしてほしい。
- ・三雲地域において、津波発生や堤防決壊などの災害発生時に待機する場所（高台や高層建築物）が見当たらないのが現状でとても不安である。市が色々な状況を想定し、ハザードマップを作成し配布していただきたい。
- ・消防と連携していない防災システムが有効ではない。
- ・災害や火災の時、国道から市道に入るときに市道の入り口が狭いため、消防車等が大変入りづらい。少し広げれば大惨事になるのを防げる。拡幅工事を陳情しているが予算等でなかなか工事ができない。少しでも早くしてほしい。
- ・広報無線が聞こえにくい。（設置箇所が少ないのでは）
- ・各家に緊急時などの一斉放送がない。有料でも構わないので義務化していただきたい。
- ・子どもの通う保育園が海の近くで不安である。地震や津波対策を早く行ってほしい。
- ・防災の訓練を自治会で年に1度くらい計画してほしい。近所付き合いもなく、いざという時に不安である。
- ・町内をはじめ主要場所に海拔何mの標示と避難場所への誘導標識を早急に設置していただきたい。海辺の集落で海拔の標識は見たことがあるが住宅地域にも是非設置をお願いしたい。
- ・熊野市南部地方は各家庭に防災無線のラジオが1台ある。警報や断水、通行止め等の生活に関する情報は毎日ラジオを通じて入手できる。毎日夕方には「広報くまの」のスピーカー放送もある。家では子どもがDVDや録画TVを見ていることが多いので、ニュース速報や警報等をリアルタイムで知ることが難しい状況である。今後、地震発生も近いと言われるなか、不安が

あるので各家庭に防災無線ラジオを置くことはできないか願います。

- ・定期的に避難訓練を実施してほしい。
- ・災害時などに情報が即時にすみずみまで行き渡るようにしてほしい。

(26) 防犯対策

- ・子どもも大人も安心して暮らせるよう治安を良くしてほしい。環境整備をしてほしい。
- ・外灯を増やし、暗い、寂しい、恐い、をなくしてほしい。
- ・24時間営業の店をなくすことができないだろうか。

(27) 環境

- ・環境保全の推進をお願いする。
- ・悪臭（住宅地での豚飼育）を何とかしてほしい。
- ・車が多く、街中には緑が少ないので息苦しさをを感じる。
- ・今年の夏も緑のカーテンをつくり、クーラーの使用を控え節電に取り組んだ。しかし、窓を開けていると農家の方々が草を焼いたその煙が入ってくるので窓を閉めてクーラーの使用を余儀なくされた。農家の方々には、事業者としての自覚と環境問題への理解と啓発を望む。
- ・震災がれきの受け入れについて、今後、松阪市を含め多気町など近隣町、そして三重県で燃やされるともはや三重県の食について不安でしかない。安心できる食べ物が食べられる松阪市であってほしい。がれき受け入れによる地域の農業などの産業への打撃も心配である。

(28) 廃棄物（ごみ）対策

- ・資源ごみについて、月に1度では大変である。全地区で月2回になれば便利である。
- ・ごみ置場がきたないのと資源ごみをもっとみんなが捨てやすくする環境を整えるべきである。
- ・プラスチックごみの回収を週1回にしてほしい。分別したくてもごみを置いておくスペースがない。
- ・資源ごみの日を増やしてほしい。家から出るごみはほとんどが資源ごみである。
- ・道路わきへのごみの投げ捨てが相変わらず多い。夜間、放棄しやすい場所などのパトロール対策などをお願いしたい。
- ・海にソファなど捨てられている。川からいろいろなごみが流れてきて、浜はごみだらけである。ごみのポイ捨て禁止運動をもっとしてほしい。
- ・タバコ、空き缶などポイ捨て禁止条例を制定してほしい。
- ・野良猫が多く庭の中を荒らして糞をしていく。自治会に相談しても対処の仕様がいないとのことなので、保健所などで犬と同様に駆除してもらえないか。

(29) 道路・港湾等

(29) - 1 道路整備

- ・通学路の見直し（歩道の確保）に力を入れてほしい。
- ・過疎地域でも、災害などで道が通れなくなった場合、一人でも住んでいればすぐに修繕してほしい。

- ・市道の草が繁茂している箇所が見られる。特に通学路等の除草をお願いしたい。
- ・歩行者、自転車が通行しやすい道路の整備を求める。
- ・ケヤキの街路樹が大きくなり、落葉の季節を迎えて周辺の車道、歩道、住宅、アパートの土地等に飛散している。心配されることは、大水のときに道路排水口のグレーチングに葉が詰まって道路に水がたまる。もう一つは、建物の屋根に飛散して樋にたまり詰まる。樹高を5m以内に剪定できないか。
- ・学校の近くだけでも道路の白線を引きなおしてほしい。
- ・道路が整備されていない。渋滞のできない道づくりをしてほしい。
- ・3月くらいになると、あちらこちらで工事をするのはやめてほしい。本当に必要な工事なら3月に集中しなくてもできる。

(29) ー 2 河川・港整備

- ・川の流れをもう少し良くして台風の時などに対応できたら良い。ため池となっている所が水抜きをしていただいたので安心している。
- ・部分的に壊れている堤防の補修をお願いする。

(30) 住環境

- ・市営住宅に住んでいるが、買い物に行くのも遠く重いものも持てない。毎月1回団地の掃除があり1000円が必要であり、私にとっては市営住宅に住んでいるのが苦痛である。

(31) 公園・緑地

- ・コンビニエンスストアばかり増えているのが気になる。もっと市民がくつろぐことのできる公園やカフェなどができる方が良い。
- ・公園の整備をお願いしたい。雑草が茂っている公園がある。小さい子どもを遊ばせることができない。
- ・新総合公園をつくるならば早く完成してほしい。
- ・自宅で犬を飼っていますが、散歩するとき、車や自転車、歩行者に気をとられ、伸び伸びできない。市内で一つ広々とした動物のための公園をつくっていただきたい。
- ・子どもが遊べる大きな公園を増やし遊具を増やしてほしい。小さい公園はあるが雑草がはえて寂れている。

(32) 上水道

- ・水道代が高い。

(33) 下水道

- ・農村部の下水処理を早急をお願いしたい。
- ・下水道の整備を早急に期待している。
- ・下水道がなく水洗トイレにできない。トイレ改装をするなら洋式汲み取りトイレではなく水洗にしたい。

- ・下水道料金が安い。

6. 行政経営【市民目線の行政経営】

(34) 行政・財政運営

- ・生活保護費を精査して福祉、医療に対する予算を考慮し、弱者にやさしいまちづくりをしていただき税金を大切に使ってほしい。
- ・市役所前にある借金時計はリアルタイムで状況がわかりいいと思う。
- ・住民協議会も良い試みだが何もかも住民に丸投げしているようにも感じる。医療、福祉の面ではきちんと行政として対応してほしい。高齢者になっても安心して暮らせる町であってほしい。
- ・行政（官）と民のバランスが崩れてきていて、民間力に任せての市政運営が意外に多く見られているような感覚がある。官と民のパワーバランスを考えながら市政の運営をお願いしたい。
- ・国の赤字を国民が穴埋めするようなことがないよう、使途不明金がないよう無駄を省いてクリーンな市であることを願う。
- ・税金の無駄使いをしないでいただきたい。
- ・各企画、講演会などは立派な形式ですが、参加者の意見や発言を聴く機会を必ず設定し得ることから実行していく。発言者に対して結果報告をしていくこと。
- ・自治基本条例に対するパブリックコメントへの返答について誠意が感じられない。自分たちの思いどおりに誘導しているようにしかみえない。
- ・まちづくり協議会が設立されたが、本来まちづくりビジョンは市が予算化して推進していくべき大きな課題である。現在まちづくり協議会でまちづくりプランの策定をと言っているが、予算も権限もないところでの実行である。市は、資源を持たないまちづくり協議会を理解してもらって具体化できる支援をするべきである。
- ・松阪市の借金を減らしていただきたい。
- ・市職員及び市長の給与水準を20%程下げるべき。市議会議員を半減する。
- ・市の仕事を減らし、人員を減らして市の財政を立て直してほしい。子ども達に負の財産を残さないようにしていただきたい。
- ・必要なものと不要なものをしっかり選定してほしい。
- ・市の支出を抑制するには予算の使い切りをしない。予算を立てて使い切るのではなく、少しでも残して次の予算に回すことが大事。多く節約できた人ほど評価することが望ましい。
- ・多くの声があるが、それでも適切な判断ができる体制をお願いしたい。

(35) 市職員

- ・職員さんの対応があまり良くない。服装もジーパンをはいている職員もいる。たまたまでしょうか。
- ・公務員削減も必要かと思うが、あまりに人員が減るとサービスの低下や公務員の方の余裕がなくなるなど影響も考えてもらいたい。
- ・市役所に行くと職員の多さに驚く。市役所はリストラがないので、一度採用してしまえば人は減らせない。市が赤字ならリストラするか減給にすべきである。
- ・市役所の窓口の人の対応が丁寧で親切なのが気に入っている。市民は、事務処理などわからない

いことが多くあることからこれからも続けてほしい。

- ・臨時職員が多すぎる。職員の稼働率が低い。費用対効果を考慮して無駄な部署、団体を整理すべきである。
- ・各地域振興局の職員配置が地域事情を知らない他地区の職員がほとんどで、本庁や他の地域に配転されている。地域に詳しい職員は数少ない。これでは今回の調査の意義に反している。せめて係長以上は地元の職員を配置（6割程度）して、地域に即した幸せな地域振興につなげてほしい。
- ・話を聞いてもちゃんとした返事がない。「どこですか」と聞いても知らん顔で話をしていた人たちがいる。
- ・市民へのサービスや情報伝達がわかりやすく伝わりやすいよう工夫し、窓口サービスなどを充実してほしい。
- ・松阪市職員採用時には平等及び公平に考慮することを望む。
- ・「市職員がボランティアで住民協議会等に支援」との新聞記事を拝見。一部の職員だけではなく全職員が地域活動に積極的に参加する心構えを求めた職員教育をお願いしたい。
- ・行政、役所は最大にして最高のサービス産業であってほしい。そうあるべき。職員は公僕であることを忘れていない。
- ・市役所裏に設置してある喫煙所、あまりの職員の出入りの多さに驚いた。（勤務時間中なのに）
- ・副市長は必要なし。変わりに部長で良い。
- ・職員さんの運転マナーが悪い。職員さんや委託業者の方々には市民の手本になるように努力していただきたい。

（３６）市議会

- ・市議の人数が多い。減らすべき。
- ・市議会議員の報酬の削減。

（３７）広報

- ・松阪市全般の広報よりも、合併前のような各地域振興局が発行する広報のほうがより詳しい情報が得られるので良い。
- ・今春から松阪市で一人暮らしを始めたが松阪市についてまだ何も知らない。地域のことをよく知りたいと思うが知る手段がよくわからないので、市政についてもよく理解できていない。何か地域（松阪）を知るための手段はないのでしょうか。
- ・広報紙はよくやっけていただいている。
- ・市の行事や情報について発信する方法として広報紙等はとても大切。しかし残念ですが、詳しく見ている人ばかりではないのが現実。一度見逃してもわかるように再度掲載するなど工夫をしていただきたい。
- ・自治会には加入していない。広報「まつさか」の配布がない。例えば、新たな情報として「広報まつさか〇〇頁に記載がありますのでご覧ください。」ということがある場合、市役所から直送または直配を検討していただけないか。
- ・今年転入してきたが、松阪市の地図を発行してほしい。５回引越ししたが市の地図がなかった

のは松阪市だけである。地域（地名）がまったくわからない。

- ・ 市政が何をしているのか、広報紙を見てもよくわからない。
- ・ 松阪市のケーブルテレビや松阪ケーブルテレビの地域番組をよく見る。新聞よりも見やすくわかりやすいのでもっとたくさんの番組で松阪市のことを取り上げてほしい。
- ・ 引越してきたばかりで情報不足な面もあるが、広報紙等で周知される内容を確認し積極的に市政に対して情報を得て、市街地に住んでいることもありボランティアにも参加していきたい。
- ・ 小中学生でもわかるような市政のガイドみたいなものをつくってほしい。（文字ばかりでは読みたいと思わないのでマンガも取り入れて）
- ・ 催事、講演会等の案内チラシが広報配布と同時にPRされているが、各課連携して共同印刷するなどをして経費節減したらどうか。多い月は8～10枚のチラシが課ごとに作成し配布している。
- ・ 広報紙は、20代～50代の市民に対して、市政に少しでも参加してもらえる工夫が必要である。情報発信もペーパーレス化していけばよい。実際にきちんと読んでいる人は少ないのではないかな。
- ・ もっと全国的に松阪をPRした方がよい。

（38）広聴

- ・ このアンケートは質問事項が多すぎる。これで本当の意見がとれているのか。
- ・ 調査に協力したら粗品やギフト券くらい欲しい。
- ・ 可能な限り多数の市民の意見を反映されるようお願いする。
- ・ このようなアンケートは特に良い。今後も続けていただきたい。
- ・ アンケート調査で「○」をつけて住民の何がわかるのか。
- ・ アンケートの質問内容に偏りがある。もっと具体的な内容から選びたい。
- ・ 一口に松阪市と言っても市街地から山間部と幅広いので難しいアンケートである。

（39）情報公開・情報提供

- ・ 松阪が行っていることや行ったことを、もっとテレビやラジオ、新聞などで情報提供してほしい。
- ・ 市の大きな行事などはできるだけ多くの人に参加できるように、少なくとも小中学校と連絡を密にしてほしい。
- ・ 市民に情報を伝える手段で、ケーブルテレビに加入していないので行政情報番組を見ることができない。ホームページを充実させネット上で動画でも見られると良い。
- ・ 行政情報番組を充実させて全世帯で見ることができるようをお願いしたい。
- ・ 自治会の人が多く死亡するけど、名前だけでも知らせてほしい。
- ・ どのような手段でするにしてもわかりやすくしてほしい。
- ・ 時々市長のお話しが朝放送されているが、声が小さくて聞きづらい。もう少しボリュームを上げていただきたい。
- ・ 早朝に町内放送で呼びかけるのはやめてほしい。緊急時など本当に必要な時にだけ使ってほしい。朝起きて夜寝る生活をみんなが行っているとは限らない。

- ・ホームページを高齢者は見ない人が多い。市政、議会内容が見たくななくても見えるシステムづくりをお願いしたい。

(40) 公共施設整備など

- ・市役所の電光掲示板は必要ない。
- ・最近いろいろな行事はベルファームが多いが、駐車スペースが狭く駐車せず何度かそのまま帰ったことがある。もっと駐車場の広い中部台総合運動公園を利用してほしい。
- ・松阪市営の葬祭場を中心地に設けていただきたい。葬祭費が年々高くなってきている。
- ・ベルファームのイングリッシュガーデンは余りにも荒れた感じ、手入れがしていないのにはがっかりした。あの姿ならば無い方が良い。
- ・清掃工場（直接持ち込み）ではお昼に受付していただけない時間がある。お役所仕事が抜けていない。月に1回でもよいので土曜日受付日を設けていただきたい。
- ・私を含めて多くの市民の皆様が、中部台総合運動公園等を利用して体力づくりに励んでいる。今後ともこのような施設の充実をお願いしたい。
- ・市役所、市営駐車場（市民病院駐車場）が狭い。拡充してほしい。
- ・市営プールの料金が安い。市民が利用できる施設が少ない。

(41) 合併

- ・旧松阪市内ばかりを大切にしないで他の地区も同様をお願いしたい。
- ・市町合併による僻地の過疎化対策をお願いしたい。
- ・三雲地区は合併前の方が良かった。合併して良くなった点はごみ出しが週1回から週2回になったことくらい。
- ・旧嬉野町の青少年育成が手本にされず、補助金目当ての合併になってしまった。
- ・松阪市は地域によって差がある。旧松阪と新松阪で何事につけても差がある。
- ・合併前の方が良かったと思う。何のための合併かわからない。行政の方は楽になったのではないか。
- ・楽しく暮らせる地域差のない市政をお願いしたい。
- ・市街地中心で、新しく入った地域への心づかいがない。
- ・「幸せ」は地域差が大きく影響する。画一的な考えを押し付けるのか？特徴ある地域に育てるのか？その施策を楽しみにしている。
- ・正直、松阪市民にはなりたくなかった。合併前が特別良かったわけではないが今の松阪市はあまり魅力を感じない。将来も不安。

7. その他

(42) 市政全般

- ・伝統と新しい感覚がバランスよくとれた、誰もが普通の幸せを感じられる「市政づくり」に頑張してほしい。
- ・アンケートや意見を求めるのなら、それらを様々な角度で眺め市民の人々の生活目線で熟考していただき、期待はずれで終わる繰り返しループをこの辺で終わらないと地方の発展はない。

利他の心を持った高い志の組織を再構築していただきたい。

- ・大学の誘致、図書館の充実等を実施し、若者の住みやすい街になれば活気が出るのではないかな。
- ・周辺町や医師会等と仲良くやってほしい。
- ・要望は多々ありますが、市民の意見を十分取り入れて住みよいまちづくりに期待する。
- ・過疎化に歯止めをかけた、公平なまちづくりで日本一を目指してほしい。
- ・必要なことは「雇用」と「子育て」、「居住しやすい環境」の整備である。松阪の林業活性化などの事業化を検討し市内の資源を有効かつ最大限に利用してほしい。
- ・低所得者に高い税金、高齢者に冷たい行政。市職員の市民に対する思いやりの無さ。こんな松阪には住みたくない。
- ・市政が考える「幸せ」とは何か？大きくなりすぎた松阪市がどこへ向かうべきかを打ち出す必要があるのではないかな。
- ・他の市の真似ではなく、松阪市独自の市政を進めてほしい。松阪市に住んで良かった。

(4 3) 市政への期待など

- ・心穏やかでいれる街であり続けてほしい。
- ・頑張って松阪市を良くしていただきたい。
- ・市民の幸せを考えても市民の顔をうかがわない市政をしてもらいたい。思い切った政策をしてほしい。
- ・退職後に出身地の松阪へ転居しました。気候は温暖、人々もやさしく、スーパーも沢山あり、暮らしやすい街である。
- ・(今の) 国政と同じで、市政もあまり期待できない。
- ・せっかく歴史のある町に住んでいるのだから誇りを持って住み、松阪を紹介できる大人、子ども達で一杯にしてほしい。図書館の充実、安価で借りられるスポーツの場など手軽に楽しめる場所が身近にあればうれしい。若い人たちのお見合いの場などこれからの時代に必要なこと、小さいことですが重要である。
- ・「お金があれば幸せ」、それは少し違うと思うので、ある程度お金も必要であるが今の自分の立場でつましく生活できれば幸せである。
- ・真面目に生活し税金等をきちんと納めている人が報われるよう、未来に期待が持てるような社会にしてほしい。

(4 4) 税金など

- ・税金、保険料が高い。
- ・上水道代と下水道代が同じであることが理解できない。上水道と下水道のメーターを設置していただきたい。

(4 5) その他

- ・原発や石油等に頼らず、太陽や風等の自然にあって減らないエネルギーへの転換が必要。(太陽光発電を設置した市民への補助)
- ・今は十分幸せである。



平成 24 年度
市民幸せ調査
報告書

平成 25 年 1 月
松阪市市政戦略部戦略経営課

〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1

TEL : 0598-53-4319

FAX : 0598-26-4030

E-mail : sen.div@matsusaka.mie.jp

